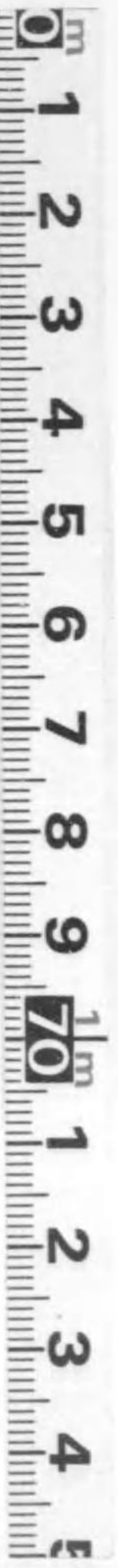


3/4
380



始



3/9-380



初級戰術講授錄

第四卷

陸軍大學校將校集會所

| | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 陸軍大學校 | 陸軍大學校 | 陸軍大學校 | 陸軍大學校 | 陸軍大學校 | 陸軍大學校 |
| 幹事 | 幹事 | 幹事 | 幹事 | 幹事 | 幹事 |
| 陸軍中將 | 陸軍中將 | 陸軍中將 | 陸軍中將 | 陸軍中將 | 陸軍中將 |
| 陸軍少佐 | 陸軍少佐 | 陸軍少佐 | 陸軍少佐 | 陸軍少佐 | 陸軍少佐 |

| | | | | | |
|------|------|------|-----|------|-----|
| 河合顯作 | 吉岡金造 | 渡邊二郎 | 多門助 | 佐藤之助 | 井上繁 |
| 校序 | 校閱 | 校正 | 校正 | 校正 | 講述 |

大正
6. 7. 27
内交

初級戰術講授錄 第四卷

研究項目

| | |
|----------------------|----|
| 騎兵旅團乘馬戰、同徒步戰、行軍計畫ノ研究 | 一 |
| 想定 | 一 |
| 騎兵旅團乘馬戰ノ研究 | 六 |
| 第一問題(騎兵旅團長ノ狀況判斷) | 七 |
| 答解ニ對スル總評 | 七 |
| 答解上ノ著眼 | 八 |
| 原案 | 一五 |
| 第二問題(騎兵旅團長ノ決心) | 一七 |
| 答解ニ對スル總評 | 一七 |
| 原案 | 一八 |

| | |
|---------------------------|----|
| 第三問題(騎兵旅團長ノ決心)..... | 一九 |
| 答解ニ對スル總評..... | 一九 |
| 原案..... | 二〇 |
| 第四問題(騎兵旅團進出ノ爲旅團長ノ處置)..... | 二一 |
| 答解上ノ着眼..... | 二一 |
| 原案..... | 二二 |
| 第五問題(騎兵旅團諸隊ノ位置要圖)..... | 二三 |
| 答解上ノ着眼並原案ノ要旨..... | 二四 |
| 騎兵乘馬戰ニ於ケル開進ニ關スル原則的説明..... | 二六 |
| 第六問題(騎兵旅團長ノ決心)..... | 二八 |
| 原案..... | 二八 |
| 第七問題(騎兵旅團接敵行進計畫腹案)..... | 二八 |
| 答解上ノ着眼並原案..... | 二八 |
| 接敵行進ニ關スル原則的説明..... | 三一 |

| | |
|-----------------------|----|
| 第八問題(騎兵旅團長ノ決心)..... | 三四 |
| 原案..... | 三五 |
| 第九問題(騎兵旅團攻撃計畫要圖)..... | 三五 |
| 答解上ノ着眼..... | 三五 |
| 行軍計畫ノ研究..... | 五六 |
| 第十問題(師團行軍計畫)..... | 五六 |
| 答解ニ對スル總評..... | 五六 |
| 答解上ノ着眼..... | 六〇 |
| 原案..... | 七二 |
| 行軍計畫ニ關スル原則的説明..... | 七五 |
| 兵團前進計畫ニ關スル原則的説明..... | 八四 |
| 騎兵旅團徒歩防禦ノ研究..... | 九四 |
| 第十一問題(騎兵旅團長ノ決心)..... | 九六 |
| 原案..... | 九七 |

四

第十二問題(騎兵旅團長ノ決心)……………九八
 答解ニ對スル總評……………九八
 答解上ノ著眼……………一〇四
 原案……………一〇八
 第十三問題(騎兵旅團徒歩防禦ノ目的ヲ以テ地形判斷)……………一一三
 答解上ノ著眼……………一一四
 騎兵徒歩戰ニ關スル原則的說明……………一二三
 騎兵支援隊ニ關スル原則的說明……………一三一
 第十四問題(騎兵旅團搜索計畫ノ起案)……………一三四
 答解ニ對スル總評……………一三五
 答解上ノ著眼……………一三六
 原案……………一四二
 騎兵團ノ搜索ニ關スル原則的說明……………一四六
 獨立セル騎兵ノ宿營及前哨ニ關スル原則的說明……………一六二

露營及戰鬪準備前哨ノ研究……………一七三
 想定……………一七三

第一問題(支隊長ノ決心)……………一七六
 原案……………一七六
 第二問題(同右)……………一七七
 原案……………一七七
 第三問題(支隊長ノ敵情判斷)……………一七八
 原案……………一七八
 第四問題(支隊長ノ決心)……………一七八
 答解上ノ著眼……………一七九
 原案……………一八四
 第五問題(支隊長ノ敵情判斷)……………一八七
 原案……………一八七
 第六問題(支隊長ノ決心)……………一八七

| | |
|----------------------|-----|
| 原案 | 一八八 |
| 第七問題(支隊宿營配備ノ要圖) | 一八八 |
| 答解ニ對スル總評 | 一八八 |
| 答解上ノ著眼 | 一九三 |
| 威力搜索ノ研究 | 一九九 |
| 第一問題(支隊長ノ決心) | 二〇〇 |
| 原案 | 二〇一 |
| 第二問題(支隊威力偵察ノ部署) | 二〇一 |
| 答解ニ對スル總評 | 二〇一 |
| 答解上ノ著眼並部署ノ概要 | 二〇三 |
| 第三問題(支隊長ノ敵陣地判斷) | 二一五 |
| 原案 | 二一五 |
| 第四問題(前進陣地攻略ノ爲支隊長ノ部署) | 二一六 |
| 原案 | 二一六 |

| | |
|----------------------------|-----|
| 威力偵察ニ關スル原則的説明 | 二一八 |
| 夜間攻撃ノ研究 | 二三四 |
| 第一問題(攻撃前進ニ關スル支隊長ノ處置) | 二三五 |
| 原案 | 二三五 |
| 第二問題(支隊長ノ敵情判斷) | 二三六 |
| 原案 | 二三七 |
| 第三問題(支隊ニ附屬セラレタル參謀トシテノ狀況判斷) | 二三八 |
| 原案 | 二三八 |
| 第四問題(同右) | 二三九 |
| 原案 | 二四〇 |
| 第五問題(支隊夜襲計畫要圖) | 二四〇 |
| 答解ニ對スル總評 | 二四〇 |
| 答解上ノ著眼 | 二四三 |
| 夜間戰鬥ニ關スル原則的説明 | 二五一 |

兵力集結(準備陣)ニ關スル原則的説明……………二八五
 戰場掃除ニ關スル原則的説明……………二八九
 第四期教授擔任間ノ所感及將來ニ關スル
 修學上ノ注意……………二九五

初級戰術講授錄 第一卷研究項目終

初級戰術講授錄 第四卷

騎兵旅團乘馬戰、同徒步戰、行軍計畫ノ研究

想定

所用地圖 二十萬分一 東京、横須賀、甲府、靜岡、飯田、豊橋、岐阜、名古屋
 二萬分一 森、山名、大須賀、二俣、向笠、見附、鹿玉、三方ヶ原
 濱松、氣賀、北庄内、舞阪

一 尾濃平地領有ノ目的ヲ有スル東軍(藍軍)ハ五月三十一日夕迄ニ左ノ如ク集合ヲ終ル豫定ナリ

- 騎兵第一旅團(四中隊編成)
- 第一師團(步兵第二旅團司令及同第四聯隊欠)
- 步兵第二旅團(第三聯隊欠)
- 特設騎兵第一中隊
- 特設工兵第一中隊
- 静岡附近
- 甲府附近
- 茅野(甲府西北方約十三里)附近

騎兵旅團乘馬戰、同徒步戰、行軍計畫ノ研究

第二師團ノ步兵一聯隊

沼津附近

工兵第二大隊

軍司令部

第二師團(步兵一聯隊
工兵大隊欠)

第三師團

東京附近

野砲兵第一旅團

其他ノ軍直屬諸部隊

之ニ對シ西軍(赤軍)ハ福井及京阪地方ヨリ名古屋平地ニ向ヒ集中中ニシテ五月三十日其騎兵團ハ大垣ヲ發シテ名古屋方向ニ、又其步兵ノ一團ハ彦根ヲ發シ關ヶ原方向ニ前進セリ

二 東軍司令官ハ一部ヲ飯田附近、主力ヲ大井川河谷ニ集中セント欲シ五月三十一日早朝大要左ノ如キ區處ヲナセリ

(イ) 騎兵第一旅團ヲシテ六月一日静岡附近出發名古屋平地ノ敵情ヲ搜索セシム

(ロ) 步兵第二旅團(第三聯隊欠)特設騎兵第一中隊、野砲兵第一聯隊第三大隊、同聯隊段列三分一、特設工兵第一中隊、第一師團ノ衛生隊半部、野戰病院一個、步兵彈藥半縱列、砲兵彈藥半縱列、糧食一縱列ヲ以テ軍直屬ノA支隊トナシ六月一日出發同五日迄ニ飯田附近ニ進出セシメ且飯田街道方面ヨリ名古屋方向ノ敵情ヲ搜索セシム

(ハ) 第一師團(A支隊欠)ヲシテ六月一日出發同五日迄ニ掛川附近ニ進出シ軍主力ノ大井川河谷ニ向テスル集中ヲ掩護セシム

(ニ) 在沼津部隊ヲシテ箱根山徑及富士南麓ノ諸道路ノ修

築及御殿場沼津附近ニ野戰倉庫ノ設備ヲナサシム

(ホ) 軍主力ハ六月一日東京出發大山街道、東海道ニ由リ六月七日迄ニ先頭部隊ヲ以テ大井川河谷ニ進出セシム

(注意)

- 一 平時衛戍地、鐵道輸送、海面ハ顧慮ヲ要セス
- 二 第一師團内歩兵旅團及同聯隊ハ第一ヨリ順序ノ番號ヲ特科隊ハ師團ト同一ノ番號ヲ有ス騎兵旅團モ亦之ニ準ス
- 三 指定セル所要二萬分一地圖以外ノ部分ニ於ケル二十萬分一地圖上ノ二條實線路及實線路ハ概ネ野砲ノ通過ヲ許ス又該諸道路ヲ横斷スル諸河川ニハ概ネ永久橋アリ指定セル所要二萬分一地圖ノモノ

ハ同圖ニヨル

騎兵旅團乘馬戰ノ研究

騎兵第一旅團方面ノ狀況

騎兵第一旅團ハ六月一日早朝靜岡附近出發途中名古屋附近ニ在リシ敵騎ノ東進ヲ知リツツ前進シ二日夕搜索隊(騎兵第一聯隊第一中隊)ヲ以テ上嶋附近ニ、旅團主力ヲ以テ見附附近ニ達シ宿營セリ

午後八時迄ニ騎兵第一旅團長ノ知り得タル所左ノ如シ

- (1) 砲兵ヲ有スル千七八百ノ敵騎兵部隊ハ本早朝岡崎附近ヲ出發シ東進セリ又敵騎約百ハ日没頃氣賀附近ニ達シ停止セルモノノ如シ
- (2) 濱名湖口ハ道路鐵道共ニ破壊シ全ク通過スルヲ得ス

- (3) 天龍川ノ假橋ハ砲兵ノ通過ヲ妨ケス又笠井附近ニハ騎兵二伍、砲兵ヲ通スル徒涉場アリ
- (4) 米田ハ諸兵種ノ運動ニ妨ナシ
- (5) 二萬分一地圖上ニ條實線路ハ騎兵四伍、同片點線路ハ騎兵二伍ヲ以テ行進シ得ヘク兩道共ニ砲兵ヲ通ス
- (6) 松林(小松林ヲ除ク)ハ常歩ヲ以テスレハ部隊ノ運動ヲ許ス

第一問題(席上)

明三日ノ爲騎兵第一旅團長ノ狀況判斷理由竝處置中通信及大行李輜重ニ關スル事項ハ之ヲ要セス

第一問題答解ニ對スル總評

- 一 判決ニ行進目標ナキモノ及判決ト處置トニ於テ行進目標ノ異ルハ不可ナリ
- 二 處置ノ記載法ハ直ニ命令起案ノ基礎タラシムルヲ要ス之カ爲其記載ニハ隊號ヲ掲ケ時刻、行進順序、距離等ヲモ示スヲ可トス
- 三 行進區分複雜ニ失シテ旅團以下ノ小部隊ニ不適當ナルモノアリ之ニ反シ搜索隊ニ依頼シ警戒隊ヲ出ササルモノアリシハ不可ナリ
- 四 軍ヘノ報告及友軍ヘノ通報ヲ脱スルハ不可ナリ

第一問題答解上ノ著眼

一 當面ノ敵情判斷

本日岡崎附近ヲ出發シタル敵騎ハ其兵力略旅團ト同等ニシテ距離ノ關係ヨリ觀ルトキハ恐ラクハ今夕三ケ日附近ニ達シアルヘク其一部氣賀附近ニアルニ於テ特ニ此感ヲ深カラシム

(附言) 敵主力位置ノ判斷ハ徵候ニヨルニアラスシテ學理的推定ナルコトニ注意スヘシ

該騎兵ハ明三日恐ラクハ我ニ向ヒ前進シ來タルナラン何トナレハ略我ト同等ノ兵力ヲ有スル敵ニシテ氣賀以西ノ如キ騎兵團ノ活動困難ナル地區ニ停止シアルヘキモノニアラサルヲ以テナリ果シテ然ラハ明日敵ハ恐ラク最捷路ニシテ良好ナル氣賀—三方ヶ原—見附道ヲ經由スルナラン

二 旅團ノ目的

旅團ノ目的ハ名古屋方面ノ敵情搜索ニ在リ從テ當路ノ障礙タル敵騎ヲ擊破スルハ勿論ナリトス而シテ敵ハ其兵力略我ト同等ニシテ數上ニ於テモ亦之ヲ擊破シ得ルノ公算ナキニアラス故ニ旅團ハ明三日此敵ヲ擊破スル目的ヲ以テ前進スルヲ至當トス

三 行進目標

旅團明三日ノ爲ノ行進目標選定ニハ左ノ事項ヲ顧慮スルヲ要ス

- 1) 旅團一日ノ行軍行程
- (2) 戰鬪ノ爲生スル時間ノ消費
- (3) 天龍支脈超越ノ爲特別ノ準備

等是ナリ故ニ旅團ノ明三日ノ爲ノ行進目標ハ三ケ日ニ選定スルヲ適當トナス
是三ケ日ハ富岡道本阪峠道ノ兩方面ニ通シ又要スレハ小部隊ハ濱名湖西岸ニ
沿フテ行動シ得ル爲濱松平地豊橋平地ノ境ヲナシ且天龍支脈超越ノ準備ヲナ
スニ適當ナル要點ナルノミナラス行程約七里ニシテ戦闘後ト雖一日間ニハ行
進シ得ヘシ而シテ如斯目標ヲ選定セハ三方ヶ原若ハ其附近ニ於テ遭遇戦ヲ惹
起シタル場合ハ勿論若敵ニシテ萬一然ラサル場合ニ際シテモ能ク諸隊翌日ノ
行動ノ準繩ヲ與ヘ得レハナリ

四 行進路

旅團翌日ノ行進路ハ本來ノ作戰目標タル名古屋平地ヘノ進出ト三方ヶ原附近
ニ於ケル戦闘ノ場合トヲ顧慮シテ選定スルヲ要ス而シテ旅團ノ採用シ得ヘキ
行進路ニアリ(甲)見附―笠井―中川―氣賀―三ヶ日道(乙)見附―三方ヶ原―氣賀
―三ヶ日道是ナリ(甲)ハ道路ノ景況不良ナリ又三方ヶ原附近ニ於テ遭遇戦ヲ生
スル場合ニ於テハ臺上ニ進出シ終リテ戦闘準備ヲ完了シタル後ハ瞰制ノ利ヲ
有スルモ其第一著歩タル臺上ヘノ進出ニ際シ旅團ハ常歩行進ノミヲ許ス森林

ヲ通過スル爲動モスレハ敵ニ乗セラルルノ虞アリ且全體ノ距離稍遠シ故ニ旅
團主力ノ進路トシテハ不適當ナリ(乙)ハ道路ノ景況良好ニシテ且三方ヶ原附近
ニ於テ遭遇戦ノ生スル場合ニモ敵ニ乗セラルルノ虞少シ且此道路ハ旅團作戰
目標ヘノ主道路ナルノミナラス敵主力ノ進路タルヘキ公算多シ故ニ旅團ハ(乙)
ノ道路ヲ採用スルヲ可トス

五 部署ノ概要

旅團ハ明三日三方ヶ原附近ニ於テ戦闘ヲ豫期スルヲ以テ努メテ兵力ヲ集結シ
アルヲ要ス之カ爲ニハ一縦隊ヲ以テ主道路ヲ前進スルヲ有利トナス

(附言)

戦闘ヲ豫期スルニ方リ縦隊ヲ區分シ分レテ進ミ合シテ撃ツノ原則ハ
騎兵ニモ之ヲ適用シ得然レトモ此原則ヲ適用スヘキ騎兵ハ其兵力頗
大ナルモノナルヲ要ス一團トシテ單ニ當面ノ敵ヲ襲撃スルノ能力ヲ
有スルニ過キササル騎兵旅團以下ノ如キハ戦闘ノ爲ニハ寧ロ一團トナ
リテ前進スルヲ以テ通常有利ナリトス敵情地形殊ニ道路ノ關係上一
部ノ派遣ヲ要スル場合ニ於テモ其兵力ハ最小限トナスヲ要ス(他ノ目

的ノ爲一部ノ派遣ヲ要スル場合ハ別物ナリ)

搜索隊ハ前述ノ主旨ニ基クトキハ之ヲ本隊(前衛)ニ合セシムルヲ有利トナスカ
如シト雖旅團ハ推定上明三日戰鬪ヲ豫期スルモ果シテ戰鬪發生スルヤ否ヤハ
疑ナシトセス故ニ本來ノ搜索部署タル搜索隊ヲ廢止スルカ如キハ適當ナラス
故ニ明日ハ現任務ヲ繼續セシムルヲ要ス而シテ特ニ翌日戰鬪ノ場合ヲ顧慮シ
地形偵察ノ任務ヲ附加シ置クヲ可トス

(附言)

旅團ニシテ見附附近ニ集合シタルノミニテ明日ヨリ始メテ行動ヲ起
サントスル如キ場合ニシテ且現在ノ如キ敵情ナリセハ予ハ此際有力
ナル前衛ヲ出シ搜索隊ハ特ニ之ヲ派遣セス是此場合ニハ搜索隊ヲ出
スモ搜索隊トシテノ行動ノ餘地ナク而モ全體ヨリ見ルトキハ兵力分
離ノ害ヲ犯スニ過キサレハナリ

旅團明日ノ行進隊形ハ道路ノ關係之ヲ許スヲ以テ四伍縱隊トスルヲ可トス然
ルトキハ概算行軍長徑ヲ半減シ戰鬪準備ヲ容易ナラシメ得ヘキヲ以テナリ
旅團翌日ノ前衛ハ如何ニスヘキヤ之カ爲ニハ要務令第百十八ヲ翫味スルヲ要

ス本狀況ニ於テハ搜索隊アリテ一般ノ搜索部署ヲナシアルカ故ニ前衛ノ兵力
ヲ減少シテ可ナリ故ニ予ハ一中隊ニ機關銃一小隊ヲ附シタルモノヲ用フルヲ
適當トス但シ本隊不意ノ敵襲ヲ豫防スル爲ニハ諸兵種連合ノ場合ニ比シ距離
ヲ大ニシ約千米トナスヲ適當トス

(附言)

前衛ノ任務タルヤ騎兵ノミノ場合ト雖一般ノ場合ト大差ナシ只騎兵
ノ特性トモ稱スヘキ行動ノ迅速ト兵力集結ノ必要トヨリ斯ノ如キ差
異ヲ生スルモノナリ故ニ前衛ノ任務ニシテ監視的警戒手段多ク此種
ノモノニテ足ルヲ以テ足ルカ將又威力的警戒手段稀ニ此種ノ手段ヲ
要スヲ用フルヲ必要トスルヤニ因リ自然前衛ノ兵力編組ニ差異ヲ生
ス諸官ハ能ク現時彼我ノ狀況行動地域内ノ地形特ニ豫期衝突點附近
ノ地形指揮官戰鬪指導ノ方針ヲ熟慮シテ之ヲ決定スルヲ要ス本邦ノ
如キ到ル處隘路ヲ形成スル地形ニ在リテハ通常其兵力ヲ大ナラシメ
サルヘカラサル場合多シ之威力的警戒手段ヲ以テ本隊ノ行動ヲ容易
ナラシムル必要頻々トシテ生スヘケレハナリ

機關銃ヲ前衛ニ附スヘキヤ否ヤニ關シテハ要務令第百十八末項ニ示シアルモ之主トシテ平坦開濶地ニ於テ掩護ヲ必要トスル場合ニ適用スヘキモノニシテ本邦ノ如キ地形即チ往々火力ニ依リ進路ヲ開ク必要生シ易キ地形ニテハ通常一部ヲ附スルヲ可トス

六 出發時刻及行軍速度

出發時刻ハ何等特別ノ顧慮特別ナル戰術上ノ要求(希望トシテ某地ニ敵ニ先シテ到着セントスル如キハ別物ナリ)ナキヲ以テ騎兵隊ノ出發準備ヲ顧慮シ拂曉後二時間ナル午前六時ヲ以テ適當トナス
旅團翌日ノ爲ノ行進速度ハ之ヲ規定スルヲ要ス之騎兵ハ各種ノ速度ヲ有スルヲ以テ諸兵種連合部隊ノ行動ノ如ク單調ナル能ハス諸官ハ殊ニ騎兵ニ對シテ此注意ヲ怠ルヘカラス而シテ其速度ハ普通ノ場合タル四分一ヲ以テ適當トス速度ノ規定ヲ諸隊ニ達スルニハ前衛ニ四分一速度ヲ以テ前進スヘシト命シ本隊ハ指揮官之ヲ引率シテ前進スルヲ最モ可ナリトス(前夜命令下達ノ際等ニ注意トシテ附言スルコトナキニアラサルモ予ハ此方法ハ一ノ姑息手段ナリト思

考ス寧ロ一般ノ準繩ヲ正々ト指示スルノ優レルニ如カス)

第一問題原案

判決

旅團ハ明三日敵ヲ攻撃スル目的ヲ以テ三方ヶ原ヲ經テ三ヶ日ニ向ヒ前進スルヲ要ス

處置

- 一 搜索隊ハ明三日現任務ヲ繼續セシム特ニ旅團戰鬪ノ場合ヲ顧慮シ三方ヶ原附近ノ地形ノ偵察ヲナサシム
- 二 騎兵第一聯隊第二中隊、機關銃一小隊ヲ前衛トナシ午前六時見附西端附近出發四分一ノ速度ヲ以テ見附—三方ヶ原—三ヶ日道ヲ前進セシム
- 三 殘餘ハ本隊トナリ午前六時迄ニ見附東側乾田砲兵ハ進路上ニ集合シ騎兵第一聯隊第三、第四中隊、騎兵第二聯隊、機關銃隊(一小隊欠)、騎砲兵中隊ノ順序ヲ以テ

前衛ノ後方約千米ニ跟隨セシム

四 決心及處置ノ大要ヲ軍司令官ニ電報シ第一師團長及A支隊長へ通報ス

狀況

騎兵第一旅團ハ午前七時三十分頃尖兵中隊ノ先頭ヲ以テ市野東端橋梁附近ニ達ス

此時迄ニ旅團長ノ知り得タル所概ネ左ノ如シ

(1) 我搜索隊ハ今朝氣賀方向ヨリ前進セシ略同等ノ敵騎ヲ驅逐シテ姫街道ヲ西進セシモ其後三ヶ日方向ヨリ前進セシ優勢ナル敵騎ノ壓迫ヲ受ケ主力ヲ以テ同街道ニ沿フ地區ヲ退却中ナリ

(2) 三ヶ日方向ヨリ前進セシ敵ノ騎兵團ハ此頃其先頭氣賀

東端附近ニ達スルコトヲ豫期ス

(3) 三方ヶ原東側小流ハ概ネ騎涉ヲ許スモ砲兵ハ橋梁ノ外通過シ難シ

三方ヶ原一帯ノ地形ハ松林(從前ノ通り)村落ノ外騎兵ノ行動ニ毫モ支障ナキカ如シ

都田川ハ橋梁ノ外通過困難ナルカ如シ

第二問題(席上)

午前七時三十分ニ於ケル騎兵第一旅團長ノ決心理由及處置ヲ要セス)

第二問題答解ニ對スル總評

一 小松及半田方向ニ主力ヲ以テ轉進スルハ不可ナリ之敵ニ乘スルノ機ヲ與フ

- ルト更ニ二伍ニ分解スルヲ要スルヲ以テナリ
- 二 開進セントノ意志發動セルモノアルモ開進ヲ要スルヤ否ヤハ今之ヲ決定シ得ヘカラス
- 三 單ニ前進繼續ト稱スルモノアルモ此時ニハ戰鬪準備ヲ整フル爲速ニ臺上ニ進出セントスルノ意志發動ナカルヘカラス
- 四 進出地點ノ不明瞭否不適當ナルモノ例ヘハ追分東南端ト稱スル如キモノアルハ地圖ノ研究不充分ナリ

第二問題原案

旅團ハ敵ヲ攻撃スル目的ヲ以テ欠下平西方臺上ニ進出セントス

狀況

騎兵第一旅團ハ現在ノ形勢ヲ以テ歩度ヲ速メ(三分一)午前八時三十分頃其尖兵中隊ノ先頭ヲ以テ欠下平西方三叉路附近ニ達

ス

此時旅團長ハ前衛本隊ノ先頭ニ在リテ左ノ事ヲ知ル

- (1) 敵騎兵ハ姫街道ヲ續テ前進中ニシテ其一部ハ目下百里園附近ニ又數多ノ斥侯ハ同村東北方林縁附近ニ出沒ス
- (2) 我搜索隊ハ主力ヲ以テ追分西北方約千米ノ林縁附近一部(約一小隊)ヲ以テ欠下平北方約三千米△62.2附近ノ林縁附近ニ位置シ敵情搜索中ナリ

第三問題(席上)

午前八時三十分ニ於ケル旅團長ノ決心

第三問題答解ニ對スル總評

- 一 今頃半田方面ニ轉進セントスルハ道路關係ヲ失念シタルモノナルヘシ

- 二 今ヨリ敵ヲ攻撃セントスルモノハ如何ニシテ攻撃方向ヲ決定スルヤヲ了解スルニ苦シム
- 三 今ヨリ展開セントスルハ展開前騎兵ハ接敵行進ヲ要スル所以ト本狀況トノ對照ヲ逸シタルモノナリ
- 四 開進セントスルモノハ豫期戰場ノ廣サト我旅團ノ縱長トノ關係ヲ顧慮セサルモノナリ
- 五 兵力集結又ハ襲撃準備ト稱スルモノアルモ思フニ縱長ヲ短縮シテ稍横廣ノ隊形ヲ採ルノ意ナランモ意志明瞭ヲ缺ク

第三問題原案

決心變化ナシ

狀況

旅團長ハ前決心ニ基キ諸隊ヲ速ニ千人塚西方ノ臺上ニ進出セ

シメントス

第四問題(席上)

進出ノ爲旅團長ノ處置

第四問題答解上ノ著眼

本問題ハ旅團ノ臺上ノ進出即チ攻撃ノ爲ノ接敵行進開始ニ於ケル隊勢ノ整備ヲ如何ニシテ掩護セシムヘキヤニアリ

搜索隊ハ今ヤ適當ノ位置ト配備トヲ以テ旅團ノ動作ヲ容易ナラシメツツアリ故ニ此隊ニ現在ノ姿勢ニ於テ掩護ヲ擔任セシムレハ足レリ然レトモ此際萬一ノ場合ヲ顧慮シ機關銃一小隊ヲ附シ置クヲ緊要トス之カ爲ニハ最先方ニアル目下前衛ニ附屬シアルモノヲ轉屬セシムルヲ適當ナリトス

前衛中隊ハ追分東方森林附近ニ位置シ主力ノ臺上ヘ向テ行フ進出ヲ掩護セシムルヲ要ス

(注意) 搜索隊及前衛ハ其任務略同一ニシテ彼此機關銃ノ轉屬等ヲ要シ而モ同一聯隊ノ中隊ナルヲ以テ此際聯隊長ヲシテ此兩中隊ヲ併セ指揮シテ掩護ノ任務ヲ擔任セシムルハ確ニ一案ナリ然レトモ予ハ兩中隊未タ四吉米ヲ離隔シアリテ一人ノ指揮困難ナルノミナラス豫期戰場ノ地形上此兩中隊ヲ將來相異ル方向ニ使用スルノ場合アルヲ顧慮シ本狀況ニ於テハ寧ロ各別ニ旅團長之ヲ指揮スルヲ適當ナリト思考ス

以上ノ掩護ノ下ニ旅團ハ欠下平西方出口ヲ出ツレハ逐次小隊面ノ縱隊即チ旅團縱隊ニ排開シツツ千人塚西方臺上ニ進出スレハ可ナリ

第四問題原案

- 一 搜索隊ヲシテ現在ノ位置ニ在リテ旅團ノ進出ヲ掩護セシム但シ機關銃一小隊ヲ附ス
- 二 前衛ハ追分東方林縁附近ニ位置シ旅團ノ進出ヲ掩護セシム但シ機關銃小隊ハ追分ヲ經テ同地西方約千米附近ニ在ル搜索隊長ノ隸下ニ入ラシム

三 本隊ハ欠下平西出口附近ヨリ逐次旅團縱隊ニ排開シテ千人塚西方臺上ニ進出セシム

狀況

- 旅團長ハ兩聯隊長ト共ニ前衛ノ位置ニ在リテ千人塚西側臺上ニ前進シ諸報告ト自己ノ視察ニヨリ知り得タル所左ノ如シ
- (1) 百里園附近ニハ二、三十ノ敵騎アルカ如シ
 - (2) 百里園東北方約七百米森林突出部附近ニハ約七、八十ノ敵騎アルカ如シ
 - (3) 右森林突出部東北方森林縁端附近ニハ多數ノ斥候出沒ス

第五問題(席上)

進出直後ニ於ケル旅團諸隊(遠距離斥候、大行李、輜重、通信設備ヲ除ク)ノ位置要圖

第五問題答解上ノ著眼竝原案ノ要旨

本問題ノ著眼ハ第一中隊、機關銃小隊及第二中隊ノ掩護配備ヲ如何ニスヘキヤ旅團主力ハ行進中排開スヘキヤ開進スヘキヤニ在リ
搜索隊ハ現在ノママノ姿勢ヲ保持シ且常ニ主力ノ戰鬥ニ參與シ得ヘキ準備ニアレハ可ナリ
前衛ハ尖兵(半小隊)ヲ追分東北方約八百米ノ林縁附近ニ主力ヲ追分東方約八百米森林端附近ニ位置シ前方ノ搜索ヲナセハ可ナリ
本隊ハ先頭ヲ停止シテ開進スルコトナク逐次旅團縱隊ニ排開スレハ足レリ何トナレハ本隊ニ在ル騎兵中隊ハ六中隊ニシテ四伍縱隊ヲ以テスレハ約六百六十米ニ過キス故ニ欠下平出口通過後逐次排開スルモ追分東南方森林南側附近ニ到ル

間ニハ十分排開ヲ終リ適宜機動ヲナシ得ルヲ以テナリ
機關銃隊(一小隊欠)ハ旅團縱隊ノ後方ニ跟隨セシメ騎砲兵中隊ハ最初本道ヲ行進セシメ後主力ニ跟隨セシムレハ足レリ

(附言) 騎兵部隊行軍長徑ノ記憶概數

| | | |
|---------------|------|------|
| 中隊 | 二二〇 | 四一〇 |
| 聯隊 | 一〇〇〇 | 五〇〇 |
| 旅團(機關銃騎砲兵ヲ含ム) | 三〇〇〇 | 一八〇〇 |
| 機關銃隊 | 三〇〇 | 三〇〇 |
| 騎砲兵 | 四〇〇 | 四〇〇 |

注意

旅團諸隊ノ位置ハ右要旨ヲ以テ原案ニ代ヘ要圖ハ之ヲ省略セリ

騎兵乘馬戰ニ於ケル開進ニ關スル原則的説明

騎兵ニ對スル乘馬戰ニ於テ開進ヲナスヘキヤ行進中排開スヘキヤハ敵情地形部隊縱長ノ大小及指揮官戰鬪指導ノ腹案ニ基キ之ヲ決定スヘキモノナリ即チ敵情接迫ノ爲カ地形狹隘ナル爲カ若ハ縱長大ナル爲先頭ヲ停止セシムルニアラサレハ適宜機動ノ餘地ヲ存シテ集合隊形ニ移リ難キ場合ノ如キ又指揮官戰鬪指導ノ計畫一地ニ止マリテ敵ノ近接ヲ待チ之ヲ攻撃セント欲スル場合ノ如キ又機關銃騎砲兵ヲ準備シテ我ヲ待ツ敵ニ對スル場合ノ如キ之ナリ要スルニ開進ハ爾後ノ戰鬪準備ノ爲停止シテ集合隊形ニ移ルヲ適當トナス場合ニ用フルモノナリ騎兵ニ對スル乘馬戰ハ多クハ遭遇戰ノ性質ヲ有シ先制ノ利ヲ獲得スルヲ以テ最緊要トナスカ故ニ爾他ノ關係之ヲ許サハ開進ヲ行フコトナク行進中橫廣ノ隊形ニ排開スルヲ一般ノ原則トナス旅團以下ノ小部隊ニアリテ殊ニ然リ(騎兵操典第二部第三、第二十七數旅團ノ集團ハ開進ヲ要スルコト多シ)

本邦ノ如キ到ル處隘路ヲ形成シテ騎兵團ノ運動ヲ妨害スル土地ニ在リテハ旅團

又ハ聯隊ノ如キ小部隊ニ在リテモ殆ト常ニ開進ヲ要スルコト多シ然レトモ是地形ノ關係ヨリ生スル一ノ應用ニシテ原則ニハアラサルコトヲ特ニ注意スルヲ要ス

開進地ニ備フヘキ性能開進地ノ數集合隊形ノ選擇開進間諸指揮官ノ動作ハ先ニ研究シタル一般原則ト異ルコトナシ(騎兵操典第二部第三)只特ニ騎兵ハ迅速ナル移動ヲ要スルヲ以テ地形ノ選擇及偵察ハ特別ノ注意ヲ要ス

狀況

午前八時四十五分旅團ハ所望ノ姿勢ニ移リ續テ接敵行進ヲ開始セントス然レトモ前面ニ於ケル敵情未タ大ナル變化ヲ認メス

第六問題(席上)

午前八時四十五分ニ於ケル騎兵第一旅團長ノ決心理由、處置ヲ要セス)

第六問題原案

旅團ハ續テ接敵行進ヲ行ハントス

第七問題(口答)

爾後ニ於ケル騎兵第一旅團接敵行進計畫腹案

第七問題答解上ノ著眼竝原案

本問題ノ著眼ハ敵情未タ不明ナルモ此不明ノ敵情ニ際シ如何ニ接敵行進ヲ指導セントスルヤニ在リ

一 敵ノ進出方面ノ判斷

彼我今ヤ三方ヶ原村東方草地ニ於テ交戰狀態ニ移ルヘキハ殆ト明ナリ果シテ然ラハ敵主力ハ何レノ方面ヨリ豫期戰場ニ進出スヘキヤヲ判斷セサルヘカラス敵ノ進出方面ニニアリ(甲)百里園附近(乙)百里園東北方約二千米森林ノ凹角部附近之ナリ

(甲)ハ敵從來ノ行進主道ニ近ク進出シ得ヘシト雖三方ヶ原村東方森林ノ爲我ニ近ク方向ヲ變換スルヲ要スル爲危險ナリ(乙)ハ進出時機多少遲延スヘキモ我ニ最モ遠ク戰場ニ進出シ得ルト進出後制高ノ利ヲ占メ得ルノ利アリ故ニ此際敵主力ハ百里園東北方約二千米森林凹角部附近ヨリ進出スル公算多キモノト判斷スルヲ適當トス

敵ノ進出方面右ノ如シトセハ其砲兵ハ恐ラクハ附近ト判斷セラル之敵ノ進出及爾後ノ前進ヲ掩護スルニ便ナレハナリ

二 旅團前進方向ノ決定

右ノ敵情判斷ニ基キ旅團ノ前進方向ヲ選定スルニ三アリ(甲)現在地ヨリ敵主力ノ進出點ニ向ヒ直進スルモノ(乙)追分東北方ノ森林ニ躍進シ爾後敵ノ進出點ニ

直進スルモノ(丙)三方ヶ原臺ノ東縁ニ沿ヒ東北方ニ前進シ後西北方ニ方向ヲ變換スルモノ之ナリ

(甲)ハ特別ニ地物ノ利用ヲナシ能ハサルモ運動單一ニシテ實行容易ナリ(乙)ハ躍進間地物ヲ利用シ且尙能ク敵情ヲ確メ得ルノ利アルモ豫想スル敵砲兵ニ近ク且敵ニ制高ヲ委スルノ不利一層大ナリ又我砲火ヲ遮ルノ害アリ(丙)ハ我砲火ヲ遮ルコトナク且決戦時ニ於テ敵ニ制高ヲ委スルノ害少キノ利アルモ運動ノ巧妙ヲ要スルト臺東側凹地ハ斜面急ニシテ部隊ノ運動ヲ掩護セサルヲ以テ遮蔽ノ利ヲ受ケ得サルハ勿論側方ニハ常歩ノ外運動困難ナル森林アリテ動作ノ自由ヲ制セラルルノ虞アリ故ニ予ハ此際專口實行容易ナル(甲)案ヲ採用スルヲ適當ナリト認ム

三 機關銃及騎砲兵ノ使用

本狀況ニ於テハ三方ヶ原草地内ニ於テ衝突ヲ豫期スルヲ以テ萬一ノ場合ヲ顧慮シ機關銃及騎砲兵ハ豫メ陣地ヲ占領セシメ以テ接敵行進ヲ掩護セシムルヲ要ス而シテ此等ノ陣地ハ本狀況ニ於テハ直ニ攻撃ヲ援助シ得ル如キ位置ニア

ラシムルヲ要ス之カ爲機關銃ハ全部ヲ搜索隊ニ附シアル機關銃小隊ノ位置ニ増加スルヲ可トス騎砲兵ハ之ヲ機關銃ノ位置ノ南方森林凹角部附近ニ置クヲ適當トス

四 搜索隊及前衛

搜索隊ハ各現在在地方面ヨリ旅團ノ行動ヲ容易ナラシメ前衛ハ尖兵ヲ除キ之ヲ主力ニ合スルヲ有利トス

五 旅團主力

舊前衛中隊ヲ合シ同地附近ニ至レハ重複縱隊トナリ目標ヲ G34 北方森林凹角部附近ニ探リテ常歩ニテ前進ヲナス

接敵行進ニ關スル原則的説明

騎兵ニ對スル乘馬戰ニ於テハ彼我共ニ運動力ニ富ム部隊ノ遭遇戰ニシテ何時不意ニ衝突スルヤモ計ラレス故ニ彼我共ニ衝突ヲ豫期スルニ至レハ比較的遠大ノ距離ヨリ交戦準備ヲナシテ近接運動ヲナス之ヲ接敵行進ト謂フ而シテ接敵行進

ハ戰鬪ヲ豫期シ戰鬪準備ヲ以テ前進ヲ開始スル時ヨリ攻撃計畫定マリ展開ヲ終ルマテノ前進運動ヲ謂フナリ

接敵行進ヲ開始スル距離ハ敵情地形縱隊ノ大小ニヨリ差異アリト雖行軍縱隊ヲ所望ノ橫廣隊形ニ排開シ終ル距離ノ二倍彼我共ニ同一運動ヲナストシテ若ハ三倍我常歩間敵ハ最初ヨリ速歩ヲ以テ運動スル場合ヲ顧慮シニ彼我ノ襲撃距離約五〇〇米ヲ加ヘタルモノナルヲ要ス

接敵行進開始當初ハ攻撃計畫定マラサルヲ一般トナスカ故ニ衝突ヲ豫期スヘキ一般方向ヲ判斷シ之ニ基キ目標ヲ規定シテ前進ヲナスモノナリ故ニ敵情全ク不明ナルトキハ地區毎ニ躍進ヲナシ爾後ノ行進方向ヲ決定スルヲ通常トス特殊ノ場合ニ於テ初ヨリ其前進方向決定セラレアルカ若ハ攻撃計畫ヲ確定シ得ルトキハ之ニ基クヤ勿論ナリトス部隊大ニシテ分進シアル如キ場合ニハ能ク其前進運動ヲ統一シ衝突前ニ於テ之ヲ集合スルノ手段方法ヲ講シアルヲ要ス又時トシテハ砲兵ヲ布陣セシメ此接敵運動ヲ掩護セシムルヲ可トスヘキコトアリ

(附言) 此躍進的の近接運動ハ騎兵戰ニ於ケル特殊ノ點ニシテ特ニ注意ヲ望ム

接敵行進ニ於ケル隊形ハ當初小隊面ノ縱隊ヨリ敵ニ接近スルニ從ヒ運動及展開ニ便ナル隊形又ハ敵火ノ損害ヲ減殺シ得ル隊形ヲ採用ス地形廣正面ノ前進困難ナルトキ例ヘハ森林内ノ如キニアリテハ已ムヲ得ス行軍縱隊ヲ近ク併立シテ行進セシメサルヘカラサルコトアリ又數旅團ヨリ成ル騎兵集團ノ如キハ戰鬪隊次ノ採用ヲ迅速且容易ナラシムル爲將來ニ於ケル兵力使用ノ腹案ト地形トヲ顧慮シ梯次配列ヲナスコト多シ

歩度ハ敵ニ遠キ間ハ常歩(隊形變換ノ爲要スレハ速歩)ヲ採用シ敵ニ近接スルニ從ヒ速歩ヲ用フルヲ一般トス然レトモ敵火ノ損害ヲ減シ又特ニ迅速ナル近接運動ヲ要スル場合ニハ駈歩ヲ採用ス

接敵行進ハ全隊既ニ戰鬪準備ノ姿勢ニアルヲ以テ敵方ニ對スル警戒ノ爲ニハ小部隊又ハ斥候ヲ以テ警戒セシムレハ足ルモノナリ故ニ前衛ノ如キハ逐次本隊ニ合セシムルモノトス然レトモ敵ニ我運動ヲ秘スル爲又ハ敵ノ機先ヲ制スル爲一部ノ攻撃ヲ要スル等特殊ノ場合ニ於テハ之ヲ存置スルコトアリ要ハ爾後ノ戰鬪計畫如何ニ關係スルモノトス

戰鬪性質ニ就テ

騎兵ニ對スル乘馬攻撃ニ方リテハ特ニ奇襲ヲ稱揚ス若奇襲ヲ企圖シ得ヘクンハ形式的攻撃部署ノ如キハ之ヲ要セス只機ニ投シテ斷行スルノ一途アルノミ然レトモ注意周到且有爲ノ敵ニ對シテ奇襲ハ多ク之ヲ期待シ難シ大部隊ニ於テ殊ニ然リ故ニ許多ノ場合ニ於テハ正々堂々相對シテ攻撃スルノ覺悟アルヲ要ス但シ機會アラハ之ヲ捕ヘテ逸セサルハ騎兵指揮官ノ本領ナリトス

二 戰鬪指導ノ方針

本狀況ニ於テハ彼我約三千米ヲ隔テ而モ旅團ハ重複縱隊ニ排開シ機關銃、騎砲兵ハ既ニ布陣シアルヲ以テ旅團長ハ主力ヲ提テ敵ニ直進シツツ衝突スル如ク戰鬪ヲ指導スヘキナリ只舊搜索隊タル騎兵第一聯隊第一中隊ヲ如何ニ行動セシムヘキヤヲ熟慮スルヲ要ス

戰鬪指導ニ就テ

騎兵乘馬攻撃ニ方リ戰鬪ノ指導ニハ數種アリ即チ(一)對進的乘馬攻撃騎

兵操典第二部第二十七(二)迎擊的乘馬攻撃同第二部第二十四(三)計畫攻撃的乘馬攻撃同第二部第二十九(四)乘馬徒步併用攻撃同第二部第三十三等之ナリ

(一)ハ眞ノ遭遇戰ニシテ騎兵戰ノ特質ヲ最モ能ク發揮スルモノニシテ他兵種ニ於テ殆ト見ル能ハサルノ戰法ナリ(諸兵種連合ノ大部隊ニ於テ對進的遭遇戰ノ不成立ナルハ已ニ研究シアル筈ナルヲ以テ之ヲ省略ス(二)ハ地形ノ利用ヲ必要トシ(三)ハ敵兵機關銃、騎砲兵ヲ配備セルモノニ對シ戒慎シテ行フモノ(四)ハ特ニ一部ヲ以テスル火力ノ援助ヲ有効トナス場合ニ於テ採用スルモノナリ其何レヲ採用スヘキヤハ全ク現時ノ狀況ニ關スルモノナリ

三 攻撃方向ノ選定

旅團ハ今ヤ術策ヲ施スヘキ餘地ナシ故ニ兩側部隊ヲ以テ敵主力ノ側背ニ向ヒ動作セシメ主力ハ敵ノ正面ニ對シテ攻撃スルノ已ムヲ得サルモノナリ
 攻撃方向ノ選擇ニ就テ

敵ノ側背ニ向フ主力攻撃ノ有利ナルハ勿論ニシテ狀況已ムヲ得サルトキハ一部ヲ以テ敵ノ側背ニ向ハシムルヲ適當トス(騎兵操典第二部第十六之カ爲ニハ大ナル騎兵團ニアリテハ所謂分進合撃ニ際シ機ニ應シ主力ヲ一方ニ集結スル如クシ要スレハ一部ヲ以テ他方面ヨリ牽制セシムル如クスルモノナリ然レトモ一團トナリテ前進シタル部隊ヲ以テ此種ノ攻撃ヲ實施センニハ一部ヲ以テ正面ニ對セシメ主力ハ側方移動ニヨリ若ハ一團トナリテ前進中適當ノ時機ニ一部隊ヲ割テ側方ニ行動セシムルカ或ハ梯次部隊又ハ一翼部隊ノ分割ニヨルモノナリ何レノ場合ニ於テモ過早ニ失シテ我企圖ヲ敵ニ察知セラレ若ハ遅キニ失シテ兵力分離ニ乗セラレルノ虞ナキ如ク適當ノ時機ニ於テ之ヲ部署セサルヘカラス要ハ指揮官ノ手腕ト騎兵隊運動ノ輕快トニヨラサルヘカラス而シテ斯ノ如キ方法ヲ採用シ得ルハ戰術的術策ヲ施シ得ル實力アル聯隊四中隊以上ナルコトニ注意スヘシ

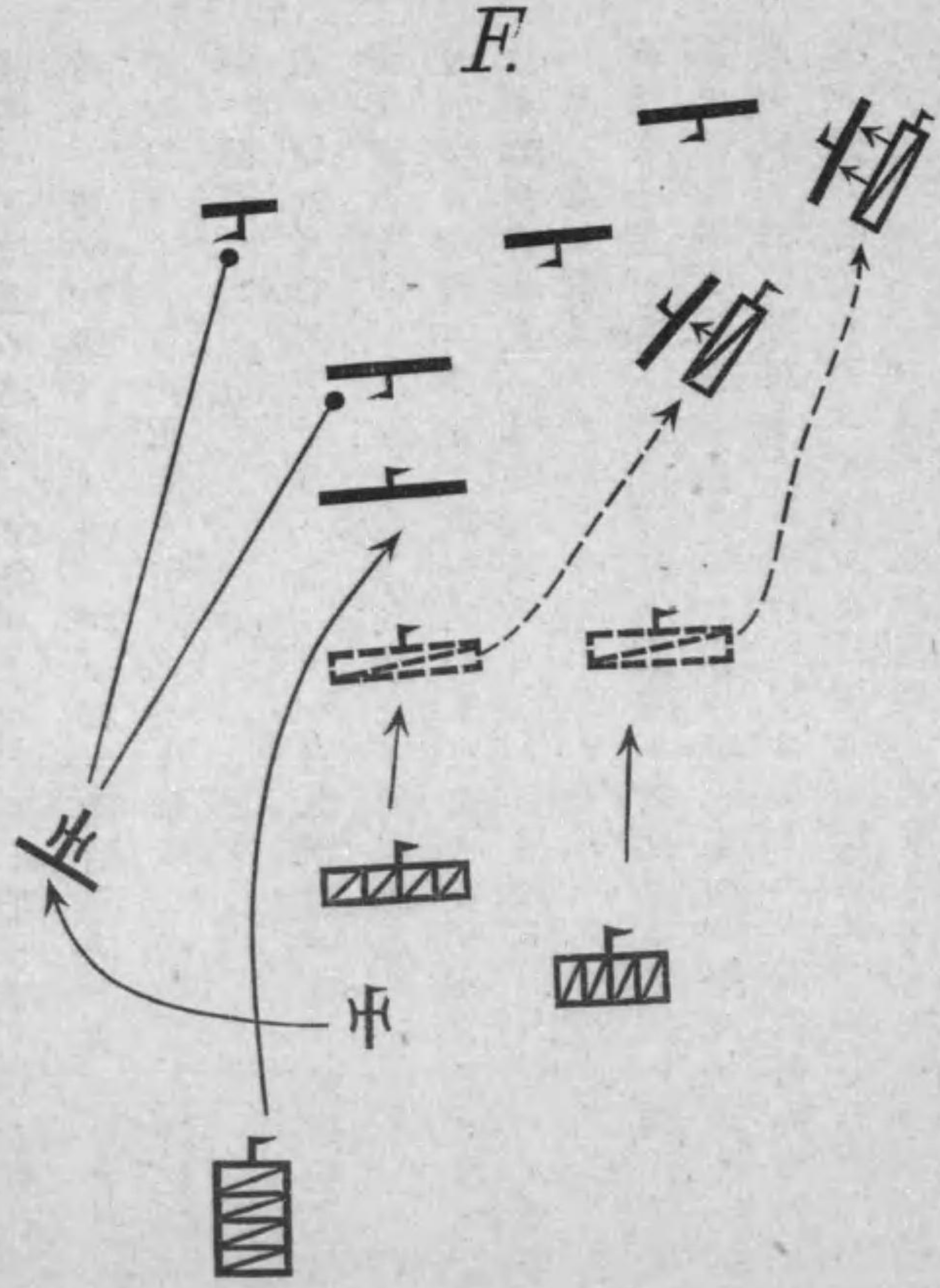
側方移動(敵ヲ側方ニ置キテ行フ運動)及側面掩護ニ就テ

騎兵攻撃方向ノ選定前述ノ如クナルヲ以テ騎兵戰ニ於テハ敵ヲ側面ニ置キテ行フ運動即チ側方移動ノ必要ヲ生スルコト屢ナリ騎兵ノ速力ト白兵戰ヲ本旨トスル戰法ノ特質トニヨリ之ヲ爲シ得ルモノナリ側方移動ヲ行フニハ全體ノ配置ヲ敵ニ正對シテ編成シ之ヲ側面向トナシ所望ノ方向ニ前進ス此際我弱點ハ側面ニアラスシテ先頭若ハ後尾ナリ故ニ此等ノ掩護ニハ特ニ注意ヲ要ス而シテ其運動ヲ行フ規模ノ大小ト各部隊ノ採用スル隊形トハ一ニ敵ニ對スル願慮ニヨルモノトス(騎兵ハ我ニ向ヒ前進スル敵ニ對シテ八百米ノ距離ヲ有スルトキハ小隊面ノ縱隊ヲ以テ大ナル側面運動ヲナシ得縱隊橫隊ナレハ小距離運動シ得ルノミ若五百米ニ接近スレハ唯小距離ノ側面運動ヲナシ得ルニ過キスト云フ)

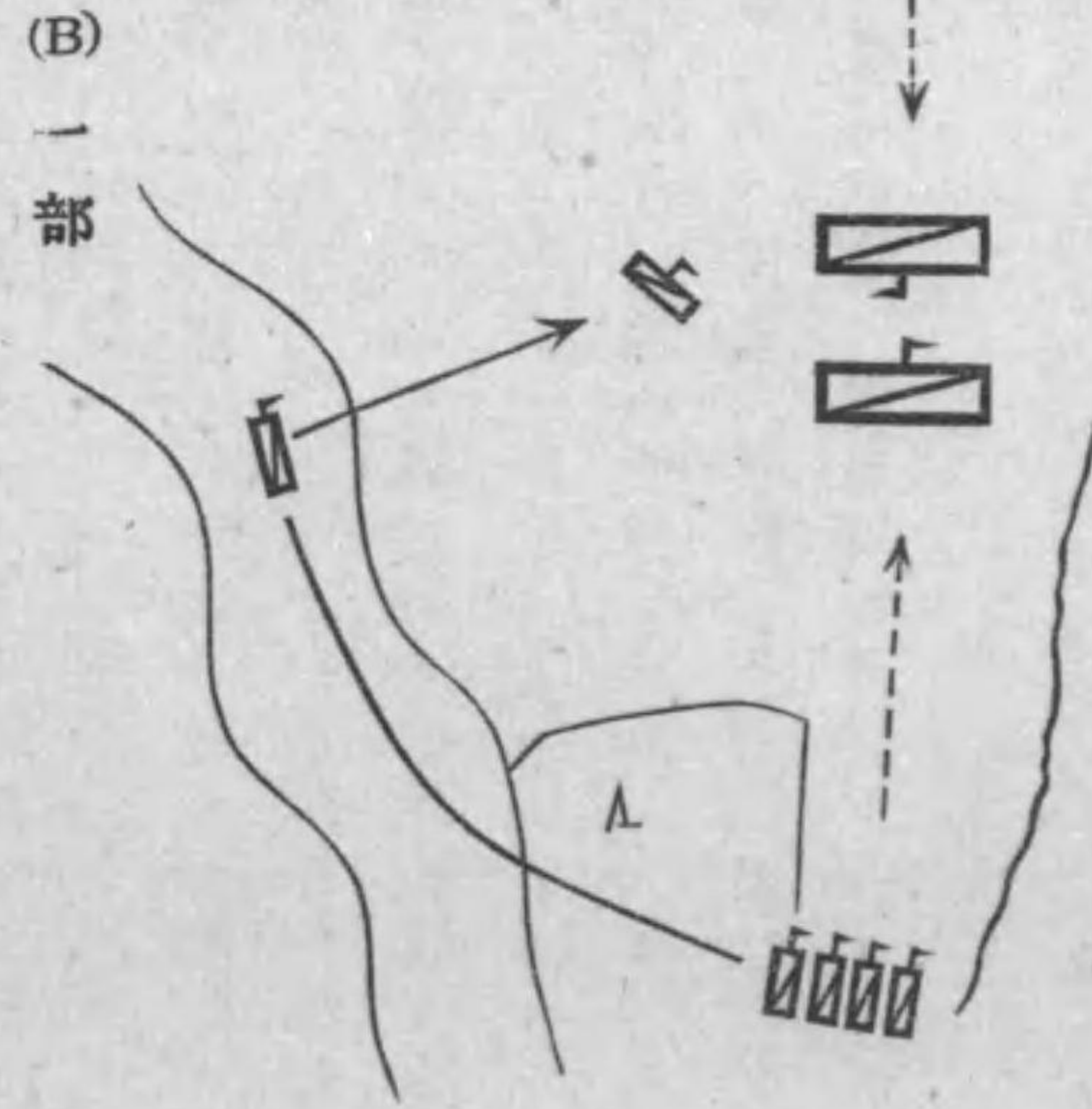
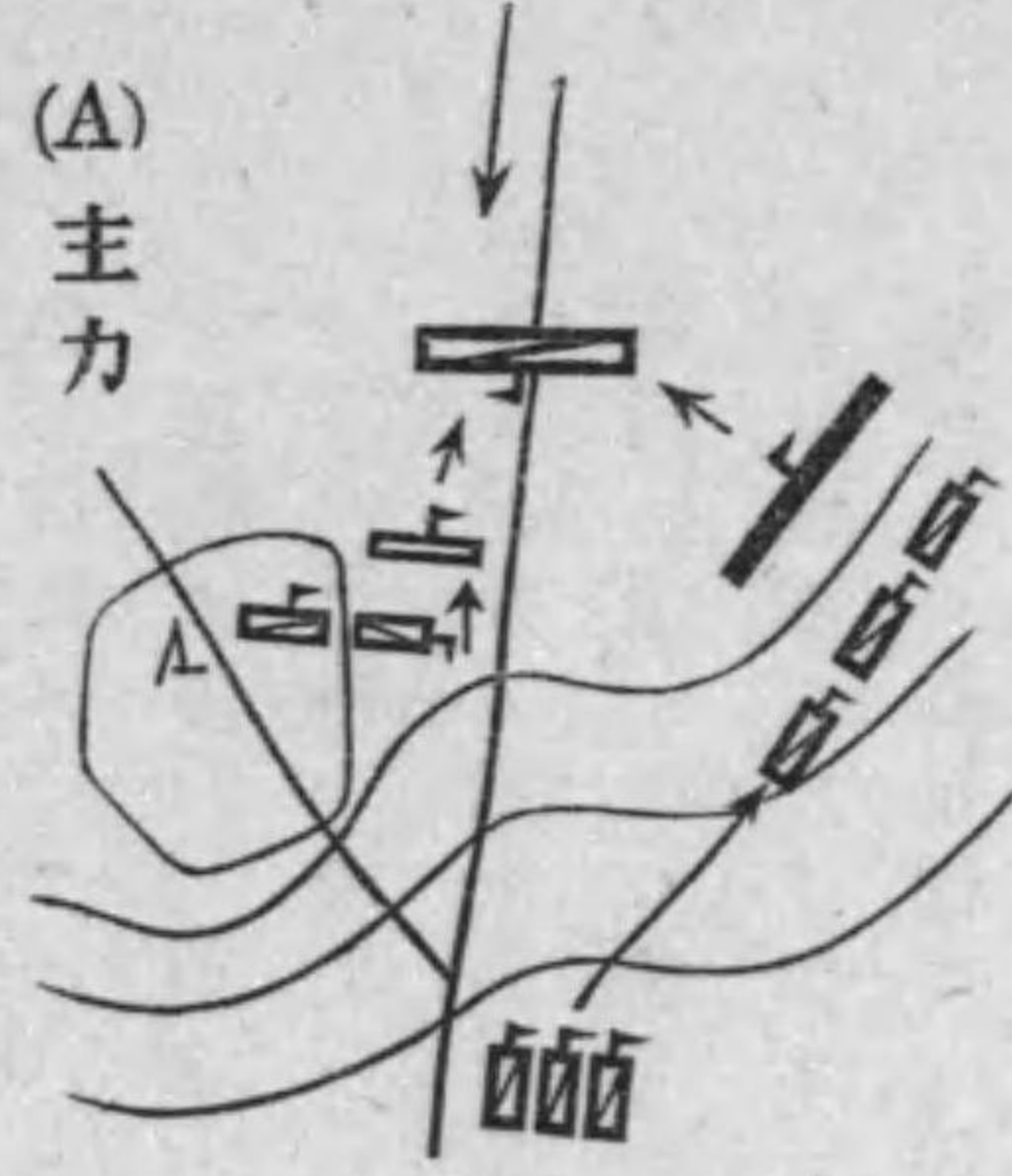
側面攻撃ニ就テ

騎兵ノ側面攻撃ヲ企圖スルヤ其指導法ニ數種アリ

(第一) 地形ノ利ニヨリ敵ノ側面ヲ奇襲スルモノ



此方法ハ理論上可ナルモ頗ル運動ノ巧妙ヲ要スルモノニシテ例ヘハ



(第二) 梯次部隊又ハ一翼部隊ノ分割ニヨルモノ

此場合ニハ一ニ地形ノ我ニ與フル利益ニ關スルモノナリ換言スレハ此
場合ニ於ケル著眼ハ地形ノ利用ト運動トノ調節ニアリ例ヘハ左ノ如シ

集團ハ先旅團ヲ梯次ニ配列シ以テ敵ノ正面ニ對シテ前進ス
 敵ノ左側ヲ攻撃スルニ決スルヤ直ニ戰團部署ヲ爲シ先ツ梯隊ヲ將ニ包
 圍攻撃セントスル敵翼ニ向ハシメ豫備隊ハ攻撃翼ノ反對側ニ於テ第一
 線ニ跟隨セシム
 敵ヲ距ル八百乃至千米ニ達スルヤ縱隊橫隊ニ在ル最前線及後方梯隊ニ
 命シテ攻撃セントスル敵翼ノ方向ニ轉回急進セシム
 適當ナル位置ニ到ルヤ號音ヲ以テ正面ヲ令シ以テ最前線ハ敵ノ最前線
 ト其梯次部隊トニ又梯次部隊ハ敵ノ豫備隊ニ向ハシムル如ク充分後方
 ニ向ヒ攻撃前進ヲナサシム
 集團長ハ第一線ト梯次部隊ヲ右方ニ轉進セシメタル後ハ豫備隊ノ處ニ
 在リテ形勢ヲ望觀シ之ヲシテ或ハ敵ノ正面ニ對セシメ或ハ敵ニシテ我
 最前線ノ側面運動中之ニ乗セントスルトキハ其側面ニ動作セシム
 騎砲兵ハ此際内側ニ位置シ敵ニ砲火ヲ集注ス
 之ヲ要スルニ主力ヲ以テ敵ノ側面ヲ攻撃セント欲スルトキハ主トシテ
 第一法ヲ用フルコト多シ

側面掩護ニ就テ

敵ハ我側面ヲ有利ナル攻撃目標トナスカ故ニ從テ我側面ノ掩護ニハ特
 ニ注意セサルヘカラス即チ我側面ヲ通過シ難キ地形ニ托スルカ又ハ機
 關銃騎砲兵ニ托スルカ騎兵操典第二部第二十五時トシテハ他部隊ニ依
 賴スルヲ得ハ最モ妙ナリ否ラサレハ自己ノ配置ニヨリ之カ區處ヲナサ
 サルヘカラス之カ爲ニハ梯次部隊ヲ用フルヲ通常トシ梯次部隊ヲ設ケ
 得サル如キ小部隊ニ在リテハ一翼部隊ハ別命ナキモ其責任ヲ有ス(同第
 二部第十九)其實施要領ノ一例ヲ示セハ左圖ノ如シ



騎兵旅團乘馬戰ノ研究

四 攻撃部署

旅團ハ各一部隊ヲ兩側ニ有シ地形亦限定セラレ側背ノ顧慮ナシ故ニ特別ノ側面掩護ヲ必要トセス又敵ノ豫想兵力ハ略我ト同等ニシテ兵力ニ過剩ヲ有セス故ニ兩聯隊ヲ一線ニ配列シテ前進セシメ旅團長ハ豫備隊ヲ要セス(騎兵操典第一部第二三十一)故ニ旅團ハ騎兵第一聯隊ヲ左同第二聯隊ヲ右トシテ其關係位置ヲ定メ攻撃目標トシテ敵騎兵團ヲ指示シ前進セシムレハ可ナリ(同第一部二三十二)之機關銃騎砲兵ハ既ニ進出ヲ完了シアリ而シテ機關銃及騎砲兵ノ位置ハ前進掩護及將來ノ戰鬪ヲ顧慮シテ進出セシメタルモノニシテ概ネ騎兵操典第二部第二十八ノ要求ニ合シアルヲ以テナリ

兩聯隊ハ各一線ニ排開スルノミヲ以テ足レリ此際梯次部隊ハ之ヲ要セス(騎兵操典第一部第二二十)之レ小ナリト雖第一聯隊第一中隊ノ一小隊(622)附近ニ位置シアルニ於テ殊ニ然リ(右聯隊長初期ニ於テ一中隊ヲ梯次スルハ強テ不可ナリトハ言ハス)

第一聯隊第一中隊(一小隊)ノ使用ニ關シテハ特ニ研究ヲ要スルモノアリ此部

隊ヲ以テ主力ノ戰鬪ニ直接參加セシメント欲セハ我機關銃騎砲兵ノ射撃ヲ妨害スル虞アリ故ニ此部隊ハ敵ノ機關銃騎砲兵ヲ攻撃シテ其火力ヲ我主力ヨリ分離セシムルカ(騎兵操典第二部第三十一)若ハ徒歩戰ヲ以テ側面ヨリ敵主力ヲ射撃シ以テ我主力ノ攻撃ヲ火力ヲ以テ援助セシムルカ(同第二部第三十三)之ナリ本狀況ニ於テハ我機關銃騎砲兵ニ依リテ側方ヨリスル火力ノ援助ハ充分ナリト認ムルヲ以テ寧ロ敵ノ機關銃及騎砲兵ニ向ヒ攻撃ヲ決行セシムルヲ適當ト認ム

攻撃部署ニ就テ

騎兵ノ攻撃部署ニ於テ旅團ハ併立及重疊ノ二種部署法アルハ歩兵旅團ト異ルコトナシ而シテ騎兵ハ密集白兵戰ナルヲ以テ形體上運動ノ畫一ヲ要セシ爲昔日ハ動作ノ統一ヲ主トシテ配置ヲ規定セシモ現今ニ於テハ各併立部隊ニ動作ノ自由ヲ有セシメ任務(目的)ヲ以テ統一スルノ戰法ヲ採用スル所ノ併立部署ヲ稱揚ス蓋該兵科ノ一進歩ト云フヘシ併立部署ハ有利ナリト雖敵情地形ニヨリ急速ナル攻撃ヲ要シ併立部署ヲ採用

シ得サルコトアリ斯ノ如キ場合ニハ重疊部署ヲ採用スルノ已ムヲ得サルモノナリ又時宜ニヨリテハ各別ノ任務ヲ以テ各個ニ使用スルコトアリ、聯隊以下ニアリテモ稀ニ此種ノ部署ヲ採用スルコトアリト雖多クハ一線襲撃ヲナスノミ(騎兵操典第一部第二百二十)而シテ重疊使用ニハ動作ノ自由ヲ保持スル爲二百五十米以上ノ距離ヲ希望ス

騎兵ニ對スル乘馬戰ニ於ケル部署ノ要訣ハ第一ノ衝突ヲ以テ勝利ヲ獲得スルニ在リ(騎兵操典第二部第十七)從テ第一線ニ用フル兵力ハ當初ヨリ其全部又ハ大部ヲ占ムルモノナリ然レトモ大ナル騎兵團ノ戰鬪ニ於テハ第一ノ衝突ヨリ戰鬪ノ結末ニ至ル迄ニハ若干ノ時間ヲ要シ且戰場ニ於ケル勝敗ハ一勝一敗ノ間多少ノ波瀾アルハ事實ナリ(縱令歩兵ノ如ク韌強ナラサルモ)茲ニ於テカ大ナル騎兵團ニハ通常豫備隊ヲ要ス即チ指揮官ハ豫備隊ヲ以テ最終ノ勝利ヲ完フセサルヘカラス然レトモ騎兵戰ニ於テ第一衝突ニ於ケル勝利ハ特ニ緊要ナルカ故ニ之ニ必要ナル兵力ヲ割キテ豫備隊トナスカ如キハ斷シテ不可ナリ故ニ豫備隊ヲ保有シ

得ルハ數旅團ヨリ成ル騎兵集團ニシテ旅團ニアリテハ極テ稀ニ保有シ聯隊ニ於テハ之ヲ保有シ得ルノ實力ナキモノトス(騎兵操典第一部第二百三十一、第二百四十二、同第二部第三十二)而シテ旅團ノ豫備隊ヲ有スルトキハ其距離ハ二、三百米ヲ以テ標準トナス

(附言)

歩兵旅團ニアリテハ獨立戰鬪ノ場合ニハ常ニ豫備隊ヲ要スルモ騎兵旅團ニアリテハ多クハ之ヲ要セス是兵數ノ大小、戰鬪法ノ差異、警戒部署ノ差異ヨリ生スル兵種ノ特性ニ基クモノナリトス

第一線諸隊ハ之ヲ齊頭ニ配置スヘキヤ梯次ニ配置スヘキヤハ一ニ狀況ニ關スルモノナリ即チ梯次配列ハ梯次配列ノ實力ヲ有スル部隊聯隊以上)ニシテ敵情不明ナルカ、特ニ側面掩護ヲ必要トナスカ、數上劣勢ナル敵ニ對スル等ノ如キ場合ニ於テ採用スヘキモノナリ(騎兵操典第一部第二百、同第二部二百三十)

第一線ヲ梯次ニ配列スルニ當リ配列狀態即チ梯次ノ數、各梯次部隊ノ兵

力關係位置ヲ定ムル要領ハ危險ノ大小豫想スル敵兵力ノ大小將來ニ於ケル我兵力使用ノ計畫等ニ關スルモノナリ而シテ騎兵集團ノ如キハ旅團毎ニ梯次スルコトアルモ聯隊ノ如キハ要スレハ一部隊ヲ梯次セシムルニ過キス

梯次部隊ハ目的ノ達成上必要ナル方面ニ位置シ其距離間隔ハ部隊ノ大小目的及狀況ニヨリ差異アリト雖聯隊ニアリテハ約百米旅團ニアリテハ約百五十米ヲ標準トスレハ可ナリト云フ

(注意) 縦長區分ニ關シテモ歩騎兵ノ主旨及形狀ノ差異ト兵種ノ特性トヲ比較研究スレハ興味アルコトナリトス

機關銃及騎砲兵ノ使用法ニ關シテハ騎兵ノ直進運動ヲ主トシ機關銃騎砲兵ヲ側方ニ溢出セシムルモノト機關銃騎砲兵ヲ軸トシテ騎兵ノ側方移動ヲナスモノトノ二種アリ(騎兵操典第二部第二十八)何レヲ採用スヘキヤハ全ク狀況ニ關ス何レノ場合ト雖敵ノ現出方向彼我ノ衝突點ヲ顧慮シ過早ニ射撃ヲ中止セサルヘカラサルカ如キコトナキ如クスルヲ要ス

攻撃部署ヲ指示スルニハ第一線部隊ニ各別ノ任務ヲ與ヘ(騎兵操典第一部第二百三十七)又ハ基準部隊ニ攻撃目標又ハ前進方向ヲ指示シ協同動作ヲ適切ナラシムレハ可ナリ(同第一部第二百二十一、同第二部三十二)

狀況

爾後旅團主力ハ集團橫隊ニ排開シ次テ縱隊橫隊ニ展開ス時ニ彼我ノ距離七百米位ナリ第一聯隊第一中隊(一小隊欠)ハ今ヤ散開襲撃ヲ以テ敵機關銃及騎砲兵ニ、又其一小队ハ側方ヨリ我主力ノ戰鬪ニ參加セントシツツアリ又我機關銃騎砲兵ハ敵主力ニ對シ猛火ヲ注キツツアリ

騎兵乘馬戰ニ於ケル展開ニ就テ

騎兵乘馬戰ニ於ケル展開法ニハ概ネ四種アリ(一)對進展開(二)線上ノ展開

(三) 待機の展開(四) 逐次展開之ナリ其用途ハ即チ先ニ述ヘタル戦闘指導ノ方針ニヨリテ定マルモノトス

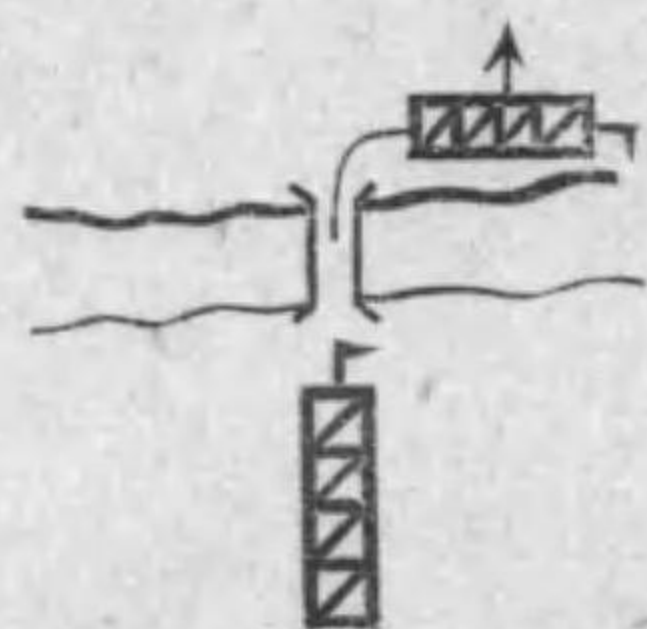
展開開始ノ時機ハ騎兵戦ニ於テ特ニ注意ヲ要ス即チ時機過早ナレハ動作ノ自由ヲ失シ遅キニ失スレハ準備未タ完カラサルニ敵ト衝突スルニ至ル故ニ大部隊ニアリテハ敵前約七百米位ニテ縦隊横隊ニ又小部隊ニアリテハ約五百米位ニテ横隊トナリ得ルヲ以テ適當ナリトス要スルニ彼我ノ間ニ於テ約五百米ノ所謂襲撃距離ヲ存シテ全ク襲撃準備ヲ終ル如クスルヲ適當トス即チ襲撃方向ノ確定ト襲撃隊形(横隊)ノ構成ト襲撃距離ノ保持ヲ相調和セシムルニ在リ

展開開始ハ以上ノ結果ヲ得ンカ爲ニハ理論上ヨリ見ルトキハ展開正面幅ノ二倍彼我共ニ速歩又ハ三倍敵兵駈歩ニ襲撃距離ヲ加ヘタル位置附近ヨリ行フヲ適當トナスヘシ

(一) 對進的展開

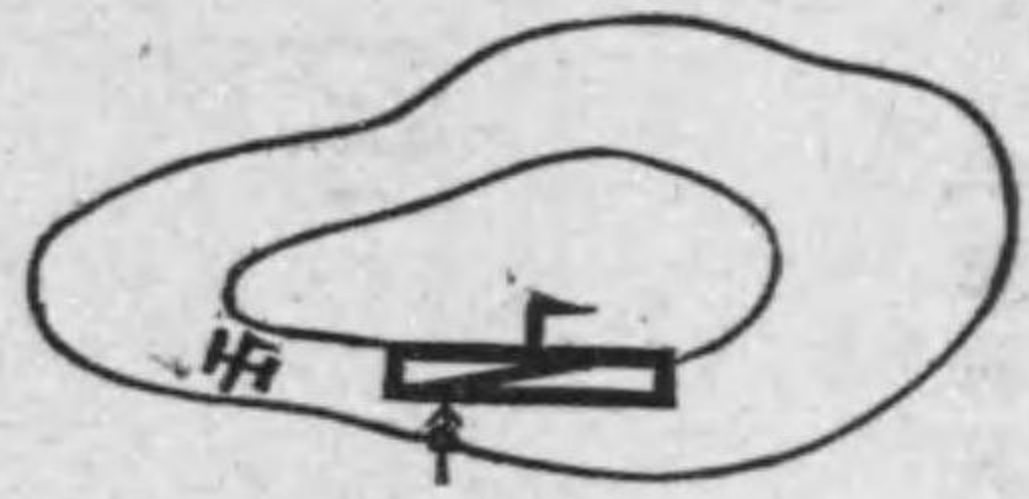


(二) 現位置展開

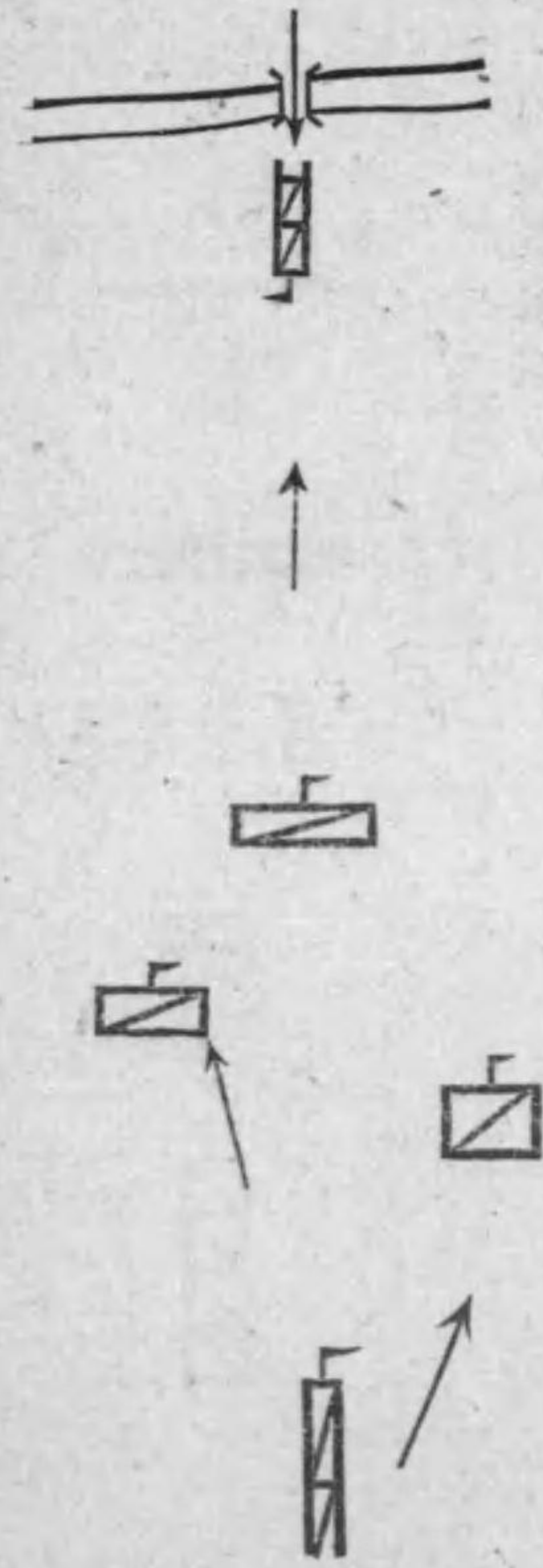


(三) 待機の展開





(四) 逐次展開(逐次攻撃)



(附言)

展開ノ意義ハ歩兵ノ場合ト同一ニシテ各部ニ戦闘任務ヲ課シ
 諸部隊カ任務履行ニ適スル位置ヲ占メ終リタルヲ稱スルナリ
 故ニ小部隊例ヘハ中隊ノ如キハ展開完了ハ直ニ襲撃隊形(横隊)
 編成ト一致スルモ大部隊ニアリテハ必シモ否ラヌ多クハ展開
 ハ縦隊横隊ヲ以テ完了シ爾後更ニ第二次トシテ襲撃隊形ニ移
 ルヲ一般トス但シ一層速ニ展開シタル場合ニハ襲撃方向ノ定
 マル迄ハ機動ノ隊形ニアルヲ要スルヤ勿論ナリ
 彼我五百米ノ餘地ヲ存スルハ襲歩距離ヲ約五十米トシ殘二百
 米ヲ駈歩伸暢駈歩ヲ以テ襲歩ノ氣勢ヲ準備スルニ適スル距離
 ノ二倍ナリ

梯次部隊ハ任務ノ性質上第一線横隊ニ排開シタル場合ニ於テ縦隊横隊
 ニ移ルヲ一般トス爾後狀況急ヲ要スレハ横隊ニ排開セスシテ敵線ニ衝
 突ス梯次部隊長ハ能ク梯次部隊ヲ使用スル場所ト時機トヲ顧慮スルヲ
 要ス即チ彼我兵力ノ差異上我第一線ヲ延伸スルヲ要スルヤ敵ノ側面ヲ

攻撃スル爲其第一線ノ側面ニ向フヘキヤ(梯次部隊遠シ)梯次部隊ニ向フヘキヤ(梯次部隊近シ)將又我側面掩護ノ爲外線上ニ移動シテ包圍的ニ敵ノ梯次部隊ニ對スルヲ要スルヤ等是ナリ

(附言) 梯次部隊ノ同時衝突ナル意義ヲ物理學的ノ同一瞬間ト偏解スヘカラス多少ノ遲速アリテモ第一線部隊長ノ任務達成上同一勝利ノ基礎ヲ開ケハ可ナリ

豫備隊ハ第一線ノ全部戦闘ニ從事シアルトキ初メテ縦隊横隊ニ移ルヲ得然レトモ尙機動ヲ要スルコト少カラス豫備隊ハ最終迄維持スルヲ必要トスヘキカ故ニ縦合戦闘ニ加入スル場合ニ於テモ一部ハ尙指揮官ノ掌中ニ存セサルヘカラス豫備隊ノ使用ハ原則トシテ軍隊指揮官之ヲナス故ニ豫備隊ヲ有スル軍隊指揮官ハ豫備隊ノ近傍ニ在ルヲ一般トス而シテ其使用ニ關シテハ其場所ト時機トヲ熟慮決定セサルヘカラス非常特異ノ場合ニアリテハ豫備隊長獨斷ヲ以テ戦闘ニ投入スルコトアリ

狀況

旅團ハ爾後敵前約五百米ニテ横隊トナリ列兵ハ拔刀シ漸次駈歩、伸暢駈歩ニ移リ敵前約五十米位ヨリ襲歩ニ移リ敵騎ト衝突スルニ至ラン勝敗ノ數ハ固ヨリ知ルヘカラスト雖敵ハ地形上制高ノ利ヲ有スルモ進出當初機先ヲ制セラレタルノ感アリ要スルニ勝利ノ幸運ハ天祐アル軍ニ歸スルナラン

行軍計畫ノ研究

第一師團方面ノ狀況

第一師團長ハ五月三十一日軍ノ前進部署ニ關スル軍命令ノ要旨ヲ電報セラレタリ茲ニ於テ第一師團長ハ翌日以後ノ爲ノ前進計畫ヲ立案セントス

第十問題(宿題)

六月一日以後ノ爲第一師團行軍計畫

詳細ナル給養計畫ハ之ヲ要セス但シ甲府ニハ師團五日間分ノ集積糧秣アリ

第十問題答解ニ對スル總評

諸官ノ作業ニ關シテ總評ヲ試ムレハ次ノ如シ

- 一 行軍豫定期日ヲ五日迄トナスモノト三日迄トナスモノトアリ(甲)ハ軍ノ指示ニ基キ五日迄ニ掛川附近ニ進出スル必要上此期間ノ豫定ヲ定メントシ(乙)ハ狀況上四日以後ハ戰備行軍ヲ要スルヲ以テ計畫トシテ之ヲ豫定シ難シトナスモノニシテ本行軍計畫ノ如ク附表トシテ部下ニ指示スヘキ性質ノ計畫トシテハ(乙)ニ同意スルモノナリ
- 二 騎兵中隊ヲ縱隊内ニ行進セシムルモノト速ニ騎兵旅團ト連絡セシメントスルモノトアリ第一師團長トシテハ騎兵旅團ノ通報ニノミ依頼セス自ラ之ト連絡シ且要スレハ之ト協力セシメ以テ搜索ヲ容易ナラシムルヲ可トス故ニ予ハ速ニ濱松平地ニ進出シテ敵情搜索及連絡ニ任スルヲ適當トナスモノナリ然レトモ騎兵隊ニハ諸官ノ如ク單ニ速ニ云々ト命スルハ不可ナリ宜シク何日迄ニ主力ヲ以テ何地附近又ハ何ノ線以西ノ地區ニ進出云々トシテ適確ニ要求セサルヘカラス之カ爲ニハ騎兵中隊ノ行進能力ト給養法ヲ顧慮スヘキヤ勿論ナリトス
- 三 縱隊ノ數ニ就テハ一乃至四ノ四案アリ一縱隊ヲ數梯團トシテ前進スルモノトス

ハ思フニ東海道ニ出ツレハ結局一縦隊トナルヲ以テ途中統御ノ不便ヲ忍ビ今ヨリ縦隊ヲ區分スル必要ナシトセルモノニシテ一理アルカ如キモ第一師團ハ甲府平地ヨリ補給ヲ受ケスシテ御殿場沼津方面ニ後方連絡線ヲ變換スルヲ要スルヲ思ヘハ甲府出發ヨリ已ニ其準備ヲナシ戰備行軍ニ際シ支障ナキヲ努ムルト同時ニ經路沿道村落ノ景況ヲ顧慮シ宿舍力ト地方物資ノ利用トニ想到セハ數道路ヲ利用スルノ有利ナルニ若カス途中糧食縦列ノ補給ヲナサス三日夜以後ニ於テ之ヲ整理セントスル案ニアリテ特ニ然リ

(注意) 諸官ノ作業トシテハ補給ニ關シテハ多ク顧慮ヲ要セサルコトヲ附言

シ置キタルヲ以テ主トシテ宿營力ト行軍ノ便否ヲ顧慮スレハ足レリ
三日夕ニ於テ東海道沿道ニ適宜兵力ヲ集結シ得ルヲ度トシ予ハ成ルヘク多數道路ヲ利用スル案ニ同意スルモノナリ

四 一縦隊内ノ梯團區分ハ途中行進ノ難易及沿道宿營力ヲ顧慮シ同時ニ將來兵力使用上移動ノ要否ヲ顧慮シテ決定スヘキモノナリ故ニ主力縦隊ノ第一梯團ハ已ムヲ得ス將來諸兵連合ノ一部隊(前衛又ハ先遣支隊ノ如キ)ノ急用アル場合

ヲ顧慮シ相當ノ兵力編組トナスニ同意スルモノナリ

五 行進行程及宿營地選定ニ關シ顧慮甚少キモノアリ行程ニ關シテハ全員皆圖上距離ヲ以テ眞距離ト看做シ圖上距離ニ於テ十一二里ノ行軍ヲ要求シアルモノ又宿營力ニ關シテハ人口ト部隊大小ノ關係ヲ顧慮セス五〇〇以下ノ村落ニ步兵一聯隊餘モ投宿セシメントスルカ如キ共ニ適當ナラス

予ハ三日夕ニハ入江附近ヲ先頭トシテ東海道沿道ニ主力ヲ集結スル程度ノ要求ヲ以テ此山地進出ハ満足スヘキモノト思考ス但シ斯ノ如クスルモ五日夕迄ニハ掛川附近ニ進出スル見込アレハナリ

六 給養上各縦隊及梯團ニテ若干ノ糧食縦列ハ之ヲ跟随セシムルヲ可トス之東海道沿道ニ出ツル迄ハ寒村ニテ地方物資ノ利用微々タルヘケレハナリ

(附言) 諸官ノ作業トシテ予ハ要求セサリシモ甲府ヨリ東海道ニ出ツル迄ノ間ニ於テ糧食縦列ハ之ヲ甲府方面ヨリ補給スルヤ否ヤヲ顧慮スルヲ要ス

若甲府方面ヨリ補給スルトセハ第二日以後ハ富士川ノ水路ニ依ルモ

一案ナリ

又東海道沿道ニ出ツル間ハ之ヲ補給セス消費スルニ從ヒ空車トナリ
前進シ東海道ニ進出後沼津倉庫(江尻附近ニ海路ニ依リ臨時集積場ヲ
設クレハ更ニ妙ナリ)ヨリ補給ヲ受クルモノトナスモ可ナリ

七 出發時刻、出發點、大休止等ノ項目中、稍形式的ニシテ必要ナキモノアリ例ヘハ
某道路ヲ行進スル縱隊ノ爲大休止何地附近ト規定スルカ如キ之ナリ

八 表ノ調製ノ要領ニ於テ能ク各事項ノ目的ト其事項ノ該表ニ關スル價值ヲ判
斷シテ調製スルヲ要ス然ルニ重要ナル事項例ヘハ經路、騎兵中隊ノ使用法ノ如
キヲ備考トナシアルモノアルカ如キ又ハ何等必要ナキニ他縱隊大休止ノ位置
ヲ規定スルカ如キ之ナリ

九 作業上註記及隊號ノ誤アルハ不可ナリ

第十問題答解上ノ著眼

一 本計畫表ノ目的

凡ソ計畫表ニハ指揮官ノ腹案トシテ貯存スルモノト命令ニ貼附シテ部下ニ示
スモノトアリ(甲)ノ目的ノ爲ニハ各種ノ場合ヲ豫定シテ計畫ヲナス所謂豫定計
畫ナルモノ(乙)ノ目的ノ爲ノモノハ寧ロ實行命令ナリ故ニ特ニ實行ノ確否ニ重
キヲ置カサレハ不可ナリ本計畫ノ如キハ附録トシテ行軍命令ニ貼附スルモノ
ナルヤ異存ナカルヘシ從テ實行ヲ期シ得ル程度ニ計畫セサルヘカラス

二 狀況判斷

本狀況判斷ノ目的ハ第一師團ノ明一日ヨリ五日迄ニ亘ル前進計畫ヲ如何ニ時
期ヲ區分シ如何ニ指導スルヲ適當トスルヤ換言スレハ行軍計畫表ヲ以テ確實
ニ諸隊ノ行動ヲ規定シテ命令シ得ル時期ハ幾何日數間ナリヤ其後ノ前進ニ際
シテハ如何ナル腹案ヲ有スヘキヤ等ヲ決定スルニ在リ
全般ノ狀況ニヨレハ彼我ノ騎兵團ハ距離ノ關係上六月三日頃ニハ三方ヶ原附
近ニ於テ衝突スルコトヲ豫期ス其勝負ハ固ヨリ判斷スルヲ得サルカ故ニ第一
師團第一期ノ計畫ハ我騎兵旅團ヲシテ三日ノ戰鬪ニ於テ失敗ヲ招キタル場合
ニ於テ其直接影響ノ爲計畫ノ變更ヲ要セサル程度ノモノナルヲ要ス三日夕ニ

ハ師團ハ江尻附近東海道上ニ進出シ得ヘク騎兵旅團敗戦ノ場合ト雖其影響ヲ受クルコトナカルヘシ故ニ三日夕迄ニ確實ニ計畫ヲナスコトヲ得然レトモ四日ニ至リテハ我騎兵團敵ニ驅逐セラレ退却シ來ルコトアランカ師團ハ直接其影響ヲ受クルカ故ニ四日以後ハ戰備行軍ヲナササルヘカラサルヤモ計ラレス之ヲ要スルニ本狀況ニ於テハ一日乃至三日迄ハ旅次行軍トシテ確實ナル計畫ヲナシ之ヲ諸隊ニ命令シ得ルモ四日以後ハ師團長ノ腹案ニ止メ之ヲ諸隊ニ指示スルハ過早ナリ故ニ第一期行軍計畫ハ六月一日ヨリ三日ニ亘ル三日間ノモノナラサルヘカラス

三 騎兵中隊主力ノ使用法

騎兵中隊ハ此際縱隊内ニ在リテ行進セシムルコトナク速ニ掛川方向ニ前進シ騎兵第一旅團ト連絡シ敵情ヲ搜索セシムルヲ要ス之カ爲ニハ日々ノ宿營地ヲ指定スルコトナク何日迄ニ何地附近ニ進出スヘキヤノ要求ヲナシ且給養ハ全ク地方物質ニ依ラシメ其大行李ハ第一梯團ノ大行李ト行動ヲ共ニセシムヘシ故ニ予ハ騎兵中隊ハ三日夕ニ主力ヲ以テ安倍川以西ノ地區ニ進出セシメント

ス

四 三日夕ニ於ケル諸隊位置ノ選定

本事項ノ目的ハ四日以後ノ戰備行軍ニ移ル爲三日夕ニハ諸隊ハ如何ナル位置ニ在ラシムルヲ適當トナスヤヲ考察スルニ在リ

甲府掛川間ハ步兵縱隊ノ爲約五日間行程ニシテ甲府江尻間ハ約三日間行程ナリ

而シテ師團ハ翌四日ヨリ戰備行軍ニ移ルコトヲ豫期スルカ故ニ此夕ニハ東海道沿道ノ諸村落ニ兵力ヲ集結シアルヲ要ス又給養ノ關係ヨリ見ルモ三日夕迄ニハ大行李、糧食縱列ノ大部分(一縱列ハA支隊ニ派遣シアリ)ハ空虚トナリ翌四日以後ノ前進ノ爲ノ充實ヲ要ス之カ爲ニハ三日夕ニハ物資ノ豐富ナル東海道沿道ニ進出シアルヲ要ス

師團ノ主力ヲ三日夕静岡迄進出セシムルハ頗ル希望スル所ナルモ行程稍大ニ過キ又進路ハ山地ナルヲ以テ特ニ軍隊ノ疲勞多キヲ顧慮シ寧ロ予ハ江尻附近ヲ先頭トシテ集結スルヲ適當ト思考スルモノナリ即チ戰列部隊(輜重ノ一部ヲ

含ムヲ以テ入江、蒲原間ニ軍隊ト同行セサル輻重ヲ以テ吉原、原間ニ集結スルヲ適當ト認ム

五 進路ノ決定

師團ハ三日間ノ旅次行軍ヲ以テ前述豫定宿營地ニ集結シ終ルヲ要ス而シテ此間ニ何等敵情ノ顧慮ヲ要セサルカ故ニ行軍ノ容易、宿營、給養ノ便ヲ顧慮シ成ルヘク多クノ道路ヲ採用シ沿道物資ノ利用ヲ計ルヲ要ス故ニ予ハ富士川兩岸ノ道路、甲府―右左口―大宮―吉原道、甲府―吉田―御殿場―沼津―原―吉原道ヲ利用セントス各沿道ノ村落寒村ナルニ於テ特ニ然リ

統御上ヨリ言ヘハ少數道路ヲ便トスルモ斯ノ如ク沿道寒村ニシテ宿營地ニ乏シク特ニ師團ハ爾後ノ前進ヲ顧慮シ成ルヘク携行糧秣ヲ殘置シ地方物資ヲ利用スルヲ可トスルカ故ニ多數ノ道路ヲ利用スルハ事情已ムヲ得サルナリ

六 縦隊區分

師團ハ四道路ヲ利用セント欲スルモ行程ノ遠近及道路ノ景況上行進ノ難易沿道村落ノ状態ヲ顧慮シ適當ニ其兵力ヲ配當セサルヘカラス

富士川右岸道路ハ良好ニシテ行程モ亦最近ナルヲ以テ此道路ニハ比較的大ナル兵力即チ師團司令部、歩兵第一旅團、騎兵一小隊、野砲兵第一大隊、工兵第二中隊、師團電話隊、衛生隊半部、糧食一縦列ヲ行進セシムルヲ要ス

富士川左岸道路ハ不良ニシテ沿道寒村ナルモ他道路ニ於テモ殆ト同様ノ状態ニアルヲ以テ本道路ヲ利用スルニアラサレハ師團ノ行軍ハ圓滑ナル能ハス故ニ一部ノ歩兵即チ歩兵第三聯隊(第三大隊欠)及糧食半縦列ヲ行進セシム

甲府―右左口―大宮―吉原道ハ比較的良好ニシテ行程ノ關係モ亦他道ニ比シテ著シク大ナラス且沿道村落モ富士山西側附近ノ外ハ可ナリ宿舍力ニ富ムヲ以テ此道路ハ稍大ナル縦隊ヲ進メ得ヘシ即チ予ハ歩兵第三聯隊第三大隊、野砲兵第一聯隊(第一、第二大隊欠)聯隊段列三分二、工兵第一大隊(第二中隊欠)糧食半縦列ヲ行進セシメントス

甲府―吉田―御殿場―沼津―吉原道ハ道路ノ景況及沿道村落ノ状態ハ可ナルモ行程遠ク戦列部隊ヲ行進セシムルニハ不利ナリ然レトモ直接必要ナキ輻重

ヲ行進セシメ以テ速ニ東海道上ニ進出シ爾後ノ前進準備ヲナスニハ適當ナリ
故ニ予ハ軍隊ニ跟隨ヲ要セサル輜重ヲ行進セシメントス

七 各縦隊内梯團分割ノ要否

第一縦隊ハ混成約一旅團ニ相當スル兵力ニシテ之ヲ一團トシテ日々行軍セシ
ムルハ行進ノ不便アルノミナラス沿道村落ハ宿營力ニ乏シ故ニ之ヲ二梯團ニ
分割スルヲ可トス

此分割ニ當リ注意スヘキハ師團ハ數縦隊トナリ行進スルカ故ニ途中狀況ノ變
化ニ際シ特ニ一部隊ヲ急行セシメ以テ師團ノ兵力集結ヲ掩護セシムル等ノ必
要ヲ生スルコトアル場合及四日以後ノ戰備行軍ニ移ル爲ニハ成シ得レハ大ナ
ル兵力移動ヲ行ハスシテ可ナル如ク腹案シアルコト之ナリ故ニ予ハ第一縦隊
ヲ左ノ如ク區分セント欲ス

第一梯團 步兵第一旅團司令部、步兵第一聯隊、騎兵三分隊、野砲兵第一大隊、

工兵第二中隊、糧食半縱列

第二梯團 師團司令部、步兵第二聯隊、騎兵一分隊、師團電話隊、騎兵中隊、大行

李、糧食半縱列

第二縦隊以下ハ特ニ梯隊區分ヲ要セス(行進ノ難易ヲ顧慮シ部隊間ノ距離ヲ隔
テテ行進セシムル如キハ縦隊長ニ一任シテ可ナリ)

八 給養人馬及行軍長徑

行軍及宿舍給養ヲ適切ナラシムル爲ニハ諸官ハ準備作業トシテ豫メ各部隊ノ
給養人馬數及行軍長徑ヲ算定シ置クコト必要ナリ
各部ノ給養人馬數及長徑ノ概數ハ次ノ如シ

| | | | |
|------|------|-------|-----|
| 第一縦隊 | 第一梯團 | 戰列部隊 | 大行李 |
| 第二縦隊 | 第二梯團 | 四、五〇〇 | 七五〇 |
| 第三縦隊 | | 三、一〇〇 | 九五〇 |
| 第四縦隊 | | 二、三〇〇 | 三〇〇 |
| | | 三、一〇〇 | 六五〇 |
| | | 七、六〇〇 | |

(注意) 給養人馬數ハ省略ス

行軍計畫ノ研究

九 宿營地及日程

沿道寒村ノ爲投宿力小ナルヲ以テ其地人口ノ約倍數ヲ投宿セシムルコトヲ標準トナシ各縱隊ノ長徑ヲ顧慮シ地域ヲ配當スレハ可ナリ但シ前述ノ標準ヨリモ寬裕ナル宿營ヲナサシメ得ル場合ニハ勿論之ニ據ルモノトス

以上ノ標準ヲ最下限トシテ各部ノ所要投宿力ヲ算定スレハ第一梯團ハ約二千五百(人口以下之ニ依ル)ノ村落第二梯團ハ二千内外、第二縱隊乃至第四縱隊ハ千五百内外ヲ以テ満足セサルヘカラス但シ第四縱隊ハ特ニ馬匹ノ多數ナルコトヲ顧慮スルヲ要ス

各部日々ノ行程ハ三日夕ニ豫定宿營地ニ就キ得ルヲ目的トシ概ネ全行程ヲ三分シ宿營地ノ許ス範圍ニ於テ成ルヘク等距離ヲ行進セシムルコトヲ計ルヘシ但シ宿營地ノ關係上日々ノ行程不同ナルハ實際ニ於テ免ルヘカラサルモノナリ

行程ノ計算ニ於テ特ニ圖上距離ニ係數ヲ乘スルコトヲ忘ルヘカラス其係數ハ地圖ノ性質及土地ノ狀態ニヨリ差異アリト雖本邦二十萬分一地圖ニ依リ普通

ノ山地ニ於テハ約十分ノ二ヲ増加スルヲ可トス

故ニ予ハ左ノ如ク宿營地及日程ヲ定メントス但シ日程ハ各部ノ先頭部隊ニ就テ之ヲ示スモノナルヲ以テ後尾ハ宿營地ノ關係上更ニ多少ノ増減アルハ勿論ナリ

(注意) 之カ爲ニハ一里二珊ヲ一珊六密トシテ計算スルトキハ簡單ナリ

| | | | | | | | |
|---------|---------|--------|---------|---------|----|---------|----|
| 第一梯團 | | 第二梯團 | | 第三縱隊 | | 第四縱隊 | |
| 第一日 九里 | 六里半 | 九里 | 六里半 | 九里半 | 八里 | 八里半 | 十里 |
| 甲府西南端 | 豐住南端 | 甲府南端 | 同 | 甲府南端 | 上 | 甲府南端 | |
| 下山、石切間 | 西島、獸澤間 | 岩間、落合間 | 精進、左右口間 | 船津、藤野木間 | | | |
| 第二日 七里半 | 七里 | 九里 | 九里半 | 大宮、北山間 | | 御殿場、須走間 | |
| 萬澤、榎根間 | 南部、光子澤間 | 十島、大島間 | | | | | |
| 第三日 八里 | 九里 | 九里 | 七里 | 神澤、蒲原間 | | 一本松、沼津間 | |
| 入江、嶺附近 | 横砂、中宿附近 | 洞、由比間 | | | | | |

十 出發點、出發時刻及大休止地ノ決定

出發點ハ第一日ハ特ニ第一縱隊ト第二縱隊ノ混雜ヲ避ケ得ル如ク規定スルヲ要ス此際第二縱隊ノ出發點ヨリ西花輪附近迄ノ進路ヲ規定スルコトヲ忘ルヘ

ルヤ勿論ナリ凡テ計畫ハ其目的ヲ要スルト同様此種計畫ニ於テモ亦確實ナル目的ヲ立テ之ニ依リテ諸事ヲ規定スヘキモノナリ當然ノ事ノ如キモ旅次行軍ト稱スレハ敵情ニ關係ナキ故動モスレハ作戰上無目的ナルカ如ク速断スルモノ皆無ニアラサルヲ以テ特ニ此點ニ關シ注意ヲ喚起セントス

二 給養人馬數、行軍長徑ノ算定

旅次行軍ハ給養ヲ主トスルカ故ニ給養人馬ノ算定ハ特ニ必要ナリ之給養ノ目的ヲ以テスル縱隊區分若ハ梯團區分ハ之ニ基キテ分割スルコト多キヲ以テナリ(他ノ目的ヨリ打算シテ分割スルコトアルハ勿論ナリトス)又行進ノ圓滿ヲ欲セハ宜シク各部ノ行軍長徑ヲ顧慮シ道路ノ景況ニ依リテ生スル部隊ノ延伸等ヲ顧慮セサルヘカラス

戰備行軍ニ於ケル行軍長徑ハ諸官等シク嚴密ナル注意ヲ拂フモ旅次行軍ニ於テハ動モスレハ此注意ヲ等閑ニ附シ易キヲ以テ特ニ一言ス

三 進路、縱隊又ハ梯團區分

數道路ヲ利用シ得ル場合ニハ道路ノ價值ニ應シ全隊ヲ若干縱隊ニ區分シ以テ

行進ヲ容易ナラシム小部隊ニアリテハ稀ニ各部隊毎ニ行進セシメ得ルコトアルモ大部隊ニ於テハ多ク某副目的又ハ將來ノ目的ヲ顧慮シ若干ノ小編合部隊トナスモノナリ

全隊一道路ヲ前進スルヲ要スル場合ニハ之ヲ數梯團ニ區分シ梯團間ニ若干距離ヲ存シテ行進セシムルヲ可トス而シテ各縱隊又ハ各梯團内ノ行進順序ハ一ニ行軍ノ容易ヲ主目的トシテ決定セララルモノナリ

然レトモ所要ニ應シ途中縱隊又ハ梯團ノ編合ヲ變更シ難キ等ノ場合ニ於テハ將來ノ使用ヲモ顧慮シ所要ニ應シ適切ナル戰術的編合ヲナシ得ル如ク豫メ準備シアルヲ要ス例ヘハ隘路内ヲ行軍スルニ當リ豫メ戰備行軍ニ移ル場合ヲ顧慮シ將來前衛トナシ得ヘキ兵團ヲ一梯團トナシ行軍セシムルカ如シ
行軍路ノ景況如何ニヨリテハ豫メ工兵隊ヲ先遣シテ所要ニ應シ修理ヲ加ヘシムルヲ要ス

四 行程

爾他ノ關係之ヲ許ストキハ日々ノ行軍行程ハ略均一ナラシムルヲ要ス而シテ

行程ノ算定ニ方リテハ特ニ地形ヲ顧慮シ圖上距離ニ係數ヲ見積リ置カサルヘカラス其増率ハ地形特ニ地圖ノ精否ニ關スト雖本邦二十萬分一地圖ニ於テ山地ニアリテハ約二割ヲ増加スルヲ要ス而シテ部隊一日ノ行程ハ部隊ノ大小ト目的トニ關スルモ旅次行軍ニアリテハ六里内外ヲ標準トナスモ宿營地ノ關係等ニヨリ多少ノ取捨増減ハ免レサルモノトス

五 行軍實施

出發時刻ハ行程之ヲ許サハ要務令規定ノ如ク日出後出發シ日没前投宿シ得ル如ク規定スヘキモノナリ之ト同時ニ梯團區分ヲナシタルトキハ兩梯團ノ衝突セサル如クスルヲ要ス兩梯團宿營地區近接シアルトキハ殊ニ然リ
理論上ヨリ言ヘハ此距離ハ通常五百米乃至千米隔離シアレハ前後ノ撞著ナキ筈ナルモ梯團ノ編組如何ニヨリ速度ヲ異ニスルト進路ノ景況ニ依リ前方梯團一時行進遲滯スルモ後續梯團ハ故障ナク行進シ得ル等諸種ノ關係アルヲ以テ此等ノ點ヲモ顧慮シ出發時刻ヲ規定スルヲ要スルコトアリ
行進交叉ヲ生スル場合ニハ能ク之ヲ整理シ得ル如ク出發時刻ヲ規定シ又要ス

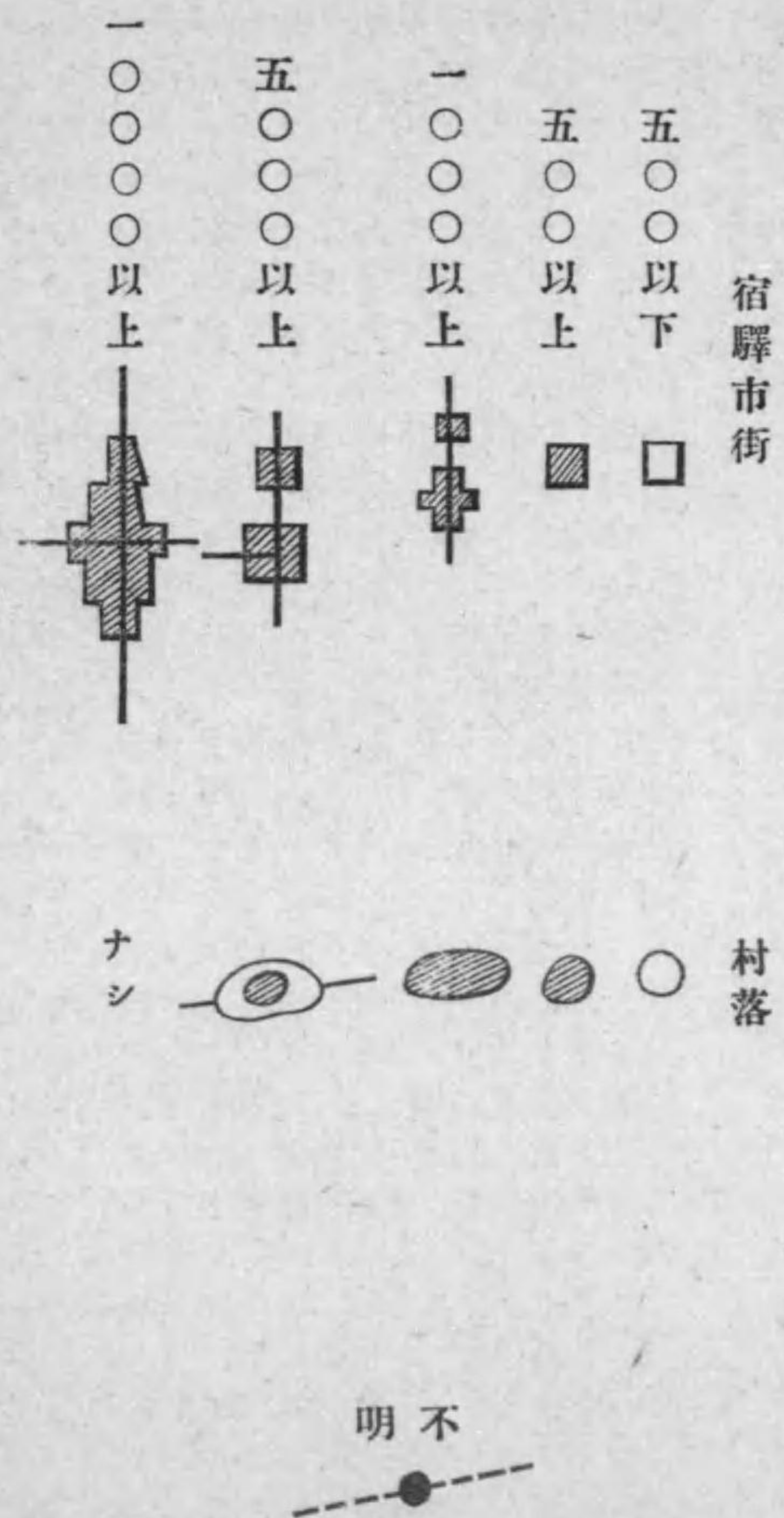
レハ途中ノ通過點ト其時刻ヲ規定スルヲ要スルコトアリ
大休止ノ位置ヲ概要規定スルハ前同様行軍間ノ撞著ヲ避クル爲ナリ若此處ナケレハ各部各個ニ實施セシメテ支障ナキモノナリ時トシテハ同一地ニ於テ大休止ヲナサシムルノ必要上出發時刻ヲ規定スルヲ要スルコトアリ
要スルニ此等ノ事項ハ行軍ヲ圓滿ナラシムル爲ノ手段ナルヲ以テ現時ノ狀況ニ鑑ミ此目的ニ合スル如ク諸事ヲ規定スルコトニ著眼スヘシ
軍隊ノ疲勞ヲ輕減スル爲先發者(乘馬者)經理部々員衛生部々員等ヲ派遣シ諸設備ヲナスノ注意ハ要務令ノ指示ヲ遵奉スヘキヤ論ヲ待タス

六 宿營

宿營地ハ特ニ給養ヲ主トスルカ故ニ之ニ便ナル如ク選定スルモノトス故ニ給養人馬數ト行軍長徑ニ應シ徒勞ナク投宿シ得ル如ク宿營地ヲ決定スルヲ要ス而シテ人口統計ノ精確ナル土地(地圖)ニヨリ計畫ヲナストキハ村落ノ人口ニ等シキ兵員ヲ投宿セシメ得ルコトヲ一般ノ標準トナセハ寛裕ナル舍營ヲナシ得ルハ一般ノ稱スル所ナリ然レトモ沿道寒村ニシテ所望ノ如クナシ能ハサルコ

トアルハ屢ニシテ之カ爲ニハ如何ナル程度ニ満足スヘキヤヲ胸算シテ標準ヲ定メサルヘカラス(敵國ニ於テ一時ノ投宿ノ如キハ案外多數宿營シ得ルモノナルコトハ事實ナリ但シ此ノ如キハ一ノ應用法ニテ常經ニハアラス)

(附言) 本邦二十萬分一地圖圖式ニヨルトキハ



宿營設備ノ爲ニハ設營隊及經理部員衛生部員等ヲ先行セシメ充分ナル準備ヲナシ得ルハ特ニ此行軍ニ在リトス

一道路ヲ前進スルニ方リ沿道寒村ナルトキハ各梯團ハ同一部落ニ投宿セサル如ク宿營地ヲ定ムヘシ即チ左圖ノ如ク宿營セシム



七 給養

携行糧秣ヲ以テ軍隊ヲ給養スル場合ニハ大行李ハ所屬隊ト同行セシメ狀況之ヲ許ストキハ大行李ヲ先行セシムルヲ有利トナスコトアリ又糧食縦列ノ一部ヲ附屬スルヲ便トスルコトモアリ

地方物資ヲ利用シ得ハ之カ利用ニ努ムルノ緊要ナルヤ勿論ナリトス

(附言) 糧食縦列ノ補充ヲ如何ニスヘキヤハ學年ノ進ムニ從ヒ詳細ナル研究ヲナスノ機多カルヘキヲ以テ茲ニ之ヲ省略ス

- 三 諸隊ハ別紙行軍計畫表ニ基キ目標地ニ向ヒ前進スヘシ
- 四 予ハ何日出發第何梯團ト共ニ某村ニ至ル

注意 要スレハ命令ノ附録トシテ行軍ニ關スル注意ヲ命スルコトアリ
(別紙(省略))

兵團前進計畫ニ關スル原則的說明

兵團前進計畫範例ハ戰術研究ノ參考續編百二十五頁軍ノ統帥ニ關スル諸命令ノ作例中ニ示シアリ尙詳細ハ學年ノ進ムニ從ヒ研究スル機會多カルヘキヲ以テ之ヲ省略シ只一二ノ要點ヲ指示シテ參考ニ供セントス
凡ソ兵團ノ作戰ハ集中戰略開進ニヨリ作戰基線ヲ定メ諸機關ノ充實ト共ニ戰略展開ヲナシ以テ前進運動ヲ企畫スルモノナリ

(附言) 集中戰略開進戰略展開ノ解ハ戰術研究ノ參考四百三十一頁兵語ノ解ヲ見ルヘシ

現今ノ如ク大兵團ヲ以テ前進運動ヲナスニハ廣大ナル地域ヲ利用スルニアラサレハ行進ノ圓滑宿營給養ノ便ヲ得難シ然レトモ過度ニ地域ヲ擴張スルトキハ不時ノ事變ニ際シ所望ノ地點ニ主力ヲ集結シ得サルニ至ル故ニ首將ハ行軍ヲ起スニ方リ豫メ運動ノ全體ヲ勘査シテ其主要ノ事項ヲ畫定シ各縱隊ノ行進ヲ整序シ以テ不時ノ時變ニ遭遇スルモ能ク之ニ應シ得ル如クシ且我選定シタル所望ノ方面ニ全兵力ヲ集結シ得ル方法ヲ確實ナラシメサルヘカラス之カ爲概ネ左ノ件ヲ顧慮スルヲ要ス

- (1) 敵ノ遠近ニ應シ行進正面ノ廣狹ヲ定ム
- (2) 我目的及利用シ得ル道路ノ數ニ從ヒ縱隊數及其編組ヲ定ム
- (3) 行軍縱隊ノ數地形及我目的ニ應シ行軍ノ全行程ヲ區分シ日々ノ行進行程ヲ定ム
- (4) 各縱隊ノ行軍地境(作戰地境)ヲ定ム
- (5) 一般ノ狀況行軍ノ目的等ニ基キ騎兵團ノ任務ヲ定ム
- (6) 各縱隊ノ給養法及兵站線ノ設置ヲ定ム

行軍正面

行軍、宿營、給養ノ容易ナル爲ニハ努メテ廣大ナルヲ要スルモ機動ニ富ミ有爲ナル敵ニ對シテハ分離配置ノ弊ニ陥リ各個擊破ノ悲運ヲ招クコトナキヲ要ス其廣狹ハ我目的及敵ノ遠近ニ關スト離普通ノ場合ニアリテハ兵團ノ基礎配置タル開進地ノ正面ヨリ漸次敵ニ近接スルニ從ヒ縮少セラレ終ニ戰鬪正面ニ均シキニ至ルモノトス

行軍縱隊ノ區分

行軍正面内ニ縱隊ヲ配布スルニモ各方面平等ナルモノニアラス其配置ハ主トシテ一般ノ形勢、我企圖即チ敵兵陣地ニ駐止スルトキハ其陣地ニ關シ敵兵前進シ來ルトキハ其行進方向ニ關係ス換言スレハ行軍縱隊ノ方向ハ一般ノ狀況地形及不時ノ事變等ヲ顧慮シテ之ヲ決定シ各縱隊兵力ノ配賦ハ狀況及目的ニ應シ彼此應援容易ナル如クナラシムルヲ要ス

行軍日程

行軍正面ノ廣狹ヲ定メ行軍路ヲ選定シ縱隊ノ數ト兵力トヲ決定シタル時ハ全

經過距離ヲ區分シ以テ行軍日程ヲ定ム行軍日程ノ決定ニハ二個ノ要求アリ行軍ノ迅速、保安ノ確實之ナリ

敵ニ遠キ間ハ保安ノ顧慮少キヲ以テ過度ノ疲勞ヲ課セサルヲ度トシテ行軍ノ迅速ヲ望ム故ニ其日程ハ徒勞ヲ減スヘキ各種ノ方法手段ヲ講シ以テ軍隊ヲ過度ニ勞セシメスシテ行進シ得ル最大限ヲ要求シ得ヘシ

敵ノ作戰界ニ入ルヤ軍隊ノ保安ヲ第一位トナシ之ヲ妨ケサル範圍ニ於テ行軍ノ迅速ヲ要望スルニ至ル從テ各縱隊ハ日々行進端末ニ集結セラルルニ至ルヘク其行程ハ前者ニ比シ減少スルヲ常トス

其他行軍日程ハ道路ノ景況、天候、季節、軍隊忍耐力ノ如何ニ關係スルヤ勿論ナリトス

兵團ハ敵ニ接近スルニ從ヒ常ニ要線ヲ目標トシテ前進スルカ故ニ其景況如何ニヨリ各縱隊ハ決シテ同一ノ行程ヲ行進セシメ得ヘキモノニアラス

行軍地境(作戰地境)

各行軍縱隊ニハ常ニ一ノ作戰地境ヲ分與シ道路ノ利用、物資ノ徵收ニ便シ隣接

兵團トノ間ニ生スル諸紛議ヲ根絶セシメ以テ宿營給養ニ關スル計畫ヲ容易ナ
ラシムヘシ而シテ之ヲ指示スルニハ天然ノ地區ニ依ルカ已ヲ得サレハ村落ヲ
縱方向ニ連綴シタル線ヲ以テ示ス後ノ場合ニ於テハ特ニ線上ノ村落ハ何レニ
含ムヤヲ明示スヘシ
行軍地境ハ地勢上全ク之ヲ指示スル要ナキトキハ元ヨリ之ヲ示ササルモ可ナ
リ

大兵團ニ於ケル前進計畫ノ一例

第何軍作戰計畫

一 作戰目標

軍ノ作戰目標ヲ、トナシ先、及、ノ線ニ向ヒ前進ス

二 前進開始前ノ位置

軍ノ諸團隊ハ現在ノ位置ヨリ運動ヲ起スモノトス

三 縦隊區分及取ルヘキ道路

甲 縦隊區分

某師團、
野砲兵某旅團步兵某隊、
某師團、
某師團、
某師團、
騎兵團、

乙 取ルヘキ道路

附圖ノ如シ(附圖ニハ進路及作戰地境ヲ示ス)

四 豫定兵站線

一 東路、
二 西路、

五 前進ノ實施

第一日

軍ハ、ノ線ニ前進ス

一 某師團ハ其步兵先頭ヲ以テ、ニ他ハ、ノ線以北ニ

但シ一部隊ヲ以テ、、、ヲ占領シ軍ノ右側ヲ掩護セシム
 二 野砲兵某旅團ハ其歩兵先頭ヲ以テ、、、ニ他ハ、、、ノ間ニ
 三 某師團ハ其歩兵先頭ヲ以テ、、、ニ他ハ、、、ノ線ニ
 四 某師團ハ其歩兵先頭ヲ以テ、、、ニ他ハ、、、ノ間ニ
 五 騎兵旅團ハ近ク遼河右岸路軍ノ齊頭面ニ前進ス
 六 軍司令部ハ、、、ニ在リ

第二日

- 一 某師團、、、
- 二 野砲兵旅團、、、
- 三 某師團、、、
- 四 某師團、、、
- 五 騎兵旅團、、、
- 六 軍司令部、、、

作戰第三日以後ノ前進ハ敵情ニ依ルモ成ルヘク速ニ作戰目標ニ到達スル如ク

指導ス

前配作戰計畫ニ基キ給養及兵站設置計畫ヲ策定スルコト左ノ如シ
 作戰計畫ニ關スル給養及兵站設置計畫

- 一 軍給養ノ起點
、、、、、
 - 二 豫定兵站線
東路、、、
西路、、、
 - 三 各兵站線路ニ於テ給養セララルヘキ軍隊
東路 某師團、、、
西路 某師團、、、
 - 四 本項以下省略要スルニ携帶糧秣及集積糧秣ノ細部ヲ記述シアリ
- 行軍命令ノ一例
 第何軍命令、、、、

- 一 諸情報ヲ綜合スレハ敵ハ、、、
- 二 軍ハ明何日、、、ノ線ニ前進セントス
- 三 某師團ハ午前七時步兵先頭ヲ以テ、、、線ヲ發シ、、、線(此線ヲ含ム)以東ノ地區ヲ、、、ノ線ニ前進シ特ニ一部ヲ以テ、、、附近ヲ占領シ軍ノ右側ヲ掩護セシムヘシ
- 四 何砲兵旅團ハ午前九時先頭ヲ以テ、、、ヲ出發シ、、、ノ線(此線ヲ含マス)以西、、、(此線ヲ含ム)以東ノ地區ヨリ前進シ、、、ニ到ルヘシ
- 五 某師團ハ午前七時步兵先頭ヲ以テ太子河ノ線ヲ發シ、、、線(此線ヲ含マス)以西、、、ノ線(此線ヲ含ム)以東ノ地區ヲ、、、ノ線ニ向ヒ前進スヘシ
- 六 某師團ハ午前八時步兵先頭ヲ以テ、、、ノ線ヲ發シ、、、ノ線(此線ヲ含マス)以西、、、ノ地區ヲ、、、ノ線ニ向ヒ前進スヘシ
但シ諸隊ハ某々師團ノ行進ヲ妨害セサル如ク適時其前進地區内ニ入ラシムヘシ

ムヘシ

- 七 騎兵團ハ午前七時宿營地ヲ發シ近ク遼河右岸ヲ前進シ、、、方向ヲ搜索シ密ニ某師團ト連絡スヘシ
- 八 各師團(野砲兵旅團)ハ所命ノ地點ニ到着後敵情變化ナケレハ指定ノ地區内ニ於テ宿營ニ就クコトヲ得
- 九 予ハ、、、ニ在リ

騎兵旅團徒歩防禦ノ研究

騎兵第一旅團方面ノ狀況

九四

騎兵第一旅團ハ五月三日午前九時乃至十時ノ間三方ヶ原附近ニ於テ略同等ノ敵騎兵團ニ對シ有利ナル戰鬪ヲ交ヘタル後騎兵第二聯隊第四中隊ヲ以テ奥山方向ニ主力ヲ以テ三ヶ日方向ニ追撃シ途中敵ノ抵抗ヲ排除シ同日夕奥山及三ヶ日附近ニ達シ各同地附近ニ宿營ス

本夜各部隊共ニ地方物資ヲ利用シ得ル見込ニテ旅團ノ大行李ハ天龍川左岸池田ヲ先頭トシテ停止セシメアリ

騎兵第一旅團輜重隊(騎兵旅團彈藥縱列一、糧食縱列二)ハ大行李ト合シテ行動セシメアリ但シ彈藥縱列ノ一部ハ本夜八時頃ニ

ハ氣賀附近ニ到著シ同地ニ於テ彈藥ノ補給ヲ爲シ得ル豫定ナリ

午後八時迄ニ騎兵第一旅團長ノ知り得タル所左ノ如シ

- (1) 約百騎ノ敵騎兵ハ神座峠附近ヲ占領シ我騎兵第二聯隊第四中隊ノ主力ハ奥山附近ニアリテ之ト相對ス
- (2) 敵騎兵團ノ主力ハ平山東南方山地出口附近ヲ占領シアリ
- (3) 敵騎約百ハ本阪附近ヲ占領シアリ
- (4) 新來ノ敵騎約百ハ本夕大知波附近ニ到著シ同地附近ニ停止シアリ而シテ大崎、横山、猪鼻湖及濱名湖ノ境界附近ニハ砲兵ハ通過シ得サルモ騎兵ハ二伍ニテ通過シ得ル道路アリ

- (5) 第一師團主力ハ三日夕江尻附近ニ其騎兵中隊ノ主力ハ同日夕藤枝附近ニ達スルノ豫定ナリ
 - (6) A支隊及軍主力ハ豫定ノ如ク行進ヲ繼續中ナリ
 - (7) 旅團ノ通信設備ハ旅團長所望ノ如ク設置セラレタリ而シテ目下ノ狀況ニ於テ天龍川以東ハ國用線ヲ利用シ得ル状態ナリ
 - (8) 此日午後軍飛行機ラシキモノ數機濱名湖ヲ超越シテ西方ニ飛揚シ夕刻東方ニ歸還スルヲ目撃セリ
- (注意) 遠距離搜索ノ斥候ヲ派遣シアルコト故ノ如シ

第十一問題 (席上筆記)

三日午后八時ニ於ケル騎兵第一旅團長ノ決心 (理由、處置ヲ要セス)

第十一問題原案

旅團ハ明四日前面ノ敵ヲ徒歩攻撃セントス

狀況

午後八時三十分騎兵第一旅團長ハ軍飛行機隊長ヨリ午後七時沼津發見附通信所經由左ノ電報通報ニ接ス
 歩兵七八千、砲十數門ヲ有スル敵ノ一縱隊ハ本三日午後三時頃其先頭御油ヲ通過シ東海道ヲ前進セリ
 諸斥候ノ報告ヲ綜合スルニ本阪附近ノ敵騎兵ハ敵歩兵部隊ニヨリ交代セラレシヤノ疑アリ

第十二問題 (宿題)

午後八時三十分ニ於ケル騎兵第一旅團長ノ決心

第十二問題答解ニ對スル總評

一 著眼

本問題ヲ答解スルニ方リ騎兵第一旅團ハ爾今守勢ニ立ツノ己ムナキ所以ニ著眼シタルハ全員一致スル所ニシテ予ノ満足スル所ナリ而シテ本問題ノ答解ヲ其性質ニ就キ類別スルニ二種アリ(甲)ハ騎兵旅團爾後ノ作戰方針トモ稱スヘキ稍遠キ將來ニ亘ル行動ヲ豫察シテ之ヲ以テ作業上ノ主眼點トナシタルモノ(乙)ハ騎兵旅團ハ直後何ヲ爲スヘキカヲ主眼トシテ答解シタルモノナリ(甲)ハ旅團長ノ腹案トシテハ甚タ可ナリ否是非共考案シ置カサルヘカラサル事項ナリ然レトモ午後八時三十分ノ決心トシテハ其腹案中直後何事ヲナスヘキヤヲ考察スルモノナリ若諸官ニシテ午後八時三十分ノ決心ニ基キ命令ヲ起案ストセヨ直ニ其是非ヲ判別シ得ヘシ

(附言) 稍遠キ將來ニ亘ル狀況判斷ト直後ノ部署ヲ定ムル爲ノ決心トヲ混同

セサルヲ要ス此點ニ關シテハ前教官ヨリ教示シアル筈ナレハ其詳細ハ省略スルモ特ニ一言ス

二 位置ノ選定

旅團ハ敵ノ前進ヲ遲滯セシムル爲徒歩防禦ノ目的ヲ以テ適當ナル位置ヲ選定セントスルノ著眼モ亦全員一致スル所ニシテ予ノ満足スル所ナリ

旅團位置ノ選定ニ關スル考案ニ三種アリ(甲)各一部ヲ以テ奥山及大崎附近、主力ヲ以テ現在地附近(三ヶ日及都筑附近ヲ總括シテ述フ)(乙)各一部ヲ以テ奥山、半藏坊、佐久米附近、主力ヲ以テ引佐峠ヲ占領スルモノ(引佐峠及佐久米ニ主力ヲ以テスルモノヲ含ム)(丙)各一部ヲ以テ奥山、三ヶ日、大崎方面ニ出シ敵ト觸接セシメ主力ヲ以テ中川附近、都田川南方高地ヲ占領スルモノ(主力ヲ金指町(三和)附近ニ位置セシメントスルモノヲ含ム)之ナリ

(甲)ハ遠ク西方ニ於テ敵ヲ拒止セントスル主旨ニ出ツルモノニシテ主旨ニ於テハ一理アリト雖近ク前面ニ敵歩兵ノ現出シタル目下ノ狀況ニ於テ明拂曉迄此地ニ位置スルハ危險ナルノミナラス騎兵ノ爲ニハ運動困難ナル隘路ナルモ歩

兵ハ比較的容易ニ動作シ得ル爲動作上ノ不利ヲ招クモノハ我旅團ナリ且奥山大知波方面ノ敵ノ爲ニ背後ニ迫ラレル虞アリ敵兵旅團ノ前面ヲ其歩兵ニ委シ主力ヲ以テ奥山方面ニ行動スル場合殊ニ然リ故ニ予ハ此案ニハ同意ヲ表セス若此案ヲ實行セント欲セハ以上ノ場合ヲ顧慮シ爾後ノ決心ニ基キ兵力ヲ區分セントスル持久戰歩兵操典第二部第九十二ノ原則ヲ參酌シ奥山附近ニ一中隊機關銃一小隊、三ヶ日附近ニ二中隊、機關銃二小隊、騎砲兵中隊、大崎附近ニ一中隊(尙其以下ニテモ可ナリ)機關銃一小隊ヲ配置シテ當面ノ敵ヲ拒止セシメ主力ハ三ヶ日東端附近ニ控置シ敵兵若旅團ノ守勢ニ立チシニ乘シ歩兵ト分離シテ其騎兵ノミ猛進スルカ如キ場合ニハ之ニ打撃ヲ加ヘ若有力ナル歩兵ト協力シテ前進スル如キ場合ニハ(適時中距離以上)戰鬪ヲ離脱シテ爾後ノ決心ヲ實行スル如ク準備シアルヲ要ス而シテ各部ハ遠ク離隔シアル爲特ニ通信連絡ノ方法ヲ講シ機ニ遅ルルコトナク協同動作ヲナシ得セシメサルヘカラス

(乙)ハ其主旨ニ於テハ略(甲)ト同様ナルヘク且敵歩兵ニ對スル明拂曉ノ危險ナキト大知波方面ノ敵騎ヨリ左側背ヲ脅威セララルルノ害ナキノ利アルモ奥山方面

ニ對スル害ハ(甲)ト同様ナリ故ニ此案ニモ予ハ同意セス此案ヲ實行センニハ(甲)案ト同様ノ著眼ニヨリ大部ヲ控置シテ爾後ノ企圖ヲ實施スルノ準備ニアルヲ要ス

(丙)ハ前二者ニ比スレハ東方ニ後退スルノ害アリト雖奥山、三ヶ日、大知波ノ三方面ヨリスル主道ヲ旅團ノ主力ヲ以テ拒止シ得ルノミナラス地形モ相等ニ堅固ニシテ且當初敵ノ歩兵ニ對シテ比較的離隔シアルノ利アリ若夫レ敵ニシテ澁川、石神方面ヨリ天龍川上流ヲ經テ濱松平地ニ行動スルモノアリトスルモ該方面ハ地形及行程ノ關係上恐ラクハ敵騎兵ノミナルヘキヲ以テ旅團ハ之ニ對シ有利ニ動作スルノ公算ナキニアラサルヲ以テ目下ノ狀況上大ナル危險ナシ故ニ予モ亦此案ニ同意スルモノナリ

三 退却時機

現在地ニ位置スル案ハ別トシテ其他ハ皆退却ヲ要スルモノナリ而シテ此退却時機ヲ決定スルニ本夜暗ヲ利用シタルモノト明拂曉換言スレハ晝間ヲ選定スルモノトアリ我行動ヲ敵ニ秘スル爲ニモ亦敵歩兵ヨリ危險ヲ蒙ラサル點ヨリ

見ルモ將亦陣地占領ノ爲ノ準備ヨリ見ルモ今夜暗ヲ利用シテ退却スルヲ有利トナス然レトモ即刻ヨリ直ニ退却セントスルハ軍隊ノ實情ヲ觀察セサル考案タルノ誹ヲ免レス此種ノ考案者ハ旅團本日ノ行動ト目下軍隊ハ何事ヲナシアルヤヲ想起セヨ(但シ此事タル單ニ軍隊愛情ノ意ニアラスシテ戰術上必要アル時ハ軍隊疲勞ノ如何ニ關セス直ニ實施スルハ勿論ナリトス)

四 側背ノ顧慮

騎兵ニ於テ特ニ側背ノ顧慮ノ緊要ナルハ諸官ノ熟知スル所ナリ然ルニ新來ノ騎兵大知波ニアルコトヲ知リナカラ之ニ對スル警備ヲ缺キアルカ如キハ大ナル缺點ナリ又狀況上東海道ハ破壊シテ全ク使用シ得サル筈ナルニ之ニ對シテ警戒部署ヲナサントスル如キハ研究上ノ疎忽ト評セサルヲ得ス

作業ノ作爲ニ就テ

- 一 決心文ノ主體ヲ如何ニ現ハスヘキヤハ特ニ熟慮ヲ要ス然ルニ諸官ハ此點ニ注意ノ薄キヲ覺ユ此決心文ハ直ニ命令第二項トナシ得ルモノナラサルヘカラス

(附言) 作業上理由處置ヲ附記セサル場合ニ於テ特ニ作業上ノ主旨ヲ明瞭ナラシムル爲學習上處置ノ一部ヲ了解シ得ル如ク又自己ノ作戰意志ヲ適確ニ發表スル爲作爲セラレタル決心文ニ就テハ已ニ説明セラレタル筈ナリ混合誤解セサルヲ要ス

- 二 決心文ト其理由ノ相應セサルモノ、決心文ノ依テ生シタル理由ヲ盡ササルモノ及決心文ト處置ト一致セサル作業多キハ最大ノ缺點ナリ特ニ注意ヲ要ス思フニ此缺點ハ事物ノ發達順序ニ基キ適當ナル推理ノ形式ヲ逐ハス臆斷的ニ戰術上ノ雜感ヲ思ヒ出シ順序ニ列舉スルノ致ス所ト評セサルヲ得ス今陣地ヲ占領スル爲今夜暗ヲ利用シ目的地ニ退却スル案ニ就テ一例ヲ示サンニ次ノ如クナラサルヘカラス

決心

何地ヲ占領スル目的ヲ以テ今夜暗ヲ利用シ該地ニ退却セントス

理由

- 一 旅團ハ今ヤ守勢ニ立タサルヘカラサル理由

- 二 旅團位置ノ選定ハ如何ナル主旨ニ基クテ適當トスルヤノ理由
- 三 地形觀察上前述ノ主旨ニ合スル地點ハ何地ナル理由
- 四 該地ニ到ル爲ニハ如何ニ退却スヘキヤノ理由
處置

夜暗ヲ利用シ該地ニ退却スル爲ノ諸處置

- 三 處置ノ記述ハ命令起案ノ草稿トナシ得ル如ク其内容、順序、方法ヲ吟味記述ス
ヘキコトハ屢々教示シタリ爾後特ニ注意ヲ要ス

記述ニ就テ

記述ハ最モ能ク人ニ了解セラルル如ク順序ヲ考定スルコト必要ナリ
記述事項ノ要否輕重ヲ能ク判別シテ自己ノ論旨ニ破綻ナキ如クスヘキナリ

第十二問題答解上ノ着眼

- 一 旅團當面ノ敵情判斷 旅團攻勢ノ可否ト敵騎兵團翌日ノ行動ヲ判斷スルニ在リ
旅團前面ノ敵騎兵團ハ新來ノ約一中隊ノ敵騎ノ増加アルノミナラス其兵力ハ

未詳ナルモ歩兵ノ一部ニヨリテ増援セラレアリ而シテ近ク其後方豊橋附近ニハ歩兵七八千砲十數門ヲ有スル敵ノ一兵團到着シアリ故ニ旅團ハ明日前面ノ敵ニ對シ攻撃ヲ決行スルモ勝利ノ見込ナシ
敵騎兵團一度ハ我ニ敗レタリト雖今ヤ新來ノ敵騎殊ニ歩兵ノ一部ニ依リテ増援セラレタルヲ以テ明四日早朝ヨリ我旅團ニ對シ攻勢ヲ企圖スルナラン故ニ旅團ハ己ムヲ得ス一時守勢ニ立タサルヘカラス此際他方面ヨリ迂回シテ豊橋平地ニ進出セントスルモ地形險峻ナル山地ニシテ我主力ノ行動ヲ許ササルノミナラス旅團ノ背後ハ全ク遮斷セラルルニ至ルノ虞アリテ目下之ヲ實行スルヲ得ス

二 第一師團方面狀況ノ考察

第一師團ハ今三日夕其先頭ヲ以テ入江附近ニ達シアルカ如シ故ニ五日夕ニアラサレハ掛川若ハ其附近ニ進出シ得ス換言スレハ該師團ノ目的地ニ進出スルニハ尙二日間ヲ要ス此點ヨリ見ルトキハ旅團ハ成シ得ル限り永ク西方ニ地步ヲ領有シテ敵ノ前通ヲ遲滯セシメ該師團ノ進出ヲ容易ナラシムル義務ヲ有ス

第一師團騎兵中隊ノ主力ハ今日夕藤枝附近ニアルヲ以テ明四日夕ハ見附附近天龍川ノ線附近ニ達スルヲ得ヘシ此點ヨリ見ルトキハ旅團ハ明四日ハ全力ヲ以テ當面ノ敵ニ對セサルヘカラス

三 戰鬪手段ノ決定

敵兵縱令一部ノ増加ヲ得タリトスルモ之カ單ニ敵騎兵ノミナル時ハ旅團ハ之ニ對シテ攻勢的行動換言スレハ乘馬戰ヲ以テ對シ得ヘシト雖敵騎兵ハ恐ラク其歩兵ト提携シテ行動スヘキカ故ニ旅團ハ明日徒步戰ヲ以テ之ニ對スルコトヲ豫期セサルヘラス

四 位置選定ノ爲地形觀察

旅團ノ位置ハ成ルヘク永ク西方ニ於テ而モ獨力ヲ以テ歩騎兵ニヨリ増加セラレタル敵騎兵團ニ對スルヲ目的トシテ選定セサルヘカラス之カ爲ニハ地形比較的的堅固ニシテ敵ノ迂回ヲ困難ナラシメ而モ敵歩兵ト騎兵トヲ分離シテ成ルヘク騎兵ノミニ對シ得且成ルヘク西方ニアル地點ナルヲ希望ス成シ得ヘクンハ我兵種兵力ニ依リ敵ヲ欺騙シ得ハ一層可ナリ

右ノ著眼ヲ以テ旅團ノ占領シ得ヘキ地點三アリ

(甲) 三ヶ日東方高地附近

此地附近ハ平山及本阪方面ニ對シテハ地形堅固ナリト雖敵歩兵ニ近キト奥山及大知波兩敵騎ヨリ兩側背ニ迫ラレルノ虞アリテ旅團ノ爲頗ル危險ナリ

(乙) 引佐峠附近

此地點附近ハ敵ノ歩兵ニ遠サカリ且姫街道以南ヲ制シ得ルモ奥山方面ノ敵騎ヨリ其背後ヲ脅威セラルルノ虞アルハ前者ト同一ナリ

(丙) 中川附近

此地附近ハ奥山以南ノ諸道路ヲ制シ得ルノミナラス地形良好ナル射界ヲ有シ敵歩兵ニモ遠サカリ敵騎ヲ拒止スルニ最モ適當ナリ而シテ動モスレハ敵騎ノ爲ニ遠ク天龍川上流ニ迂回セラルル虞ナキニアラサルモ果シテ如斯ナルトキハ敵騎ハ好ンテ自ラ其歩兵ト分離スルモノニシテ旅團ハ此際ハ寧ロ攻勢ヲ探ルノ好機ヲ有スヘク從テ敵ノ此動作ニ對シテハ大ナル願慮ヲ拂フヲ要セス且此地ハ地形及位置ノ關係上我兵種兵力ニ對シ敵ヲ欺キ得ル公算ハ比較的大ナ

故ニ旅團明日ノ占ムヘキ位置ハ中川村附近ヲ適當トス

五 退却ノ時機

旅團ハ徒歩戦ニ依リ中川附近ヲ占領セントスルカ故ニ相當ノ準備ヲ要スルト
尙退却ヲ敵ニ秘スルヲ要スル關係上及明拂曉時ニ於ケル敵歩兵ニ對スル危險
ヲ顧慮シ今夜暗ヲ利用シテ退却シ明拂曉迄ニ目的地附近ニ到着シアルヲ
要ス此際一部ノ部隊ヲ殘置シ敵ト觸接ヲ保持セシメ且旅團主力ノ退却ヲ掩護
シ成シ得レハ各當面ノ敵ノ前進ヲ遲滯セシムルハ勿論ナリトス而シテ大知波
附近ニ現出シタル新敵ニ對シ即刻ヨリ一部隊ヲ大崎附近ニ派遣シテ警戒セシ
ムルハ勿論ナリトス

第十二問題原案

決心

旅團ハ中川村附近ニ於テ徒歩防禦ヲナス目的ヲ以テ今夜暗ヲ利用シ該地附

近ニ退却セントス

理由

一 旅團前面ノ騎兵團ハ新來ノ歩騎兵ノ一部ニ依リテ増加セラレ優勢トナリシ
ヲ以テ明四日我ニ向ヒ攻勢ニ轉スルナラン而シテ今夕豊橋附近ニ到着シアル
ナラント判斷セラルル諸兵連合ノ敵縱隊モ亦恐ラクハ其後方ニ續行スルモノ
ト覺悟スルヲ要ス故ニ旅團ハ明日前面ノ敵ヲ攻撃スルモ成效ノ見込ナク又主
力ヲ以テ他方面ニ轉進セント欲スルモ地形及背後ノ顧慮ハ之ヲ許サス故ニ旅
團ハ止ムヲ得ス一時守勢ニ立タサルヘカラス
我第一師團ハ五日夜ニアラサレハ掛川若ハ其附近ニ進出シ得サルヲ以テ旅團
ハ成シ得ル限リ西方ニ於テ而モ成シ得ル限リ敵ノ前進ヲ遲滯セシメ以テ該師
團ノ進出ヲ容易ナラシムルヲ要ス而シテ該師團騎兵中隊モ明四日夕漸ク天龍
川ノ線附近ニ到着スル距離ニ在ルヲ以テ旅團ハ明四日獨力ヲ以テ當面ノ優勢
ナル歩騎兵ニ對セサルヘカラス故ニ地形ヲ利用シ徒歩防禦ヲ以テ敵ノ前進ヲ

- 遲滞セシムルノ策ニ出テサルヘカラス
- 二 旅團ノ目的ヲ達成センカ爲ニハ中川附近ニ陣地ヲ選定スルヲ要ス之該地附近ハ敵ノ隘路進出ヲ扼止シ得且陣地ノ地形兩翼堅固ニシテ相當ノ射界ヲ有シ敵ノ迂回ヲ避ケ一時能ク優勢ノ敵ヲ拒止シ得レハナリ敵ニシテ本陣地ニ對スル力攻ヲ避ケ遠ク石神方面天龍川上流ニ行動スルトキハ旅團ハ勢此陣地ヲ撤退スルノ已ムナキニ至ルト雖如斯シテ敵騎兵團其歩兵ト分離シテ行動スルニ至ラハ旅團ハ更ニ敵騎兵團ニ對シ攻勢ノ機ヲ發見シ得ルノ公算ナキニアラサルヲ以テ強テ慮フルニ足ラス
- 三 旅團ハ明四日拂曉迄ニ陣地占領ヲ完成スルト同時ニ我退却運動ヲ敵ニ秘スル必要上今三日夜暗ヲ利用シ退却スルヲ要ス之カ爲各一部ヲ現在地ニ殘置シ敵ト觸接ヲ保持シ我退却運動ヲ秘匿セシムルト同時ニ成シ得ル限り敵ノ前進ヲ遲滞セシムルヲ要ス而シテ大知波方面ノ新敵ニ對シテハ即刻一部隊ヲ大崎附近ニ派遣スル必要アルヤ勿論ナリトス

處置

- 一 先進シタル彈藥縱列ハ直ニ出發姫街道ヲ退却シ其後尾中川大谷附近ニ達セハ停止シアラシム(退却後彈藥補充ノ豫定)
- 二 爾餘ノ大行李輜重ハ現在地ニ於テ明四日午前四時三十分迄ニ出發準備ヲナシアラシム
- 三 騎兵第二聯隊第四中隊ハ右側衛トナリ現在地附近ニ位置シ當面ノ敵ニ對シ旅團ノ退却ヲ掩護セシム但シ敵ノ壓迫ヲ受クルニ至レハ井伊谷中川瀬戸ヲ經テ中川大谷附近ニ退却セシム
- 四 騎兵第一聯隊第四中隊(一小隊欠機關銃一小隊ハ後衛トナリ現在地附近ニ位置シ旅團ノ退却ヲ掩護セシム但シ敵ノ壓迫ヲ受クルニ至レハ姫街道ヲ中川大谷附近ニ退却セシム
- 五 騎兵第一聯隊第四中隊ノ一小隊ハ左側衛トナリ即刻出發大崎附近ヲ占領シ旅團ノ退却ヲ掩護セシム但シ敵ノ壓迫ヲ受クルニ至レハ都筑佐久米道ヲ中川

大谷ニ退却セシム特ニ後衛ト連絡シ且直接之ト連繫シ得ルニ至レハ中隊長ノ
令下ニ入ル

六 旅團主力ハ四日午前一時迄ニ三ヶ日東方畑地ニ集合シ騎砲兵、機關銃、騎兵第
二聯隊(第四中隊欠)、騎兵第一聯隊(第四中隊欠)ノ順序ヲ以テ姫街道ヲ中川刑部東
南方約千米畑地附近ニ向ヒ退却セシム(常歩)

七 決心ヲ軍司令官ニ報告シ且第一師團長、A支隊長ニ通報ス、特ニ第一師團騎兵
中隊ニ別報ス
(作業上ノ注意) 遠距離斥候ノ派遣故ノ如シ

狀況

騎兵第一旅團主力ハ四日午前四時三十分頃概ネ豫定ノ如ク退
却シ得タリ騎兵第二聯隊第四中隊ハ一部ヲ東黒田ニ、主力ヲ奥
山附近ニ、騎兵第一聯隊第四中隊(一小隊欠)ハ三ヶ日東方高地ニ、
同中隊ノ一小隊ハ大崎附近ニ在リテ各、當面ノ敵ト觸接ヲ保持

シアリ

各方面ノ敵ハ今朝三時頃ヨリ漸次活動シ始メタルモ午前四時
迄ハ未タ前進ヲ開始セサルカ如シ

諸隊中所要ノモノハ既ニ彈藥ノ補充ヲ終リ該彈藥縱列ハ池田
附近主部ノ位置ニ後退セシメタリ

旅團長ハ所要ノ人員ヲ隨ヘ拂曉ト共ニ陣地ノ偵察中ナリ

第十三問題(宿題)

騎兵旅團徒歩防禦ノ目的ヲ以テ中川村附近地形判斷

(注意)

- 一 高地斜面ノ森林ハ射撃ヲ妨害セス又宮口西方約千五百米▷▽近傍道
路ノ集合點、中川大谷、西大山ヲ連ヌル線ヨリ西北都田川左岸地區ノ森林
ハ辛ウシテ騎兵部隊騎砲兵機關銃共ノ速步行進ヲ許ス

- 二 此地附近ノ村落ハ圍壁ヲ有セス其高サハ概ネ十米内外ナリ
- 三 堤防ハ一米内外ノ高サヲ有ス
- 四 金指町南方ヨリ三和五日市ニ亘ル無名小流中川祝田ヨリ氣賀油田附近ニ亘ル無名小流ハ共ニ目下其跟跡ヲ認メス
- 五 井伊谷奥山附近ヨリ氣賀附近ヲ經テ都田川ニ注ク小流ハ徒歩兵乘馬兵ノ爲所々徒涉場アルカ如シ

第十三問題答解上ノ著眼

一 旅團防禦ノ目的
 旅團防禦ノ目的ハ成ルヘク永ク敵ノ前進ヲ遲滯セシメ後續兵團ノ進出ヲ容易ナラシメントスルニ在リ而シテ敵ハ步騎兵相合シタル優勢ノ兵力ヲ以テ旅團ヲ攻撃スヘキカ故ニ之ニ對スル中川村附近ニ於ケル防禦戰團ノ目的ハ持久戰ニシテ狀況特別ノ變態ヲ呈セサル限リ攻勢移轉ハ先ツ見込ナシ故ニ本狀況ニ於ケル旅團ノ任務ハ持久戰ヲ以テ達成スルヲ要ス

二 敵ノ進出方面

姫街道ハ作戰主道ニシテ道路良好且最捷路ナルヲ以テ敵ハ此道路ヲ開放スルコトナキハ勿論ナリト雖都田川以西該道路沿道ノ地形ハ騎兵大部隊ノ行動ニハ不便ナル長隘路ナリ之ニ反シ奥山―井伊谷道ハ距離稍大ナリト雖道路兩側地區ハ前者ニ比スレハ寧ロ騎兵部隊ノ行動ニハ便ナルカ如シ故ニ予ハ敵騎兵ノ主力ハ奥山方面ニ行動スルモノト判斷ス多少ノ迂路ハ騎兵ノ爲ニハ大ナル苦痛トセサルニ於テ殊ニ然リ詳言スレハ予ハ次ノ如ク判斷セント欲ス
 敵ハ一部騎兵ノ一部及支援歩兵隊ヲ以テ姫街道ヨリ騎兵ノ主力ヲ以テ奥山―井伊谷道方面ヨリ進出スルナラン

又敵ノ後方縱隊ハ恐ラク姫街道ヲ前進スルモノト判斷ス而シテ敵縱隊近ク後方ニ續行シ得ル状態ニ於テハ敵騎兵團ハ其支援歩兵ト共ニ奥山方向ニ來ルコトアルヲ豫期ス

三 陣地線ノ決定

陣地線トシテ採用シ得ヘキモノニアリ(甲)井伊谷上野附近ヨリ三和五日市北方

高地ヲ經テ氣賀油田附近ニ亘ル線(乙)中川瀬戸附近ヨリ氣賀油田ニ亘ル都田川左岸高地線之ナリ

(甲)ハ陣地前ニ障碍物ナク敵ノ近接比較的ニ便ニシテ且敵一部ノ進出ヲ豫期スヘキ伊平谷地ニ對シ陣地ノ右側ヲ暴露スルノ危険アルト敵ノ行動如何ニヨリテハ三和五日市北方高地附近我陣地ノ中央部ヲ突破セラレ右翼金指町方面ニアル我部隊ノ退路ヲ脅威セララル虞ナシトセス又氣賀町東側小流ノ徒涉ヲ許ス關係上姫街道方面ヨリ來ルナラント豫想スル敵歩兵部隊モ亦直接協力シ得ルニ於テ殊ニ危険ナリ故ニ此陣地線ハ本陣地トシテハ適當ナラス然レトモ金指北方高地ハ伊平及奥山ニ通スル谷地ヲ制シ得ヘキ位置ニシテ敵騎兵ノ前進ヲ遲滯セシムル點ニ於テハ亦相當ノ價值アリ故ニ予ハ此高地附近ヲ前進陣地トシテ採用スルヲ適當ト認ム

(乙)ハ右翼ヲ中川瀬戸東北方高地ニ托シ前面ニハ橋梁ノ外通過シ得サル都田川ヲ有シ且射界概ネ廣濶ナリ又氣賀油田附近ト氣賀町東端附近トノ間ハ射界小ニシテ有力ナル歩兵部隊ノ現出ヲ見ルニ於テハ或ハ火力ヲ以テ輸贏ヲ爭フハ

我不利トナル恐ナキニアラサルモ西方氣賀霞本附近迄約二千米ノ大開濶地アリテ晝間敵ノ前進ヲ遲滯セシムルニハ恰好ノ位置ニ在リ故ニ都田川左岸高地線ハ旅團ノ本陣地ニ適ス若夫レ前述(甲)ノ線ト相併用シテ戰鬪指導宜シキヲ得ハ一層目的達成ヲ容易ナラシムルナラン

四 敵ノ行動及主攻撃方面ノ判斷

第一ノ研究ハ敵騎兵團ハ我陣地ヲ攻撃スヘキヤ否ヤノ研究ニ在リ敵騎兵團天龍川上流ニ迂回セント欲セハ山地通過ニ方リ各所ニ於テ我小部隊ノ抵抗ニ際會スルヲ以テ成シ得ヘクハ其歩兵ヲ以テ進路ヲ開カサルヘカラス而モ砲兵ノ行動ハ道路ノ關係上困難ナルヲ以テ其進出ハ容易ノ業ニアラス故ニ敵騎兵ハ此際支援歩兵ト協力シ近ク我前面ニ向テ攻撃シ來ルモノト判斷ス

我陣地ヲ攻撃スルニ際シテモ後方縱隊ノ關係ニヨリ二様アルヘシ先ツ自ラ行進路ヲ開クヲ要スル場合ニハ恐ラクハ姫街道ノ一部ト奥山方面ノ主部ト協力シテ氣賀油田附近ヲ奪取シテ進路ヲ開クヘク若此方面ヲ後方縱隊ニ依頼シ得ルトキハ中川祝田方面ニ於テ騎兵ノ進路ヲ開カントスルナルヘク陣地前ノ地

形ノ價值ニ至リテハ双方共相彷彿タルニ於テ殊ニ然リ故ニ予ハ敵騎自ラ速ニ進路ヲ開カンニハ或ハ油田ニ向ヒ攻撃シ來ルナラント判斷スルモノナリ之敵騎ニシテ後方縱隊ノ進出ヲ待ツトキハ該縱隊本日豊橋ヲ出發シテ前進スルナランニハ恐ラク本日夕刻氣賀附近ニ達スルニ過キサレハナリ敵騎ニシテ若其支援歩兵ト協力シテ力攻スル場合ニハ都田川ノ障礙ヲ利用シテ比較的永ク之ヲ拒止シ得ヘシ但シ我旅團トシテハ右各種ノ場合ヲ考察シ置クノ緊要ナルハ勿論ナリトス

換言スレハ敵ノ行動ニ關シ昨三日夕ニ於ケル敵ノ位置カ後方縱隊豊橋支援歩兵ト騎兵ノ一部本阪騎兵團ノ主力平山附近ニ在ル關係ヨリ左ノ如ク判斷セント欲スルモノナリ

敵兵今拂曉我殘置諸部隊ヲ攻撃シ次テ旅團ノ撤退ヲ知ラハ騎兵ノ一部及歩兵ヲ以テ姫街道ヲ騎兵ノ主力ヲ以テ奥山井伊谷道ヲ前進シ先ツ我前進陣地ヲ奪取シ次テ本陣地ノ偵察ヲナス
其後騎兵團支援歩兵ヲ含ムノミヲ以テ我ヲ攻撃スルヲ可トスル場合ニハ氣

賀油田附近ニ向ヒ攻撃シ若該方面ヲ後續部隊ニ委シ自ラ他方面ニ進出ヲ求めント欲セハ其歩兵ヲモ金指方面ニ招致シ中川祝田方面ヨリ攻撃スヘク此等ヲ爲シ能ハサルニ於テハ一部ヲ殘置シ砲兵ノ行進遲滯ハ之ヲ豫期シテ瀧澤方面ヨリ三方ヶ原ニ進進スルコトヲ努ムルナラン
之ヲ要スルニ(第一)油田附近ノ攻撃(第二)中川祝田附近ノ攻撃(第三)瀧澤方面ヨリスル迂回之ナリ

五 我旅團地形利用(配備)上ノ着眼

- 旅團中川附近ノ地形ヲ利用スルニハ以上ノ主旨ニ基キ左ノ件ヲ顧慮セサルヘカラス
- (一) 井伊谷方面ヨリ都田川上流ニ向フ迂回運動ヲ困難ナラシムルコト
 - (二) 本陣地ニ對スル攻撃ヲ遲延セシムルコト
 - 以上ノ二項ハ金指町附近ノ前進陣地ヲ想起セシム
 - (三) 本陣地ハ左翼右翼ノ二方面ニ敵ノ攻撃ヲ豫期スルヲ要ス
 - (四) 中川瀨戸氣賀油田間ノ正面ハ約四吉米アリテ騎兵旅團ノ兵力ニハ頗ル過大ナリ

(五) 旅團ハ萬一ノ場合ヲ顧慮シ敵ノ迂回ニ對シ得サルヘカラサルコト

(六) 旅團ノ防禦ハ晝間ノミニテ満足スヘキコト
以上ハ本陣地ニ於テ要點ヲ集團的ニ配備シ中間ハ監視ニ止メ豫備隊ヲ強
大トナシ置クノ必要ヲ想起セシム

六 部署ノ概要

(一) 前進陣地ノ目的ハ兩谷ヲ制スルニ在リテ敵兵若井伊谷部落ノ東端附近ニ
現出スルトキハ距離ノ關係上最早退却ヲ要スヘシ故ニ小銃火ヲ利用シ得ル
範圍ハ僅少ナリ從テ其兵力ハ大ナラサルヲ要ス然レトモ一部ノ機關銃ト騎
砲兵ハ之ヲ附セサルヘカラス故ニ予ハ旅團ノ全兵力ニ鑑ミ前進部隊ニハ聯
隊長ノ率フル二中隊機關銃一小隊及騎砲兵ノ半部ヲ配當セントス

(二) 都田川左岸高地線(中川瀬戸—氣賀油田間)ハ正面約四吉米ニシテ之ヲ全部
堅固ニ占領スル如キハ旅團ノ兵力ニテハ不可能ナリ故ニ據點式集團配置ヲ
可トスルハ前述ノ如シ而シテ氣賀油田附近ハ西方及北方ニ對シテ重要ナル
地點ニシテ前進部隊ト協力スル爲ニモ亦本陣地防禦ノ爲ニモ緊要ナルヲ以

テ比較的大ナル兵力ヲ配當スルヲ要ス予ハ聯隊長ノ率フル二中隊機關銃二
小隊及騎砲兵ノ半部ヲ配當セントス

中川瀬戸附近ハ陣地右翼ノ據點ニシテ且金指町ヨリ南方及東方ニ通スル道
路ヲ制シ且前進部隊ノ退却ヲ收容スルニ必要ナル地點ナリ故ニ此地附近ニ
モ一團ノ配置ヲ要ス予ハ二中隊ト機關銃一小隊ヲ配置セントス但シ前進部
隊退却後ハ機關銃一小隊ヲ増加シ且聯隊長ヲシテ指揮セシム

中川上刑部南側高地ハ兩翼據點ヲ連綴シテ中間ヲ警備スル爲一部ヲ配置ス
ルヲ可トス但シ此地ハ前進部隊ニアル騎砲兵ノ退却後之ヲ配置スルヲ要ス
爾餘ノ部隊ハ中川大谷附近ニ於テ乘馬豫備タラシメ爾後ノ企圖ニ應セシム
レハ可ナリ但シ都田川上流都田村附近及大平附近ハ一小部隊ヲ以テ監視セ
シメサルヘカラス

七 戰鬥指導ノ腹案

敵若騎兵ノ一部及歩兵ヲ以テ姫街道方面ヨリ行動セシメ主力ヲ以テ遠ク澁川
方面ヨリ天龍川上流ニ行動スル場合(甚稀有ナルハ先ニ述ヘシ所ナリ)ニハ姫街

道方面ノ敵兵及天龍川上流ノ敵ニ對シ各個ニ擊破スルノ策案ヲ立ツルヲ要ス敵ノ主力井伊谷附近ニ現出シタル場合ニハ我前進陣地ニ對シテハ敵ハ一部ヲ以テ左翼ニ主力ヲ以テ右翼ニ攻撃シ來ルナラン此際前進部隊ハ適時戰鬥ヲ離脱シ中川祝田ヲ經テ本陣地内ニ退却ス此際本陣地ノ配備ハ完了シアルヲ要ス但シ北方ニ殘置シタル觸接斥候ハ依然タリ

敵ノ我本陣地ニ對スル攻撃ハ都田川上流ヨリ三方ヶ原ニ進出スルコトヲ努ムルカ主力ヲ以テ歩兵ト協力シテ力攻スルカノ二策ノ一ツナルヘシ(甲)ハ敵兵砲兵ノ使用困難ナルヘキヲ以テ公算少キモ若斯ノ如クスルトキハ旅團ハ氣賀油田ノ部隊或ハ其一部ヲ殘置シ主力ヲ以テ該敵ニ對シテ攻勢ヲ採リ(乙)ノ場合ニ於テハ敵ハ一部ヲ以テ中川瀬戸方向ヨリ主力ヲ以テ中川刑部氣賀油田方面ニ對シ姫街道部隊ト協力シテ攻撃シ來ルカ或ハ敵ノ後續縱隊ノ進出如何ニヨリ其主力ヲ以テ中川祝田附近ニ向ヒ攻撃シ來ルナラン此場合ニ於テハ旅團ハ都田川ノ障礙ヲ利用シテ火力ヲ以テ成ルヘク永ク敵ノ前進ヲ滯留セシメ敵兵都田川ヲ渡河セントスルノ時機ニハ陣地ヲ撤シ天龍川ノ線ニ退却スルヲ可トス

騎兵ノ徒歩戰ニ關スル原則的説明

騎兵ノ徒歩戰ニ關シテハ騎兵操典第二部第三章ニ懇切ニ教示シアリテ餘ス所ナシ故ニ予ハ茲ニ二三ノ注意事項ヲ説述スルニ止メントス
要領ニ就テ

乘馬戰ハ騎兵ノ主要ナル戰法ナリ然ルニ火器ノ進歩及地形ノ變形築城ハ騎兵ノ乘馬戰ニ制限ヲ加フルト同時ニ著シク徒歩戰ノ價值ヲ高上シ騎兵ヲシテ大ニ獨立ノ性能ヲ有セシムルニ至レリ殊ニ騎砲兵機關銃ハ其効力著大ニシテ騎兵徒歩戰ノ能力ヲ増進シ又四式騎銃採用ノ爲銃劍附著ハ更ニ其威力ヲ増大スルコトトナリ完全ニ決戰ヲ遂行シ得ルニ至レリ

(附言) 騎兵隊ノ現況ニ鑑ミ射撃術ノ巧拙火戰ニ關スル騎兵將校ノ戰術能力等ニ關スル程度等ハ夏季隊附ノ際各自觀察自得シ得ヘキ機會アルヲ以テ予ハ茲ニ明言セス

徒歩戰ニ於テ其運動性ヲ利用シ適時任意ノ地點ニ現出シテ戰鬥ヲ開始シ目的

ヲ達成セハ直ニ去テ他方面ニ動作スル等騎兵ノ特性タル行動ノ敏速ヲ發揮スルコト緊要ナリ之他兵種ニハ要求スヘカラサル騎兵ノ特長ナリトス(騎兵操典第二部第四十四)即チ馬足ノ利用、運動ノ敏活ハ戰闘手段ノ如何ニ拘ハラヌ騎兵戰闘ニ於テ常ニ利用セサルヘカラサル要件ナリ
徒歩戰ニ於ケル運動性質ノ利用ニ關シテ二三ヲ例示スレハ次ノ如シ

攻 擊

- 一 防禦陣地ヲ占領シアル敵ニ對シ一部ヲ以テ正面ヨリ牽制セシメ主力ヲ以テ側面又ハ背面ニ對シ急襲的攻撃ヲ遂行スルノ機會ヲ捕捉シ得
- 二 有利ナル攻撃點ヲ選定スル爲地形ヲ利用シテ行動スルニ至ル之カ爲迂路ナリト雖時機ヲ失スル虞少シ
- 三 戰闘經過中所要ニ應シ縱射斜射ヲ行ヒ又ハ背後ヲ擾亂セシムヘキ好適ノ位置ニ一部隊ヲ好機ニ投シ現出セシメ得ル公算大ナリ

防 禦

- 一 陣地選定ノ距離ノ遠近ニ關シ制限ヲ受クルコト少ク從テ位置選定上動作

ノ自由ヲ得

- 二 戰闘經過中適切ノ地點ニ一部隊ヲ現出シ得ルノミナラス時トシテ狀況之ヲ許サハ第一線部隊ヲ急遽他方面ニ移動セシメ得ルコトアリ地形有利ニシテ敵ノ歩兵ニ對スル場合殊ニ然リ
又攻勢移動ノ好機ト適切ノ方向ヲ捕捉シ得ル見込大ナリ
 - 三 戰場離脫戰線離脫ト混同スル勿レ比較的迅速ナルヲ以テ前進陣地等ヲ利用シ敵ノ前進ヲ遲滯セシメ得ルコト多シ兵種兵力ニ關シ敵ヲ欺騙シ得レハ最モ妙ナリ(騎兵操典第二部第四十四)
- 徒歩戰ニ於ケル戰法ハ概ネ歩兵ニ於ケルト同一ノ原則ヲ適用スヘキモノナリ左ニ其著シク異ル點ヲ指摘シテ研究ニ資セン

- 一 最初ヨリ第一線ノ兵力ヲ強大ニシ且第一線モ亦其火線ヲ當初ヨリ強大ナラシム

短時間ニ其目的ヲ達成スルハ騎兵戰闘ニ於テ殊ニ緊要ナリ是兵員ノ少キト彈藥數僅少ナル爲長時間ニ亘ル戰闘ハ不利ニシテ一舉ニ目的ノ達成ヲ企畫

スルヲ要スレハナリ從テ戰鬪正而縱長區分ヲ決定スル原則上ノ要旨ニ至リテハ差異ナキモ之カ適用上差異ヲ生スルナリ其細部ハ騎兵操典第二部第四十五ヲ參照スヘシ

二 乘馬豫備隊ヲ保有スルヲ本則トナス

馬足ヲ利用シ得ル準備姿勢ニアル後方部隊ハ即チ乘馬豫備隊ニシテ豫備隊ノ諸任務ヲ迅速ニ達センニハ最モ適當ナレハナリ然レトモ乘馬部隊ノ運動ヲ許ササルカ地域狭小ニシテ之ヲ要セサル如キ場合ニハ徒歩ノ豫備隊ヲ設クルコトナキニアラス然レトモ徒歩豫備隊ハ多クハ必要ニ臨ミ乘馬豫備隊ヨリ取ルヲ適當トス(騎兵操典第二部第四十五)

豫備隊ノ編組斯ノ如クナルヲ以テ其任務即チ側背ノ警戒、手馬ノ掩護等ハ戰況ニ應シ攻勢的ニ達成スルコトヲ努メシムヘキモノトス從テ乘馬豫備隊ノ編成及其運用ノ適否ハ騎兵徒歩戰ニ於ケル運命ヲ左右スルモノト云フモ過言ニアラサルナリ

(附言) 序ニ一言スヘキハ徒歩戰ニ於ケル縱長區分ナリトス即チ

第一線

乘馬豫備隊(時トシテ徒歩豫備隊)

又第一線ヲ通常左ノ如ク區分ス

散兵

援隊(要スレハ中隊毎)

豫備隊(大部隊ニテ要スレハ乘馬及徒歩部隊ヲ以テ之ヲ備フルコトアリ) 手馬(中隊毎ニ距離間隔ヲ取り附近ノ部隊ヲ一團トナスヲ得ハ最モ可ナリ)

三 散兵ノ間隔ハ通常三步トナス

騎兵ハ散開地域ニ制限ヲ受クルコト少ク且人員寡少ナルヲ以テ此間隔ヲ取ルモ指揮ニ不便ナク且損害ヲ減少シ得レハナリ

四 手馬

手馬ハ徒歩戰ニ於ケル騎兵ノ煩累物ナリ然レトモ遠ク之ヲ後方ニ殘置スルトキハ散兵ハ適時戰鬪ヲ離脱シ或ハ好機ニ追撃ヲ爲スヲ得ス又近キニ過ク

レハ無益ノ損害ヲ蒙ル虞アリ如何ナル場合ニ於テモ成ルヘク地形ヲ利用シテ散兵線ニ近接シ確實ニ之ト連絡シアラサルヘカラス蓋シ馬ヲ失ヒタル騎兵ハ騎兵タルノ價值ヲ失フモノナレハナリ

手馬移動ノ要否ニ關シテハ特ニ注意ヲ要スヘキモノニシテ其顧慮スヘキ事項ハ騎兵操典第二部第四十五ニ指示シアリ而シテ攻撃ニ於テハ多クハ移動ヲ要シ防禦ニ於テハ否ラサルコト多シ移動ヲ要スル場合ニハ二分一下馬又ハ四分三下馬ヲナシ得而シテ何レヲ採用スヘキヤハ前進地區ノ地形及希望銃數ノ多少ニ關係ス手馬ノ移動ヲ要セサレハ一小隊ニ四名ヲ殘シ其他ハ全部下馬セシムルコトヲ得

五 彈藥ニ對スル顧慮

騎兵ハ目下ノ處戰鬪間ノ彈藥補充ハ附近ニ友軍アリテ便宜ヲ得ルニアラサレハ自己ノ兵員ヲ以テ自己ノ輜重ヨリ補充ヲ受クルコトハ甚困難ナル場合多シ故ニ中隊長以上ノ諸官ハ戰鬪開始ニ先チ散兵ニ成ルヘク多クノ彈藥ヲ携行セシムルコトニ注意スルコト特ニ緊要ナリ之カ爲ニハ下馬セシメサル

兵員ノ彈藥ヲ散兵ニ交付セシム(騎兵操典第二部第四十七)然レトモ乘馬豫備隊ノ彈藥ヲ散兵ニ交付スルハ避ケサルヘカラス之爾後ノ用途ニ支障ヲ生スル虞アレハナリ

徒歩戰ハ攻撃及防禦ノ二ニ分レ其戰鬪手段モ多クハ歩兵ノ原則ヲ適用スヘキモノナリ故ニ茲ニハ二三ノ注意事項ヲ述フルニ止ム

一 攻撃

騎兵ノ攻撃ハ乘馬戰ヲ以テ主眼トナスヲ以テ徒歩攻撃ヲ行フハ已ムヲ得サル場合例ヘハ隘路等ノ進路ヲ開キ或ハ局地ヲ奪取スル時等ニ用ヒラルルモノナリ(騎兵操典第二部第四十八其他徒歩セル敵ヲ攻撃セント欲スルモ地形上乘馬襲撃ノ不可能ナル場合等ニ用ヒラルルモノナリ(乘馬攻撃ニ際シ狀況上一部ハ火力ヲ以テ援助セシムル如キハ特例ナリ)

騎兵ノ攻撃ハ持續戰鬪ニ適セス運動性ヲ利用シテ地形ノ掩護ニヨリ不意ノ射撃ヲ以テ成シ得レハ敵ノ側背ヲ包圍スル如ク努ムルヲ要ス

地形開濶ナル場合ニ於テハ中距離以上ニアラサレハ攻撃中止ヲ爲シ能ハサ

ルハ特ニ注意ヲ要ス此點ニ關シテ戰鬪指導ノ方針ヲ確立シ遺憾ナキヲ期セサルヘカラス

二 防禦

騎兵ノ徒歩戰ハ防禦ノ場合ニ適用セラレルコト多シ即チ敵ノ前進ノ遲滯セシメ或ハ自衛其他特異ノ目的ノ爲徒歩防禦ヲ行フコトアリ

防禦ニ於テハ地形ヲ利用シ豫備隊ヲ増大シ置クコト有利ナルノ原則ハ騎兵ニモ亦適用ス

防禦ノ目的專ラ敵ヲ拒止セントスルニ在ル場合例ヘハ友軍ノ來著迄一地ヲ固守スル時或ハ會戰間消極的ニ友軍ノ側背ヲ掩護セントスル時ノ如キハ全力ヲ盡シテ其陣地ヲ固守ス若其目的單ニ一時敵ヲ防止シ時間ノ餘裕ヲ得ント欲スルトキ又ハ一時敵ノ運動ヲ妨害セント欲スル如キ場合ニハ兩後ノ戰鬪離脱ヲ顧慮シ敵ヲ遠距離ニ支持スルヲ可トス而シテ其陣地ハ蔭蔽シテ退却シ得而カモ近ク手馬ヲ位置セシメ得ルヲ可トス(騎兵操典第二部第六十五(附言) 騎兵ノ徒歩戰ニ於テハ通常兵力ニ比シ大ナル正面ヲ取ルト兵力ノ

過小ト速度ノ利用トニヨリ所謂準備陣的ノ配備ニ在ルノ必要特ニ大ナルハ一般ニ注意スヘキ件ナリ敵騎ニ迂回セラレルノ顧慮多キ場合殊ニ然リ

騎兵支援隊ニ關スル原則的說

比較的小數ナル騎兵ヲ有スル軍カ多數ノ騎兵ヲ有スル敵ニ對スル場合ニ於ケル騎兵ノ用法果シテ如何

少數騎兵ノ多數騎兵ニ對スル戰法ニハ左ノ說アリ

曰ク成ルヘク徒歩戰ヲ以テ逐次前進ヲ圖ルヘシ

曰ク多數ノ挺進隊ヲ出シ搜索任務ヲ達成スヘシ

前者ハ騎兵ヲ乘馬歩兵的ニ使用スルモノニシテ主義ニ於テ反對セサルヲ得ス後者ハ敵モ亦挺進隊ヲ出スヘク又斯ノ如ク兵力ヲ分離スルモ元來敵カ優勢ナルヲ以テ到ル處我カ劣勢ナルコト明ナリ又遠距離斥候及挺進隊ノ如キハ其報告殆ト多ク機ニ後レ易キハ過去ノ戰役ニ於テ吾人ノ屢實驗セシ處ナリ之ヲ以テ以上ノ

二説ヲ排シ騎兵集團ヲ以テ直接當面ノ敵騎ヲ突破シ以テ搜索ノ任務ヲ達成スルヲ本則トナササルヘカラス

茲ニ於テカ小數騎兵ニハ他兵種ヲ以テ援助ヲ與フルノ必要ヲ生ス之カ爲騎砲兵、機關銃ヲ増加シ或ハ歩兵ノ支援隊ヲ附シ以テ騎兵ノ戰鬥能力ヲ増進セシムルコト益々緊要ナルニ至レリ

支援隊ヲ使用スルニハ騎兵指揮官ハ之ヲ要點ニ向ヒ躍進セシムルヲ可トス騎兵カ終始之ト行動ヲ共ニセントスルカ如キハ騎兵團固有ノ活動力ヲ阻害セラルルコト大ナリ故ニ支援隊ハ之ヲ一地ニ止メテ騎兵萬一ノ場合ノ依頼點トナシ所要ニ應ジ逐次前方ニ地歩ヲ占メツツ前進セシムルヲ可トス

輕裝セル歩兵ハ短時間ノ行軍ニ於テハ其速度輕視スヘカラス然レトモ狀況不利ニシテ退却スル場合ノ如キハ騎兵ノ煩累トナリ其ノ動作ヲ掣肘スルノ害ハ一層甚シキモノアリ

少數騎兵ノ多數騎兵兵數上比較的懸隔アルモノニ對シ行動スル場合ニ於テ本軍トノ距離二日行程以上ナルトキハ敵騎ハ我騎兵ニ相當ノ兵力ヲ對セシメ殘餘ヲ

以テ我騎兵ノ背後ニ迂回スルカ如キ動作ニ出ツルナラン果シテ然ラハ我騎兵及支援隊ハ共ニ退路ヲ遮斷セラレ爲ニ大ナル危險ニ陥ルニ至ルヘシ故ニ支援隊ヲ出ス距離ハ本軍ヨリ一日行程ニ止マルナラン

騎兵ニ支援隊ヲ附スルハ已ムヲ得サル一手段ニシテ實ニ騎兵ノ行動ヲ掣肘シ其活動力ヲ減殺スルコト甚シキモノトス故ニ騎兵ニ支援隊ヲ附スルト否トハ大ニ考慮ヲ要スルコトトス

茲ニ注意ヲ要スルハ彼ノ山地ニ行動スル騎兵ニ支援隊ヲ附スルカ如キハ自ラ別問題ナリトス

狀況

騎兵一旅團ハ四日午前九時乃至十時ヨリ砲兵ヲ有スル敵騎ノ爲前進陣地ノ攻撃ヲ受ケ該部隊ハ正午頃都田川左岸ニ退却シ次テ午後三時過ヨリ都田川本陣地ノ攻撃ヲ受ケ戰鬥漸次激烈トナリ次テ日没頃一部ヲ以テ二俟附近主力ヲ以テ見附附近天

龍川左岸ノ線ニ退却セリ
 此日諸兵連合ノ敵ノ縱隊ハ本阪峠ヲ經テ前進シ氣賀附近ニ達
 シテ停止セルモノノ如ク我第一師團騎兵中隊ノ主力ハ夕刻見
 附附近ニ於テ騎兵旅團ニ合シ又第一師團ハ前衛ヲ以テ金谷本
 隊ヲ以テ嶋田、藤枝間ニ宿營シ明五日二縱トトリ袋井、淺名ノ線
 ニ進出スル筈
 茲ニ於テ騎兵旅團長ハ明五日天龍川ノ線ニ於テ敵ノ前進ヲ遲
 滯セシメ第一師團ノ進出ヲ容易ナラシメント腹案セリ

第十四問題 (宿題)

從來研究セシ作戰經過ニ鑑ミ五月三十一日騎兵旅團行動開始
 以前ニ溯リ騎兵第一旅團搜索計畫ノ起案

但シ作業ハ搜索方針、同理由部署ノ大要ノミニ止メ行軍計畫、通信計畫、彈藥補
 充計畫、給養計畫ハ之ヲ省略ス

第十四問題答解ニ對スル總評

一 搜索方針ニ就テ
 方針ヲ定ムルニ自己ノ行ヒタル(敵情)狀況判斷ト矛盾シアル如キハ不可ナリ宜
 シク判斷ノ導ク所ニ從ヒテ之ヲ定メサルヘカラス例ヘハ敵ノ集中ハ名古屋附
 近ト判斷シアリテ名古屋ニ行進目標ヲ定ムル如キ又ハ諸兵連合ノ敵縱隊其騎
 兵團ノ後方ニ續行スルモノト判斷シアリナカラ岡崎ニ進出セントスルカ如キ
 共ニ方針ノ出所ヲ知ルニ苦シム
 方針記述ノ形式ハ別ニ規定スル必要ナキモ作戰行動ニヨリ時期(又ハ場合)ヲ異
 ニスル毎ニ一項トナスヲ便トス

二 理由ニ就テ
 理由中最モ不備ナルハ敵軍集中狀態ニ關スル考察ヲナサス單ニ我軍不利ナル

カ故ニ敵ハ前進スルナラントノ主旨ヲ記載セル作業アリ又理由ノ内容備ハラ
ス(地形論)論述ノ拙劣ニシテ論理ニ合セサルモノ(相異ル二事項ヲ急ニ結ヒ付ク
ルモノ)記述不完全ナルモノ(必要ヲ説クモ如何ニシテ之ヲ行フヤヲ論セサルモ
ノ)アリ共ニ不可ナリ

三 搜索部署ニ就テ

旅團ハ三日敵騎ト交戦ヲ爲スコトヲ豫期シアルニ拘ハラス何等準備上ノ著眼
ナキモノ例ヘハ天龍川モ濱名湖モ眼中ニナク恰モ坦々タル畑地ヲ行動スル如
キ考ヲ有スルモノアリ
A 支隊騎兵トノ搜索地區ノ分界ヲ研究セサル爲該騎兵ノ斥候ト重複スル如キ
感アルモノアリ
部署ノ記述疎略ニシテ計畫トシテ實用ニ適セサルモノアリ本計畫ハ直ニ訓令
ノ草案トナシ得ル程度ノモノナルヲ要ス

第十四問題答解上ノ著眼

一 敵情判断

本敵情判断ノ目的ハ敵軍集中状態ヲ考察シ目下知り得タル敵騎
兵團ト其後方ニ在ル諸兵連合ノ敵隊ノ行動ヲ判断スルニ在リ

彼我本軍ノ主作戦地ハ太平洋沿岸ノ地區ナルハ地形一般ノ關係上何人モ異論
ナカルヘシ

敵軍集中ヲ名古屋平地ニ於テ完結シタル後前進ヲ起ス場合ニハ其先進兵團ト
モ見ルヘキ諸兵連合ノ一兵團五月三十日彦根方面ヨリ東進セシモノハ恐ラク
其掩護ニ任スヘシ果シテ然ラハ其位置ハ地形上天白川又ハ境川ノ線附近ヲ適
當トセン

敵兵若彼我ノ狀況ト爾後ノ作戦準備ノ爲集中完結ヲ待ツコトナク開進地ヲ岡
崎平地或ハ豊橋平地ニ躍進セシメントスル場合ニハ其先進兵團ハ御油附近又
ハ本阪峠附近動モスレハ他ノ特別目的ヲ兼テ天龍川右岸ノ線附近ニ進出セシ
ムルナラン

敵兵已ニ前進準備略完成シアル場合ニハ名古屋平地ニ開進スルコトナク前進
ヲ繼續スルコトモ亦皆無ト云フヘカラス此場合ニハ其先進兵團ヲ第一線兵團
トシテ前進スルヤモ計ラレス

右何レノ場合ニ於テモ敵騎兵團ハ豊橋平地ヲ經テ我ニ向ヒ前進シ來ルヤ疑ナク之ニ關シテハ説明ノ要ナカルヘシ之ヲ要スルニ旅團長ハ敵軍集中状態ヲ二様ニ觀察シ之カ準備ヲナシアルヲ要ス

(第一) 敵兵名古屋平地ニ集中ヲ完了シタル後前進スルモノニシテ此場合ハ當初敵ノ騎兵團ノミ東進シ來ルヘシ

(第二) 敵兵開進地ヲ躍進セシムルカ名古屋平地ニ開進スルコトナク前進ヲナシ得ルトキハ騎兵團ノ後方約一日行程ニハ諸兵連合ノ兵團續行スルナラン

二 搜索地域(行動地域)及該地區内戰略路ノ考察

飯田方面ニハA支隊アリ其所屬騎兵ヲ以テ足助方面ヨリ名古屋平地ノ敵情ヲ搜索スヘキヲ以テ旅團ハ主トシテ足助以南ノ地區即チ海岸地區ヨリ名古屋平地ノ敵情ヲ搜索スレハ可ナリ旅團ノ進路トシテ静岡―掛川―氣賀―御油―知立―名古屋道掛川―森―二俣

―奥山―新城―舉母―名古屋道静岡―横須賀―豊橋―西尾―名古屋道ノ三者ハ其主ナルモノナリ

(甲)ハ最モ主要ナル道路ニシテ主ナル搜索機關ノ派遣ヲ要スヘク(乙)ハ山地方面ヨリ稍、主部ニ獨立シテ搜索ニ從事スヘク且足助街道方面ノ友軍トノ連絡ヲモ要スヘキカ故ニ道路ノ景況ハ良好ナラサルモ比較的大ナル搜索機關ヲ派遣スルヲ要ス(丙)ハ道路ノ價值ニ於テハ(乙)ニ優ルト雖概シテ云ヘハ(甲)ト近接シアル爲所要ニ應シ支隊又ハ交代等ヲ受ケ得ルヲ以テ其兵力ハ(乙)ニ比シテ節約シ得而シテ此道路ハ沿道ノ關係上(甲)道路ノ搜索機關ト相協力スル機會多カルヘキニ於テ殊ニ然リ

三 搜索機關ノ決定

戰略路ノ關係以上ノ如クナルヲ以テ(甲)道路ニハ一中隊ノ搜索隊(乙)道路ニハ一小隊ノ斥候(丙)道路ニハ直轄將校斥候ヲ派遣スルヲ適當トス

(注意) 地形偵察ノ斥候ハ此外トス

四 彼我行動ノ豫察

敵騎兵團ハ三十日大垣ヲ出發前進セシヲ以テ我ニ向ヒ猛進スルニ於テハ距離ノ關係上遅クモ二日豊川ノ線又ハ天龍支脈東側ノ線附近ニ達シ得ルナラン五月三十日關ヶ原ヲ通過シタル諸兵連合ノ敵兵又ハ其一部モ若急進ヲ敢行セハ六月二日ニハ矢作川ノ線同三日夕ニハ豊川ノ線附近ニ進出スルヲ得ヘシ彼我騎兵團主力ノ衝突ハ距離ノ關係上六月三日ト豫期シ得而シテ旅團ハ單ニ其行進能力ニ就テ論スレハ二日夕ニハ氣賀、舞阪ノ線附近以西ニ進出スルコトヲ得ルモ茲ニ作戰指導上特ニ一考ヲ要スルモノナクンハアルヘカラス天龍川ノ渡河ハ如何ニシテ決行スヘキヤノ準備及第三日ニ於ケル敵騎トノ衝突ヲ如何ニシテ我勝利ニ歸セシムヘキヤノ考察之ナリ換言スレハ旅團ハ天龍川以西ノ進出ニ際シ姫街道東海道ノ何レニ前進スルヲ適當トスルヤ等ヲ能ク考定シ諸準備ヲナシタル後前進スルハ單ニ行進行程ノ大ヲ欲スル以外ノ價值アルコト之ナリ何トナレハ近ク一日行程後方ニ諸兵連合ノ縱隊接近スルヤモ計リ難キ場合ニ於テ天龍支脈、濱名湖ノ障礙ニヨリ行動不便ナル地ニ於テ彼我騎兵團ノ主力相互ニ其背後ニ出タル場合ニハ旅團ハ前面ニ諸兵連合ノ敵縱隊、背後ニ

敵騎兵團アリテ所謂腹背敵ヲ受クルノ危險ヲ招クモノナレハナリ故ニ此際予ハ本狀況ニ於ケル騎兵第一旅團トシテハ無理ニ行進行程ノ大ノミニ著眼セス寧ろ第三日ニ於ケル彼我騎兵ノ衝突ニ於テ必ス勝利ヲ得ル如ク腹案シテ其行動ヲ律シ行程上失ヒタル所ヲ其後ニ於テ恢復スルコトヲ努ムルヲ可ナリト思考スルモノナリ故ニ予ハ本狀況ニ於ケル騎兵第一旅團ノ行動ハ左ノ如ク豫定セント欲スルモノナリ

旅團主力ハ二日夕迄ニ天龍川ノ線附近ニ進出シ天龍川ノ渡河及第三日天龍川以西進出路ノ爲ノ準備ヲナス

搜索隊ハ第一日天龍川ノ線第二日ハ敵騎兵團ニ對シテ戰術的搜索ヲ實施シ得ル地マテ近接ス(此點ニ關シ希望ヨリ述フレハ豊川ノ線ナルモ果シテ右ノ如クナルヤ否ヤハ全ク現時ノ狀況ニ關ス)

(附言) 實際ノ作戰經過ハ彼我搜索隊相對シテ前進意ノ如クナラス三方原ヲ隔テテ第二日夜ヲ送レリ之實ニ狀況上已ムヲ得サリシナラン

遠距離斥候ハ敵騎兵團ノ搜索ハ勿論ナルモ若前進スルモノトスレハ第二日

夕矢作川ノ線附近ニ到着ヲ豫期スル敵後續兵團ノ狀況ヲモ搜索シ第三日夕迄ニハ其狀況ヲ報告シ得ル如クナラサルヘカラス故ニ予ハ此種斥候ハ第二日夕ニハ矢作川ノ線ニ進出スルコトヲ前途トシテ前進行程ヲ希望ス即チ一日天龍川以西二日矢作川以西ノ地區ニ進出スルコト之ナリ
右ノ外旅團ハ自己ノ天龍川渡河ノ爲ノ偵察及第一師團將來ノ爲海岸方面ノ道路偵察ノ爲ノ斥候ヲ派遣シ二日旅團ノ先頭大池附近ニ到着スル時機ニハ報告ヲ集合シ得ル如クナシ置カサルヘカラス

第十四問題原案

搜索方針

- 一 旅團ハ六月二日迄ニ見附附近天龍川ノ線ニ進出シ爾後敵騎兵團ヲ求メテ之ヲ攻撃セントス
- 二 旅團ハ敵ヲ擊破セハ之ヲ西方ニ壓迫シ以テ敵本軍ノ狀況ヲ搜索セントス
- 三 旅團若優勢ナル敵ノ壓迫ヲ受クレハ斥候ヲ以テ搜索ニ從事シ主力ハ成ルヘ

ク西方ニ於テ敵ヲ拒止シ已ムヲ得サルモ天龍川ノ線ヲ固守シ第一師團ノ袋井淺名ノ線ニ向テスル進出ヲ容易ナラシメントス

理由

一 彼我本軍ノ集中地及地勢一般ノ關係上其會戰地ハ太平洋沿岸方面ニ選定セラルヘク彼我ノ騎兵團モ亦相互ニ此方面ニ行動スルヲ至當トス
敵騎兵團ハ距離ノ關係上二日夕ニハ豊川ノ線若ハ天龍支脈東側ノ線附近ニ進出シ得ヘク我旅團モ亦同日夕ニハ濱松平地ニ進出シ得ルヲ以テ六月三日ニハ彼我騎兵團ノ衝突ヲ惹起スルナラン故ニ旅團ハ六月三日ニハ敵騎兵團ノ主力ヲ求メテ之ヲ擊破シ以テ爾後ノ搜索ヲ容易ナラシメザルヘラス之カ爲旅團ハ遅クモ二日夕迄ニハ天龍川ノ景況ヲ明ニスルヲ要ス又三日ニ於テ彼我ノ衝突ハ濱松平地ニ起ルヘキヤ豊橋平地ニ起ルヘキヤハ今日ヨリ之ヲ豫定シ難シト雖旅團ハ必ス敵主力ト衝突シテ一舉ニ之ヲ擊破スル如クセサルヘカラス何トナレハ若彼我相互ニ其背後ニ行動スル如キコトアランカ若近ク敵ノ後續部隊前進シアル場合ニハ旅團ハ天龍支脈濱名湖間ニ介在シ行動極メテ不便ナル地

區内ニ於テ腹背ニ敵ヲ受ケ頗ル危険ニ陥ルニ至ルヘシ故ニ六月三日ノ衝突ハ特ニ慎重ノ顧慮ニ基キ之カ準備ヲナササルヘカラス之カ爲旅團ハ二日夕天龍川ノ線ニ進出シ現時ノ狀況ニ應シ姫街道方面又ハ東海道方面ノ何レカニ前進シ敵主力ヲ求メテ決戦ヲ交フルヲ有利トス

二 旅團ハ二日ノ戦闘ニ於テ勝利ヲ得ハ敵騎兵團ヲ西方ニ壓迫シ以テ敵背後ノ狀況ヲ搜索ス敵本軍若名古屋ニ集中中ナル場合ニハ三十日彦根ヲ發シタル縱隊ハ天白川又ハ境川ノ線附近ヲ占領シ之カ掩護ニ任スヘク此場合ニ於テハ旅團ハ敵ヲ壓迫シテ岡崎附近ニ急進シ以テ其狀況ヲ搜索スルヲ要ス敵本軍若其開進地ヲ躍進セシムルカ又ハ續テ前進ヲ繼續スル場合ニハ旅團ハ敵騎兵ヲ該縱隊ニ壓迫シテ其狀況ヲ搜索スルヲ要ス

三 旅團若優勢ナル敵騎若ハ敵ノ後續縱隊ノ前進ニ遭遇シ其壓迫ヲ受クルニ至レハ斥候ヲ以テ搜索ニ從事シ主力ハ成ルヘク西方ニ於テ敵ノ前進ヲ遲滞セシメ已ムヲ得サルモ四日頃天龍川ノ線附近ニ進出スヘク豫想セラルル第一師團騎兵中隊ト協力シ該河川ノ大障礙ヲ利用シ敵ノ前進ヲ遲滞セシメ以テ六月五

日袋井、淺名ノ線ニ向テスル第一師團ノ進出ヲ容易ナラシメサルヘカラス以上ノ方針ニ基キ計畫ヲ定ムルコト次ノ如シ

搜索部署

| 區分 | 隊號 | 兵力 | 任務 | 出發時刻 | 前進地區ノ希望 |
|-------|------------|-------------------------|---|----------|---|
| K將校斥候 | 騎兵第二聯隊 | K中尉ノ率フル一小隊 但シ少尉一ヲ増加ス | 森町、新橋、學母ヲ經テ名古屋方面ノ敵情搜索、足助街方面ニ於ケル支隊ノ騎兵中隊ト連絡 | 六月一日午前五時 | 六月一日天龍川ノ線以西ノ地區ニ進出 |
| 搜索隊 | 騎兵第一聯隊第一中隊 | 一中隊 | 掛川、氣賀、御油、岡崎ヲ經テ名古屋方面ノ敵情搜索 | 六月一日午前六時 | 遠距離斥候六月一日天龍川ノ線以西ノ地區ニ進出 日作川ノ線附近ノ地區ニ進出 矢作川ノ線附近ノ地區ニ進出 日作川ノ線附近ノ地區ニ進出 |
| L將校斥候 | 騎兵第一聯隊 | 乙中尉ノ率フル一等兵八一 | 横須賀、濱松、豊橋、西尾ヲ經テ名古屋方面ノ敵情搜索 | 六月一日午前五時 | 六月一日天龍川ノ線以西ノ地區ニ進出 |

| | | | | | |
|-------|--------|-------------------------|--|--------|-------------------------------|
| M將校斥候 | 騎兵第二聯隊 | 卒上下M 等士中 兵 四一尉 | K斥候ト同行シ諸 兵種及旅團渡河ノ 目的ヲ以テ二侯ノ 察井間天龍川ノ偵 | K斥候ニ同シ | 六月二日午後二時 迄ニ大池附近ニ於 テ報告提出 |
| S將校斥候 | 騎兵第二聯隊 | 卒上下S 等士少 兵 四一尉 | L斥候ノ進路ヲ前 進シ諸兵通過ノ目 的ヲ以テ笠井ノ偵 察井間天龍川ノ偵 | L斥候ニ同シ | M斥候ト同位置ニ 於テ提出 |

旅團ハ一日旅次行軍ヲ以テ嶋田二日戰備行軍ヲ以テ見附附近ニ向ヒ前進シ大行李輜重ハ一日藤枝二日掛川附近ニ向ヒ前進セシム但シ給養ハ地方糧秣ニヨリ得ルコトヲ豫期ス

騎兵團ノ搜索ニ關スル原則的說明

(一)

一 部隊ヨリ出スヘキ斥候ノ數
一 斥候ニ於テ

斥候ノ派遣數ハ任務、敵情及地形殊ニ道路網ノ關係ヲ顧慮シ我搜索目的ニヨリ定マルモノトス即チ戰路搜索ニアリテハ敵ト遭遇ヲ豫期スル道路ヲ搜索スルモノニシテ其數ハ道路數ニヨリ自然定マルモノナリ而シテ其派遣區分ハ搜索隊ノ指定區域内ハ該隊ヨリ其他ハ騎兵團長直轄ノ斥候トナスヲ通常トス然レトモ稀ニ搜索隊ノ指定地域内ニ於テモ地形及狀況上必要ナレハ直轄ノ斥候ヲ出スコトアリ戰術搜索ニアリテハ敵ノ行動シ得ヘキ地域ハ遺漏ナク搜索スルヲ要スルカ故ニ其數ハ主トシテ一斥候ノ搜索シ得ヘキ正面幅ニヨリテ定マルモノトス此正面幅ハ實驗ニヨルニ二吉米ヲ以テ一般ノ標準トナスヘシ但シ地形ニヨリ取捨ヲ要スルヤ勿論ナリトス

(二)

斥候ノ種類

特ニ重要ナルカ又ハ長時間獨立シテ行動スル斥候(戰略斥候)ハ將校斥候ナルヲ要スルハ勿論ナレトモ次等ノ任務ヲ有スル短距離ノ斥候(戰術的斥候)又ハ之ニ準スル戰略斥候(下士斥候)ニテモ可ナリ而シテ一中隊ヨリ出シ得ル將校斥候ノ數ハ騎兵中隊戰鬥力ノ減殺ヲ顧慮シ二個ヲ以テ最大限トス

(三) 斥候ノ兵力

斥候ハ視察ヲ以テ本旨トシ且敵ニ發見セラレサルカ爲ニハ寧ロ人員ノ少ナルヲ要ス而シテ多少ノ人員ヲ要スル所以ハ主トシテ傳令ヲ要スル爲ナリ故ニ其數ハ豫想スル報告回數ヲ基準トシテ定ムヘキモノト云ヒ得ヘシ故ニ遠距離ニ出テ長時間獨立服務スル斥候ト雖八乃至十五騎ヲ通常トス地形ノ關係上副斥候ヲ出ス必要アルカ特別任務例ヘハ交通線ノ破壞等ヲ有スルモノハ一小隊ニ至ルコトアリ

(四) 斥候ノ編組

一般ノ將校斥候ニアリテハ下士一名下士斥候ニアリテハ上等兵一名ヲ附スルヲ通帶トス之内務上ノ補佐ト要スレハ副斥候長タラシメンカ爲ナリ故ニ豫メ次級斥候ノ分岐ヲ要スルコトヲ察知シ得ルトキニハ所要ノ幹部ヲ増加シ置クコトアリ又遠距離斥候ニハ踏鐵工卒一名ヲ編入スルヲ可トス

(五) 斥候ノ行進距離

數日連發シテ行動スル斥候ニアリテハ(輕裝シアルハ勿論)八十吉乃至百吉米ヲ

以テ一般ノ標準トナシ一時的ノモノニアリテハ百二十吉米ヲ行進セシメ得ヘシ

(本斥候ニ關シ専門的ニ研究スレハ詳細ニ述フヘキコトアルモ之ハ隊附中各自ノ研究ニ委ネン)

(附錄) 斥候ノ搜索計畫

斥候ノ搜索計畫ハ概ネ左ノ事項ニヨリ之ヲ定ム

- 一 行進法
- 二 敵情視察地點ノ記入
- 三 偵察其他ノ取調ヲ爲スヘキ地點事項
- 四 休止地點、休止間爲スヘキ事項
- 五 豫想シ得ヘキ報告ヲ出スヘキ地點及事項、爲シ得レハ傳達法ヲモ豫定ス
- 六 敵ニ遭遇シタルトキ避クヘキ方向
- 七 被報告者ハ何時何處ニ著クヤノ豫算及敵トノ豫想遭遇點

八 給養上ノ計畫

行進法ノ規定ハ任務上何時何地ニ達スヘキヤヲ考ヘ此時間中ヨリ途中ニ於ケル動作及休止ノ爲ノ豫定時間ヲ差引キ一時間ニ行進スヘキ平均速度ヲ得之ヲ地區ニ應シテ適宜ニ規正ス而シテ餘リ綿密ニ過クレハ却テ實際ニ適セス從來ノ常歩何分速歩何分ト分チタル如キ殊ニ然リ大體ニ地區毎ニ其取ルヘキ速度ヲ豫定スルヲ可トス

二 搜索隊ニ就テ

(一) 搜索隊ノ任務

搜索隊ノ任務ハ次ノ如シ

- (1) 重要ナル道路ニ沿ヒ遠ク進ミテ敵ヲ搜索ス(斥候搜索隊共ニ之ヲ有ス)
 - (2) 敵集團ト觸接ヲ保持シ我旅團ノ戰鬪ヲ容易ナラシム(搜索隊ニ限ル)
- 右ノ任務ニ基キ(1)ノ任務ナルトキハ小數兵員ニテ足リ(1)及(2)ノ任務ヲ有セシムルニハ相當實力アル部隊ヲ要スルコトヲ知リ得ヘシ反言スレハ假令其兵力一小隊ニ至ルモ其任務(1)ニ止マルトキハ寧ロ斥候ト見ルヲ適當トセン而シテ

搜索隊ハ(1)及(2)ノ兩任務ヲ有シ主力ノ進路上ニ派遣セララルモノナルコトヲ知リ得ヘシ

(二) 搜索隊ノ動作

- (1) 搜索區域及重要ナル道路上ニ遠距離斥候ヲ派遣シ戰略搜索ヲナス
- (2) 敵騎ノ近接ニ伴ヒ主力ノ爲戰術的搜索ヲナス從テ濃密ナル騎幕ヲ形成スルニ至ル
- (3) 斥候ヲ支援シ其進路ヲ開キ又ハ之ヲ收容シ若ハ交代シ又斥候ヨリ來ル報告ヲ後送ス
- (4) 敵ニ接近スルニ後ヒ搜索隊ハ搜索據點報告收集ニ便ナル地點ヲ選ヒ躍進スヘキモノトス
- (5) 搜索隊ハ技術的通信法已ムヲ得サレハ遞騎哨ニヨリ主力トノ連絡ヲ確實ニス
- (6) 敵騎兵團ハ遭遇セハ斥候ヲ以テ其後方ヲ搜索シ主力ハ敵騎兵團ト密ニ觸接シツツ退却シ遂ニ本戰鬪ニ參與ス

(7) 敵騎兵團ニ遭遇セサル方面ニ於ケル搜索隊カ主力ノ戦闘ニ參與スル如ク動作スヘキヤ更ニ敵本軍ニ遭遇スル迄前進スヘキヤハ狀況ニ關スルモ通常敵本軍ニ遭遇スル迄前進シ戰略搜索ニ從事スルヲ有利トス何トナレハ斯ノ如キ場合ニ於テ途中ヨリ決心ヲ變シ主力ノ戦闘ニ參與セントスルモ多クハ時機ヲ失スルヲ以テナリ地形騎兵部隊ノ行動自在ナラサルトキ特ニ然リ

(三) 搜索隊ノ數

搜索隊ヲ出スノ數ハ騎兵團ノ搜索擔任地區ノ幅員ト作戰路ノ數トニ關ス然レトモ旅團ノ如キ小兵力ニテハ常ニ之ヲ集結シアルノ必要上一個ヲ以テ通常トシ二個ヲ以テ最大限トス其他ハ直轄斥候ヲ以テ補足スヘシ

(四) 搜索隊ノ搜索正面

搜索ノ周密、兵力分散ノ豫防、強力ナル援助ヲ要望スル關係上一搜索隊ノ搜索正面ハ十吉米ヲ以テ一般ノ標準トナス蓋シ此正面ノ搜索ニ五斥候ヲ要シ之ニ更ニ所要ノ遠距離斥候ヲ加フレハ約一小隊ノ減員ヲ來シ此以上搜索正面ヲ擴張スルトキハ斥候支援等ノ實力ヲ減殺スルニ至ルヘケレハナリ

(五) 搜索隊ノ擔任地域

地形上特ニ明瞭ナラサル限リハ其區域ヲ指定スヘキモノトス搜索隊數個ヲ出ストキ殊ニ然リ一定ノ時間ニ於テ到着スヘキ地區特ニ搜索スヘキ地方等ヲ指示スヘキヤ將又一任スヘキヤハ團長ノ該隊長ニ信賴スル程度換言スレハ搜索隊長ノ能力及各搜索機關ノ關係ヲ統一連繫スルノ要否ノ程度ニ關係スルモノナリ

(六) 搜索隊ト主力トノ距離

地形、技術的通信法、敵情等ニ關スト雖一ハ我主力ノ爲ノ戰術的搜索ヲナシ其戰鬥ヲ容易ナラシムル資料ヲ得セシメ一ハ搜索隊ヲ先遣スルノ主旨ニ鑑ミ敵ノ壓迫敵ノ騎兵團ニ遭遇セサル間ヲ受ケサル間ハ約一日行程四十吉米ヲ標準トスヘシ

(七) 搜索隊ノ速度

小隊乃至中隊ノ如キ部隊ハ連續數日實働スル場合ニ於テモ實驗上五十吉乃至六十吉米ヲ以テ一般ノ標準トナスヘシ

(八) 搜索隊ノ兵力

搜索隊ハ通常約一中隊トス要スレハ更ニ之ニ他中隊ヨリ若干ノ將校斥候ヲ増加スルコトアリ又要スレハ三小隊又ハ中隊長ノ率フルニ小隊ヲ以テ充ツルコトアリ

一小隊ヲ派遣セシ場合ニ於テ搜索隊ト稱スヘキヤ斥候ト見ルヘキヤハ其任務ノ性質ニヨルヘキモ僅々一小隊ニテハ搜索隊ノ任務殊ニ敵騎兵ト遭遇ヲ豫期スル地區内ノ搜索隊トシテハ實力不足ナルハ前ニ述ヘタルカ如シ

三 騎兵團ノ使用ニ就テ

騎兵旅團又ハ騎兵集團ノ運用ニ關シテハ他日軍ノ作戰ヲ研究スル際重テ研究スル機會アルヘキヲ以テ茲ニハ一二注意事項ヲ列記シテ他日ノ參考ニ供スルノ程度ニ止メントス

(1) 旅團ハ最重要ナル道路上ヲ通常一縱隊トナリテ前進ス(三旅團ヨリ成ル騎兵集團ニアリテハ各旅團ヲ併進セシムルカ二旅團ヲ第一線一旅團ヲ第二線ニ前進セシムルヲ通常トス)

(2) 歩兵先頭ヲ離ル距離ハ軍ノ集合(前進準備ヲ完了シアルトキ)シアルトキト雖一日間ハ先行シアルヲ要ス而シテ搜索正面ノ擴張ト共ニ此距離ヲ増加ス而シテ此距離ニ制限ヲ與フルモノハ給養ナリトス

(3) 彼我一二日行程ニ近接シアル場合ハ前方ヨリモ寧ロ會戰ニ際シ使用スヘキ翼側方面ニ在リテ行動セシムルヲ有利トス

(4) 搜索シツツ前進スル騎兵旅團ノ行進能力ハ平均一時間六吉米蔭蔽地五吉米一日七八時間ニテ四十吉乃至五十吉米ヲ最大限トスヘシ

(5) 主力敵騎ト遭遇スルトキハ之ヲ擊破センカ爲集結シ得ヘキモノハ特別任務ノモノト雖相合シテ戰鬪ニ參與スルヲ本則トス但シ背後ノ戰略搜索ヲ忽ニスヘカラス

(6) 敵本軍ニ近接スレハ斥候小部隊又ハ威力ヲ以テ敵情ヲ確メ敵ノ某縱隊ヨリ他ノ縱隊方面ニ轉進シ逐次各方面ノ狀況ヲ明ナラシムルモノトス

(7) 旅團敵ノ壓迫ヲ受クルトキハ逐次退却シテ師團騎兵ニ收容セラレ逐ニ一翼ニ位置スルニ至ルモノトス此際我搜索ヲ廢絶セサルト又敵騎ヲシテ搜索

ヲ擅ニセシメサルコトニ注意スルヲ要ス

(8) 敵ニ壓迫セラレタル騎兵ノ更ニ攻勢ニ轉スル機會ハ左ノ二ナリトス

(イ) 師團騎兵ト合シタルトキ

(ロ) 歩兵一部ノ支援ヲ得タルトキ

(附錄) 獨立師團ノ騎兵ノ搜索ニ就テ

師團獨立スル場合ニ於テハ必要ニ應シ騎兵旅團ヨリ其一部ヲ之ニ増加セラルルヲ通常トスヘシ斯ノ如クニシテ師團騎兵ヲ増加シ以テ搜索騎兵トナス場合ニ於ケル搜索部署ハ搜索隊ヲ出ササルヲ異リトス時トシテハ已ニ述ヘタル如ク小ナル搜索隊ノ如キモノヲ出スヲ有利トナス場合モアラシ然レトモ此搜索隊ノ派遣ハ騎兵主部ノ爲戰術的搜索ニ任スル意味ヨリシテ却テ兵力ヲ分離スルノ害アルヲ常トス故ニ多クノ場合ニ於テ搜索隊ニ代ハルモノハ特ニ派遣スル斥候ナリトス
師團騎兵主部ノ歩兵先頭ヨリ先行スヘキ距離ハ約一日行程ニテ可ナリ蓋シ此距離ニ在ルトキハ師團ハ充分動作ノ自由ヲ保持シ得レハナリ搜索正

面ハ「バルク」氏著書ニハ四中隊ノ一聯隊ニテ十吉乃至二十吉米ト記シアリ探テ以テ標準トスヘキナリ其他ノ諸事項ハ概ネ騎兵旅團ニ準シ動作セシムレハ可ナリ

四 搜索計畫

搜索ニ任セラレタル騎兵ノ大ナル部隊其任務ヲ實行スル爲計畫ヲ立ツルニハ大概左ノ諸項ニ關シ研究スルヲ要ス

搜索方針

先ツ搜索ノ爲ノ大方針ヲ定ム即チ何日迄ニ何處ニ到着シ何ヲ爲スヤ、敵騎ヲ擊破シ得サリシトキハ如何ニスルヤ、敵騎ニ壓迫セラレタルトキハ如何ニスルヤ等ヲ定ムルモノナリ而シテ此動作ハ主要ナル時期毎ニ分ツモ可ナリ

理由

方針ヲ定メタル理由ヲ附記スルヲ可トス

右ノ大方針ニ基キ以下細部ノ計畫ヲ爲ス即チ次ノ如シ

一 搜索部署

出發ニ當リ出スヘキ遠距離斥候、搜索隊及要スレハ近距離斥候等ヲ定ム而シテ爲シ得レハ之カ交代補充ノ期及其後出スヘキ斥候ヲ豫メ規定ス

二 行軍計畫

縱隊ヲ幾ツニ分ツヘキヤ何日ハ何處ニ到リ何日ハ何處ニ到ルヘキヤヲ定ム

三 通信計畫

技術的通信ノ方法、遞騎設置ノ件、報告收集所設置ノ件等前方ト後方トノ通信ヲ如何ニスルヤヲ定ム

四 彈藥補充計畫

如何ニシテ小銃機關銃及騎砲彈藥等ヲ補充スヘキヤヲ計畫ス

五 給養計畫

如何ニシテ人馬ヲ給養スヘキヤ補給ノ方法如何ヲ計畫ス

(附錄) 搜索計畫範例

搜索方針

一 旅團ハA及B地ノ敵情ヲ搜索スル爲主力ヲ以テ何月何日迄ニ先ツC地ニ

進出セントス

二 旅團Cニ進出後ハ主力ヲ以テA、一部ヲ以テB方向ニ前進シ敵情ヲ搜索スヘキモ其細部ハ同地進出後敵情ニヨリ之ヲ定ム

三 旅團若優勢ナル敵ノ壓迫ヲ受クレハ斥候及小部隊ヲ以テ搜索ニ從事シ主力ハ成シ得ル限り東方ニ於テ敵ヲ拒止シ已ムヲ得サルモ何々ノ線ヲ固守シ軍ノ何地進出ヲ掩護セントス

理由

一 、 、 、 、 、

二 、 、 、 、 、

三 、 、 、 、 、

右ノ方針ニ基キ計畫スルコト左ノ如シ

第一 搜索部署

| | | | | | | | | |
|----|---|---|---|---|---|---|------|---------|
| 區分 | 隊 | 號 | 兵 | 力 | 任 | 務 | 出發時刻 | 前進地區ノ希望 |
|----|---|---|---|---|---|---|------|---------|

| | | | | | |
|--------|------------------|-------------------|-------------------|--------------|-----------------------------|
| A 將校斥候 | 騎兵第二十五聯隊 | A 中尉、下士一、上等兵一、卒八、 | 何地ヲ經何地ノ搜索(搜索隊ニ増加) | 何月何日 午前何時 | 何日何地ニ、何日何地以東 コ進出スルコトヲ希望ス |
| B 搜索隊 | 騎兵第二十六聯隊 第一中隊 | 一中隊 | | | 主力……… 遠距離斥候……… |

第二 行軍計畫

| 區分 | 日次 | 宿營地 | 摘要 |
|-------|----|-----|---------------|
| 戰鬪部隊 | 何日 | 何地 | 旅次行軍(戰備行軍ニ移ル) |
| 大藥行 | 何日 | 何地 | 特別掩護兵ヲ附セス |
| 彈藥縱列及 | 何日 | 何地 | |

第三 通信計畫

- 一 旅團司令部ト軍司令部トノ通信ハ主トシテ國用電信ニ依ル但シ何地ニ一電話通信所ヲ設ケ既設線利用ノ電話通信ヲ併用シ云々何地ニ進出スルヲ得ハ云々
- 二 旅團司令部ト搜索隊トノ通信ハ成ルヘク國用電信及國用線利用ノ電話通信ニヨリ且回光通信ヲ併用ス此目的ノ爲搜索隊ニハ震動式電話器一個屬品

共及小被覆線一吉米竝回光通信機一組ヲ携行セシム此等ヲ利用シ得サルトキハ傳騎ニヨル

- 三 旅團司令部若ハ搜索隊ト斥候トノ通信ハ國用電信ヲ利用スルノ外主トシテ傳騎ニ依ル

第四 彈藥補充計畫

彈藥補充ハ騎兵旅團ノ彈藥縱列ヨリス但シ出發ニ方リ彈藥縱列ニ在ル小銃彈ヲ各人(何地以外ノ遠距離斥候ヲ除ク)ニ分配携行セシメ彈藥縱列ハ更ニ補充シ置カシム

第五 給養計畫

- 一 旅團ノ糧食縱列ハ宿營地ニ殘置シ第一師團長ノ區處ヲ受ケシム
- 二 給養ハ主トシテ地方物資ニヨル但シ狀況之ヲ許ス間ハ大行李ヲ近ク跟隨シテ、、、、、
- 三 將校斥候及搜索隊ニハ自活ノ爲ノ金員ヲ携行セシム

獨立セル騎兵ノ宿營及前哨ニ關スル 原則的説明

宿營及前哨ニ關スル一般ノ原則ハ諸官ノ既ニ了知シアル所ニシテ之ヲ詳細ニ陳述スルハ却テ煩雜ナルノ嫌アルヲ以テ茲ニ獨立セル騎兵ノ宿營及前哨中一般ノ宿營及前哨ニ比シ稍其趣ヲ異ニスル點ノミヲ陳述シテ參考ニ供セントス

宿營ニ就テ

一 騎兵ハ戰術上眞ニ已ムヲ得サルカ傳染病等特別ノ事情アルニアラサレハ成シ得ル限り舍營スヘキモノトス換言スレハ騎兵ハ他兵種(歩兵ニ比シ舍營スル必要大ナルト又之ヲ許ス場合多キモノトス之馬匹ノ保護上必要ナルノミナラス敵ノ目視ヲ避ケ兵力兵種ヲ掩蔽スルコト及村端家屋等ヲ防禦ノ支撐點トナスノ必要ハ騎兵ニ特ニ緊要ナレハナリ加之舍營ニ於ケル位置選定ノ困難警戒及勤務ノ爲大兵力ヲ要スル害等ハ騎兵ノ速力利用及宿營地選定ノ際地形ノ利用等ニヨリ補ヒ得ルコト多キヲ以テナリ

二 露營ヲナス場合ニ於テモ狀況之ヲ許セハ村落内ニ露營スルヲ可トス

舍營ハ各部隊ノ交通不便命令傳達不敏活ニシテ掌握不確實集合ニ多時ヲ要スル害アルモ露營ハ全ク之ニ反シ戰團準備迅速ナルノ利アリ故ニ戰備ノ度ヲ嚴ニスヘキ前哨部隊又ハ戰團ヲ準備シアルヘキ部隊ノ如キハ村落内ニ露營スルヲ可トス而シテ眞ノ露營ヲナスハ全ク其附近ニ求ムヘキ村落ナキトキニ限ル

三 村落露營ヲナスヘキ一般ノ場合ハ要務令ニ明示シアリテ騎兵ニモ亦之ヲ適用スト雖騎兵宿營地ハ其地ニ束縛セラレル狀況ニ於テ此宿營法ヲ採用スルコト多シ

四 騎兵ハ任務ノ性質上廣地域ニ分散シアルコト多キヲ以テ宿營及警戒ハ各部分毎ニ行フ場合多キモノトス

五 舍營ノ配宿上特ニ注意ヲ要スルハ騎兵ハ戸數ヲ以テ配當スルコトナク馬ヲ入ル所水及道路ニ著意シ配當スルヲ要ス

六 戰備ノ度ニ關シテ云ヘハ騎兵ハ二様ノ舍營法ヲナスモノナリ

(1) 敵ト全ク接觸スル虞ナキカ又ハ歩兵ニヨリ十分ノ掩護ヲ受クルトキ

此場合ニ於テハ敵ニ關スル顧慮ヲ要セサルモ若土民不穩ナルトキハ其蜂起ノ豫防法ヲ講シ又萬一ニ備フル爲戰備ヲ嚴ニシ狹縮舍營ノ爲生スル害ノ豫防法ニ留意スルヲ要ス土民ニ對スル警備等ハ要務令第二百七十五第

二百七十八ニ準スヘキモノトス

(2) 敵ト近ク觸接シ又ハ歩兵アルモ其前哨ノ前方ニ位置スル必要アルトキ此場合ニ於テハ村落防禦ノ準備道路ノ閉塞前哨及比隣宿營部隊トノ連絡又全部警急舍營ヲナス等特殊ノ戰備ヲナスト同時ニ特ニ搜索ヲ密ニシ敵襲ヲ豫防セサルヘカラス

七 警急大集合場ノ目的性能ニ關シテハ諸官ノ了知スル所ナルモ騎兵ハ晝間警急大集合場ニ集結後直ニ襲撃ノ爲前進スル爲之ヲ設クルノ必要アルコトニ注意スヘシ

八 勤務ニ就テ云ヘハ旅團ノ如キ小部隊ニテ其聯隊長ヲ舍(露營司令官トナストキハ通常舍營日直將校ヲ省略シ得ルコト多シ

九 露營ニ於テ設備スヘキ主要ナルモノ左ノ如シ

既、要スレハ水ノ運搬又ハ飲馬場、炊事場、休宿地

十 露營ニ際シ敵襲ノ虞アルトキハ徒歩ノ外衛兵ヲ備ヘ之ヲシテ騎銃ヲ利用シテ抵抗セシムル如ク爲シ置クヲ要ス要スレハ一中隊ヲ以テ之カ控兵トナシ戰鬪準備ヲ整ヘ置クヲ可トスルコトアリ然レトモ露營地ニ於テ防禦スルコトハ成シ得ル限り之ヲ避クヘシ

十一 其他ハ一般原則ヲ適用ス
前哨ニ就テ

一 前哨即チ警戒ノ第一要義ハ搜索ニシテ第二要義ハ抵抗ニアルハ騎兵ト雖異ルコトナシ然レトモ騎兵ハ兵種ノ性能上第一要義タル搜索ヲ以テ變戒勤務ノ大部ト看做スコトヲ得ヘシ

二 前哨ノ兵力編組ヲ決定スル要素ハ敵ノ遠近、危險ノ大小、我軍ノ兵力、地形等要務令ニ明示シアルヲ以テ之ニ準據スヘシト雖騎兵ノ前哨勤務ハ馬ヲ疲勞スルコト大ナルヲ以テ特ニ兵力ノ節約ニ注意スルヲ要ス之カ爲屢、敵ニ最モ近接シタル宿營地ニ於テ抵抗シ以テ後方部隊ヲシテ戰鬪準備ヲ整ヘ出發セシムルノ

餘裕ヲ得セシムルコトアリ
前哨ノ兵力決定上其兵力ヲ節スルノ可ナルコトハ異論ナキモ左ノ件モ亦特ニ
留意ヲ要スルモノナリトス

- (1) 騎兵ハ戰備ヲ整フルニ歩兵ニ比シ長時間ヲ要ス
- (2) 騎兵ハ馬匹保護上舍營ヲ採用スル場合多シ
- (3) 騎兵ハ歩兵ニ比スレハ抵抗力少ナリ
- (4) 以上三個ノ缺點ハ搜索能力及通信法ノ迅速確實ヲ以テ補ヒ得ルヤ否ヤ
前哨ニ砲兵ヲ附スルハ(1)前哨抵抗線ト本隊ノ戰鬪線ト一致シタルトキ(晝間前
哨)⁽²⁾敵ノ必ス通過スヘキ隘路等ヲ縱射スルトキ等ナルハ諸官ノ熟知スル所ナ
ルモ騎兵前哨ニ於テハ之ヲ附スルコトハ殆ト皆無ト云フモ可ナリ機關銃ハ屢
有利ニ之ヲ使用シ得ルコトアリ

三 騎兵ハ任務ノ性質上廣地域ニ分散宿營スルコト多キヲ以テ前哨モ亦概ネ各
宿營地毎ニ獨立シテ之ヲ備ヘ一連ノ前哨ヲ設ケサルヲ常トス從テ其兵力ハ通
常寡少ナリ(最大限全體ノ四分一以下ナルヘキカ)若大ナル警戒部隊ヲ要スル如

キ場合ニハ狀況之ヲ許セハ位置ノ移動ニヨリ之ヲ節シ得ルコトアリ

四 騎兵對騎兵ノ前哨ニ於テハ夜間道路ヲ警戒スルノ要ハ一層大ナリ然レトモ
路外通過極テ容易ナルカ敵兵地形ヲ熟知スル如キ場合ニ於テハ中間モ亦之ヲ
守備セサルヘカラス然レトモ之等ノ地區ハ通常ハ斥候ヲ以テ嚴ニ警戒スルヲ
可トス夜間警戒ノ爲出ス斥候ハ徒步者ヲ出スヲ可トスルコトアリ
騎兵ハ位置選擇ノ自由大ナルヲ以テ適當ノ地形ヲ選ミ警戒部器ヲ地形ニ適合
セシムルコト特ニ緊要ナリ。

五 細部ニ就テ

- (1) 騎兵ハ歩兵ノ如ク規正ノ前哨部署縱長ノ整備警戒兵橫方向ノ連絡ヲ採用
スルハ極テ稀ニシテ旅團以下ノ如キニアリテ殊ニ然リ即チ通常ノ場合直ニ
一二ノ前哨中隊又ハ獨立小哨ヲ設ケ要スレハ前衛ノ殘餘又ハ附近ノ村落ニ
宿營セル部隊ヲ以テ第一ノ支援タラシムル爲控兵トナスコトアリ換言スレ
ハ長大ナル警戒線ヲ要スル場合ニハ之ヲ數前哨區ニ分チ一前哨區ニハ騎兵
一中隊(前哨中隊)又ハ之ヨリ小ナル部隊ヲ用ヒ警備上必要ナレハ其附近ニ宿

營スル部隊ニ控兵ヲ命シ戰鬪準備ヲ整ヘアラシメ別ニ前哨本隊ヲ設クルコトナシ

- (2) 前哨部隊ノ後方部隊ニ戰備ヲ整フルノ餘裕ヲ得セシムルハ搜索竝迅速ナル報告ノ外抵抗ヲ要スルハ前既ニ述ヘタルカ如シ而シテ騎兵抵抗ノ方法ハ二種アリ即チ襲撃火器ノ利用之ナリ

(甲) 襲撃ハ晝間次ノ如キ稀有ナル場合ニ用フルコトアリ

(1) 敵兵極メテ微弱ナルトキ

(2) 敵兵我前方警戒部隊ヲ擊退シ暴進シ來ル爲有利ニ之ニ乘シ得ルトキ

(3) 敵ノ前進ニ際シ伏兵ヲ設ケ不意ニ其側面ヲ攻撃シ得ルトキ

(乙) 強大ナル敵ニ對シ殊ニ夜間ニ於テハ火器ヲ利用スルヲ有利トス之カ

爲抵抗線ヲ選定シ置クノ必要ハ一般前哨ト異ルコトナシ然レトモ騎兵前哨ニ於ケル抵抗ハ歩兵ニ比スレハ遊動防禦ノ性質ヲ有スルコトニ注意セサルヘカラス晝間殊ニ然リ之敵ハ晝間正面ヨリ突進スルヨリモ側

面ヨリ來襲ノ虞大ナルヲ以テナリ

- (3) 前哨配置ヲ決定スルニハ本隊(本隊又ハ前衛本隊)ノ宿營地ニヨリ抵抗線ヲ決定シ更ニ之ニ基キ其監視線ヲ定ムヘキモノナルコトハ何種前哨ニ於テモ適用スヘキ原則ナリト雖騎兵ニアリテハ所要ノ抵抗線ヲ基礎トシ之ニヨリ宿營地ヲ決定スルコトアルニ注意スヘシ又騎兵ハ敵ト遠ク僅少ノ部隊ヲ以テ單ニ敵斥候ノ侵入ヲ防クヲ目的トシ主トシテ監視ノミノ爲ニ前哨ヲ要スルコト屢々ナルニ注意スヘシ

- (4) 抵抗線ト本隊宿營地トノ距離ハ前衛ト本隊トノ距離ヨリモ大ナリ而シテ其距離ヲ定ムルノ要素ニ至リテハ相同シ而シテ騎兵ハ歩兵ヨリ大ニシテ約二倍トス而シテ其之ヲ取捨スヘキ事項等ニ至リテハ相異ルコトナシ

- (5) 騎兵前哨ニ於ケル監視線ハ歩兵前哨ニ比シ殊ニ重要ナルモノナリ之騎兵ハ抵抗力小ナルヲ以テ監視ニヨリテ警戒ノ目的ヲ達スルノ必要大ナレハナリ
- (6) 騎兵ハ前哨中隊ヨリ通常下士哨騎哨ヲ出シ小哨ヲ省略スルコト多ク小哨ヲ配置スルハ特ニ緊要ナルトキニ限ル之搜索能力及報告ノ迅速ニヨリ前哨

中隊ニ戰備ヲ整フルノ時間ヲ得セシメ得ルニヨルモノナリ

(7) 騎兵前哨ニ於テハ晝間監視線ヲ擴張スル爲下士哨及騎哨ヲ更ニ前方ニ派遣シ又晝間前方ノ要點ニ駐止斥候ヲ派遣スルコトアリ

(8) 騎兵旅團集團敵ト遠隔シアル時ニ在リテハ固有ノ前哨敵斥候ノ侵入ヲ防ク監視ヲ主目的トナスヲ設クルノ外前方ニ派遣シアル搜索隊ト連絡スルヲ要ス

搜索隊遠隔シアル主要ナル地點(隘路等)ヲ占領スルトキハ敵ヲ抗拒シ或ハ少クモ其前進ヲ阻止シ得ヘシ

旅團以下ノ部隊ニ在リテモ前述ノ如キ目的ノ爲一部隊ヲ遠ク前方ニ派遣スルヲ可トスルコトアリ

六 雜件

(1) 給養ニ就テハ前哨中隊ハ其位置ニ於テ飯盒又ハ地方炊具ニヨリ炊爨シ小哨ハ前哨中隊又ハ控兵ヨリ分配ヲ受クルカ又ハ小哨ノ位置ニ於テ成シ得レハ飯盒又ハ地方炊具ニヨリ自ラ炊爨ス

下士哨ハ後方ヨリ送付ヲ受クルカ又ハ食事濟ノモノヲ以テ交代セシム
馬糧ハ小哨以上ノモノハ其位置ニ於テ送付ヲ受ケ其他ハ飼與濟ノモノト交代セシム

(2) 前方道路ハ遊動閉塞ヲ要ス

(3) 前哨中隊掩蔽下ニ入ルトキハ馬ノ整頓及人ノ休憩ヲ秩序正シクスルコト及火光ヲ發セサルコトニ注意スヘシ

(4) 實驗ノ結果ニヨルニ夜間耳ヲ地ニ著ケテ音響ヲ聽キ得ル距離左ノ如シ

| | |
|----------|---------|
| 單獨騎兵ノ速駈歩 | 百五十米以内 |
| 騎兵一中隊ノ常歩 | 六百米以内 |
| 歩兵一中隊ノ途歩 | 四百五十米以内 |
| 砲兵一中隊ノ常歩 | 五百二十米以内 |

(5) 騎哨ハ小哨ヨリ八百乃至千米ノ距離ヲ取り夜間ハ之ヲ短縮ス又間隔ハ我目視ヲ避ケ敵ノ進入シ得サル如クシ夜間ハ之ヲ短縮ス

(6) 小哨ニ於テハ鞍ヲ卸スコトナク改裝スルノミ馬ハ手馬卒ヲシテ持タシム

飲馬場遠キトキハ水與ハ二、三騎ツツ交互ニ行フ但シ狀況ニヨリ三分一位迄ハ同時ニ行ハシムルモ可ナリ、飼付モ亦三分一位ツツ交互ニ行フモノトス

(7) 小哨ノ兵卒任務區分ハ三分二ヲ哨兵三分一ヲ斥候トスル位ノ標準ヲ以テスルヲ可トス

(8) 斥候ノ用法ニ就テ
斥候ノ過半ハ警戒ヲナスモノナリ故ニ之カ使用法ニハ特ニ注意ヲ要ス其用法三種アリ

- (A) 巡邏斥候(交代搜索ヲナスモノ)
 - (B) 駐止斥候(一地ニ駐止シ監視ヲナスモノ)
 - (C) 接觸斥候(警戒斥候ニシテ搜索ヲ兼ネ行フモノ)
 - (B) 及 (C) ハ馬ハ疲勞セシメサルト搜索ヲ中絶セサル利アルモ後方部隊ノ兵力ヲ減スルノ害アリ故ニ適宜三種ヲ併用スヘシ
 - (D) 徒歩斥候
- 狭ナル地域ニ於テハ騎兵ト雖徒歩斥候ヲ使用スルヲ利トスルコトアリ

露營及戰鬪準備前哨之研究

想定

所要地圖 二十萬分一 靜岡、豐橋、山名、大須賀、向笠、見附

- 一 見附附近ヲ占領シ後續兵團ノ進出ヲ容易ナラシムヘキ任務ヲ有スル東軍先遣支隊(歩兵第一旅團、騎兵第一中隊、野砲兵第一大隊、聯隊段列一小隊ヲ屬ス)工兵第一中隊、師團電話隊二分一、衛生隊(半部)ハ六月二十三日一縱隊ヲ以テ東海道ヲ西進シ午後二時前衛歩兵ノ先頭ヲ以テ大池村三叉路附近ニ達ス此時迄ニ支隊長ノ知り得タル事項概ネ左ノ如シ
- (1) 歩兵四五千、砲十門内外ヲ有スル敵縱隊ハ姫街道ヲ東進シ其先頭正午頃上島ヲ通過シ池田方向ニ前進セリ
 - (2) 東海道上ニ於ケル敵兵ノ有無未タ明カナラス

(3) 我騎兵中隊ハ稍優勢ナル敵騎ノ壓迫ヲ受ケ逐次東方ニ退却中ナリ

(4) 我後續兵團ハ二十五日夕ニハ見附附近ニ進出シ得ル豫定ナリ

二 六月二十三日ニ於ケル支隊ノ軍隊區分左ノ如シ

搜索騎兵

騎兵第一中隊(一小隊欠)

前衛

司令官 大佐某

步兵第一聯隊(第三大隊機關銃一小隊欠)

騎兵一小隊(一分隊欠)

野砲兵第一中隊

三

(イ) 地形ニ關スル假想左ノ如シ

(1) 天龍川ノ諸橋梁ハ諸兵種ノ通過ニ妨ナシ

工兵第一中隊

衛生隊半部

本隊(同行軍序列)

騎兵一分隊

旅團司令部

步兵第一聯隊第三大隊(機關銃一小隊ヲ屬ス)

野砲兵第一大隊(第一中隊欠)

步兵第二聯隊

聯隊段列一小隊

但シ電話隊ハ前衛ト本隊トノ中間ニ在リテ行進ス

(ハ)(ロ) 里道(片點線路)ハ野砲ノ通過ヲ許ス
米田ハ畑地ト同様ナリ

第一問題 (席上)

二十三日午後二時ニ於ケル支隊長ノ決心理由、處置ヲ要セス)

第一問題原案

支隊ハ敵ヲ擊攘スル目的ヲ以テ遭遇ヲ豫期シ前進ヲ繼續セントス

狀況

午後三時前衛歩兵先頭ハ國本名栗東端東海道上ノ橋梁ニ達ス
此時支隊長ハ前衛本隊ノ先頭ニ在リテ、行進中左ノコトヲ知ル

(1) 敵ハ二縱隊トナリ午後一時三十分頃其先頭ヲ以テ池田

及西ノ島東端附近ヲ通過東進セリ而シテ池田—見附道ヲ
行進スルモノハ其主力ナルカ如シ

(2) 我騎兵ノ主力ハ袋井附近ヲ占領シ三ヶ野坂上附近ニ在
ル稍優勢ノ敵騎ト相對ス

第二問題 (席上)

午後三時ニ於ケル支隊長ノ決心理由、處置ヲ要セス)

第二問題原案

決心變化ナシ

狀況

午後三時三十分前衛歩兵ノ先頭國本中央三叉路(圖上國ノ字附

近附近ニ達ス此時騎兵中隊長ヨリ敵ハ午後三時十分頃ヨリ三ケ野坂上、新貝馬山附近ノ高地ニ現出セシモ其後前進ノ模様ナク又三ケ野坂上附近ノ敵騎ハ南方ニ移動セル旨ノ報告アリ此報告ハ前衛司令官支隊長共ニ同所ニ於テ承知ス

第三問題 (席上)

午後三時三十分ニ於ケル支隊長ノ敵情判斷

第三問題原案

敵ハ我ト遭遇戦ヲ交フル爲三ケ野坂上附近ノ高地附近ノ高地端ニ展開中ナラン

第四問題 (宿題)

午後三時三十分ニ於ケル支隊長ノ決心(理由ヲ要セス)及處置

但シ森林ハ展望及運動ヲ妨害セス太田川ハ和口ヨリ下流ハ橋梁ノ外通過シ難キモ其上流ハ歩兵及騎兵ノ爲ニハ所々徒涉場アリ但シ砲兵ハ橋梁ノ外通過シ難シ

第四問題答解上ノ著眼

一 敵情判斷

本判斷ノ目的トスル所ハ先ニ研究セシ敵情判斷(展開狀態ノ判斷)ニ關連シ敵爾後ノ行動ヲ判斷セントスルニ在リ
敵ノ兵力ハ歩兵ニ於テ一、二大隊少數ナルモ既ニ三時十分以後三ケ野坂上新貝馬山ノ線附近ニ展開シアリトセハ一縱隊ヲ以テ東海道上ニ位置スル我支隊ニ比シ其位置並形勢共ニ有利ナルハ明瞭ナリ而シテ敵兵爾後ノ行動ニ關シテハ(甲)敵ハ展開完了ト共ニ山名以東ノ隘路内ニ向ヒ攻撃前進シ來ルカ(乙)我支隊ノ山名町附近ニ進出スルニ乘シ攻撃シ來ルカ(丙)敵ハ現在地附近ニ於テ我支隊ヲ迎撃スルカノ一ニ出ツルナラン

- (甲) ハ我支隊ヲ隘路内ニ封鎖シ行動ノ自由ヲ有セシメサルノ利アルモ敵ノ爲ニ有利ナル砲兵陣地ニ乏シク而モ隘路内ハ約二吉米ノ幅員ヲ有スルヲ以テ戰團正面トシテ大ナル不足ナキ爲敵ノ此動作ハ志氣上ノ外物質上ノ利益ヲ併用スルコト能ハス
- (乙) ハ我支隊ニ隘路口ノ立脚地ヲ得セシムルノ害アルモ敵ハ三ヶ野坂上附近高地上ニ有利ナル砲兵陣地ヲ占メ我支隊ノ有利ナル砲兵陣地ニ乏シキニ乘シ得ルノ利益アリ
- (丙) 我支隊ノ爲行動ノ自由ヲ得セシムルノ害アルモ地形ヲ利用シテ兵力ノ不足ヲ醫シ有利ナル交戦ヲ爲シ得ヘシ
- 之ヲ要スルニ三策中(甲)ハ志氣上ノ利益大ニシテ(丙)ハ物質上ノ利益大ナリ而シテ(乙)ハ其中位ニアルモノト云フヘシ其何レヲ採用スルヤハ敵軍指揮官ノ性格及内部ノ事情等ニ關スヘシト雖我支隊トシテハ敵ハ(甲)策ヲ第一トシ(乙)策ヲ第二トシ(丙)策ヲ第三トナスモノトシテ作戰ヲ指導セサルヘカラス
- 二 本日支隊カ進ンテ敵ヲ攻撃スルノ可否

- (イ) 支隊ハ不幸一縦隊午後二時及同三時ニ於ケル兩度ノ決心ニ際シ多少彌縫的ニ小部隊ノ支分ハナセシナランモ對比上大體ニ於テ一縦隊ト云ヒ得ヘシニシテ其長徑ハ梯隊距離ヲ短縮シアルモノトシテ約六吉米アリ故ニ現在ノ先頭ノ線附近ニ戰團準備ヲ整フル爲ニハ命令下達ノ時間等ヲ算定スルトキハ縦令歩度ヲ伸ハストシテモ約二時間ヲ要スヘシ故ニ戰團準備完了ハ午後五時半頃トナルヘシ而シテ川井附近ノ隘路口ニ進出スル時ハ午後六時半頃即チ時刻ハ正ニ日没トナルニ至ル
- (ロ) 彼我ノ形勢ヨリ見ルトキハ支隊ハ隘路内ヨリ隘路口ニ進出スル爲行動ノ自由ヲ得サルニ反シ敵ハ地形上行動ノ自由殊ニ有利ナル砲兵陣地ヲ有シ隘路口ヲ有利ニ火制シ得故ニ現在地ヨリ平推的ニ推進シテ隘路口附近ニ於テ交戦スルハ支隊トシテハ好マシキコトニアラス
- (ハ) 全體ノ狀況ヨリ見ルニ我後續兵團ハ明後日夕刻此地附近ニ到着スルノ距離ニアルヲ以テ今急速ニ前面ノ敵ニ對シ不利ナル形勢ヲ推シテ交戦ヲ求ムルノ必要ナシ或ハ敵ノ後續兵團ヲ想像スルモノアルヘシト雖未タ何等ノ微

候ナキヲ以テ之ヲ基礎トシテ無理ナル戦闘ヲ交フルカ如キハ策ノ得タルモノニアラス

(ニ) 支隊若現在地附近ニ位置スルトキハ爾後兵力ノ使用著シク困難ナル地形ナルトキハ已ムヲ得ス今日中ニ隘路口ヲ占領シ置クノ必要アリト雖現在地附近ノ狹隘ハ狹隘ニ相違ナキモ其幅員ハ二吉米以上アルト南北兩側高地ハ部隊ノ行動ヲ許ス地形ナルヲ以テ此點ヨリ見ルモ無理ナル戦闘ヲ求ムルノ必要ナシ

之ヲ要スルニ全般ノ狀況彼我ノ形勢時刻及地形ノ關係ヨリ我ニ先ンシテ準備シアル敵ニ對シ強テ勝算少キ戰鬥ヲ求ムル必要ナシ故ニ敵ノ攻撃前進ニ出會セハ格別否ラサレハ今日我ヨリ戰鬥ヲ求メサルヲ適當トス

三 支隊直後ノ行動

支隊ハ自ラ進ンテ本日隘路口附近ノ戰鬥ヲ求メサルヲ可ナリトセハ何事ヲ爲スヘキヤ曰ク(甲)他方面ニ轉進シテ敵ノ意表ニ出ツルカ曰ク(乙)敵ニ離隔セル地(現在地附近)ニ於テ隊勢ヲ整ヘテ萬一ニ備ヘ且敵情及地形ヲ偵察スルカ之ナリ

(甲) 策ノ爲ニハ東海道南北何レカノ山地内ヲ通過シテ太田川河谷ニ進出スルヲ要スルモ晝間ニ於ケル此行動ニシテ萬一敵ノ發見スル所トナランカ支隊主力ノ東海道沿道附近ヨリ一層動作困難ナル地區内ヲ行動中東海道方面ノ一部ヲ敵ヨリ攻撃セラレ自ラ求メテ各個擊破ヲ招クノ害ヲ受クルヤモ計ラレス故ニ縱ヘ此企圖アル場合ニ於テモ晝間兵力ノ移動ハ不可ナリ

(乙) 案ハ一時敵ニ先制ノ利ヲ委スルノ害アルモ敵ノ攻撃ニ對シテハ十分之ヲ拒止シ得ルノミナラス却テ反撃ヲ加ヘ得ルノ公算アリ若敵ニシテ慎重ノ態度ニ出テンカ支隊ハ爾後ノ準備ヲナスニ行動ノ自由大ナリ故ニ予ハ此際一時敵ニ先制ヲ委スルモ時刻ノ關係上夜暗ヲ利用シテ之ヲ恢復シ得ルコトニ信賴シ支隊目下ノ危機ヲ脱スル所以ノ途ヲ求メントスルモノナリ

四 位置ノ決定

國本附近ハ敵ノ展開線ヨリ約六吉米離隔シアリテ速ニ支隊ノ隊形ヲ整ヘ得ルノミナラス敵ノ攻撃前進ニ際シテハ時刻ノ關係上決戰ヲ避ケ得ヘク若敵ニシテ強テ前進ヲ企圖スルモ同地南北高地ヲ一部ヲ以テ占領シアルトキハ反テ先

ニ敵ニ委シタル先制ヲ恢復シ反擊的ニ有利ナル戦闘ヲナシ得ル公算アリ故ニ
支隊ハ國本附近ニ於テ隊勢ヲ整ヘ爾後ノ準備ヲナスヲ要ス但シ各小部隊ヲ以
テ久能、川井、諸井ノ線附近ニ派遣シ騎兵中隊ト協力シ敵情及地形ノ偵察ヲナサ
シムルノ必要アルハ勿論ナリトス

第四問題原案

決心

支隊ハ第一線ヲ以テ國本菅ヶ谷西方高地附近ヨリ國本西端、廣岡貫名西端ヲ經テ
同地南方高地ニ亘ル線ヲ占領シ主力ヲ廣岡附近ニ開進シ攻撃ノ目的ヲ以テ敵情
及地形ヲ偵察セントス

處置

一 步兵第一聯隊(第三大隊機關銃一小隊欠)ハ主力ヲ以テ國本西端附近ヲ一部ヲ
以テ國本菅ヶ谷及廣岡貫名附近ヲ占領シ本隊ノ開進ヲ掩護シ且攻撃ノ目的ヲ

以テ高尾下地南端、明ヶ島南端ヲ連ヌル線以北ノ地區ニ於ケル敵情及地形ヲ偵
察セシム久能西方高地、川井西端、西田西端ハ各一小部隊ヲ以テ占領セシム
騎兵一分隊ヲ附ス

二 步兵第一聯隊第三大隊第十一、第十二中隊ヲ缺キ機關銃一小隊ヲ附スハ廣岡
貫名南方高地ヲ占領シテ本隊ノ開進ヲ掩護シ且攻撃ノ目的ヲ以テ高尾下地南
端、明ヶ島南端ノ線以南ノ地區ニ於ケル敵情及地形ヲ偵察セシム
新池西端附近ハ一小部隊ヲ以テ之ヲ占領セシム

傳騎二ヲ附ス
三 砲兵大隊ハ主トシテ山名町方向ヲ射撃シ得ル如ク一部ヲ以テ國本北側主力
ヲ以テ國本南側ニ陣地ヲ選定シ部隊ハ國本東端ヲ先頭トシテ東海道上ニ停止
シアラシム

四 騎兵中隊(一小隊欠)ハ步兵部隊川井附近ニ到着セハ淺羽附近ニ位置シ敵ノ右
側背ヲ搜索シ且稗原以南太田川ノ渡河點ヲ監視セシム
一部半小隊ハ山科東方高地附近ニ在リテ敵ノ左側背ヲ搜索スルコト故ノ如シ

五 殘餘ノ諸隊ハ廣岡北側附近ニ開進セシム

但シ砲兵聯隊段例ハ原野谷川橋梁ヲ先頭トシ東海道上ニ停止シアラシム

(衛生隊長ニハ國本東端附近ニ於テ綑帶所開設位置ヲ偵察セシム)

六 軍司令官ニ決心及處置ノ大要ヲ報告ス

(注意) 大行李ハ掛川東端ニ停止

輜重ハ伊達方ヲ先頭トシテ停止、但シ野戰病院一個、步砲彈藥各半縱列

ハ先進輜重トシテ大池ニ向ヒ前進セシム

狀況

午後五時三十分頃支隊ハ概ネ所望ノ配備ヲ完了セリ

三ヶ野坂上及新貝馬山附近ニハ時々敵兵ノ移動スルヲ見ル又

敵ノ小斥候ヲシキモノ小山、玉越、明ヶ島、新貝、稗原、新出附近ニ出

没ス

第五問題

午後五時三十分ニ於ケル支隊長ノ敵情判斷

第五問題原案

判決

敵ハ三ヶ野坂上新貝馬山附近ノ線ニ展開シ支隊ノ川井村ニ進出スルヲ待テ攻撃
前進ヲナスナラン

狀況

午後六時支隊長ハ三ヶ野坂上及新貝馬山附近ノ敵兵掘開作業
ヲナシツツアル旨ノ報告ヲ受領ス

第六問題